

開 成 町

障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画
策定のためのアンケート調査

【 集 計 結 果 報 告 書 】

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査仕様	1
3	回収結果	1
4	結果の表示	1
II	調査結果	2
1	調査結果の概要	2
2	回答者本人について	15
3	生活の様子について	21
4	災害対策について	35
5	仕事について	38
6	障がい児について	41
7	障害福祉サービスについて	47
8	地域生活支援事業サービスについて	49
9	児童通所支援サービスについて	51
10	その他のサービスについて	52
11	広域行政連携事業について	54
12	これからのまちづくりについて	55
13	本人の介護をしている方について	65

I 調査概要

1 調査目的

「第3期障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（令和6年度～令和8年度）」を策定するにあたり、障がい者の方の日常生活の様子や障がい福祉サービスなどに対するご意見をお聞きし、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査仕様

- (1) 調査地域 開成町全域
- (2) 調査対象 開成町に居住している身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の方
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (4) 調査時期 令和5年1月20日（金）～令和5年2月10日（金）

3 回収結果

配布数	回収数	回収率（％）
770	303	39.4％

4 結果の表示

- (1) 百分比はnを100％として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した。このため、百分比の合計が100％に満たない場合や上回る場合がある。
- (2) 図表によっては「無回答」の表示を省略する場合がある。
- (3) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (4) 過去の調査の際に同様の質問を行っていた場合、経年比較を行っている。

Ⅱ 調査結果

1 調査結果の概要

(1) 生活の様子について

①現在の生活で困っていることや不安に思っていること

- 「全体」では、「特に困っていることはない」が最も高くなっている。
- 「身体障がい者」、「重複の方」は「特に困っていることはない」が最も高くなっている一方で、「知的障がい者」は「将来的に生活できる住まいや施設等があるかどうか不安」が、「精神障がい者」は「自分の健康や体力に自信がない」が最も高くなっている。
- 「児童（18歳未満）」は「将来的に生活できる住まいや施設等があるかどうか不安」が、「19～39歳」は「十分な収入が得られない」が最も高くなっている。
- 「その他の年齢層」は、「特に困っていることはない」、「自分の健康や体力に自信がない」などが高い割合となっている。

	割合 (%)										
	身の回りの介助や支援をしてくれる人がいない	一緒に暮らす人がいない	自分にあつた仕事（働く場）が見つからない	十分な収入が得られない	趣味や生きがいがない	生活をするうえで必要な情報が得られない	自分の健康や体力に自信がない	同居家族との関係	必要な保健・福祉・医療等のサービスが受けられない	将来的に生活できる住まいや施設等があるかどうか不安	特に困っていることはない
全体	5.6	3.0	3.6	15.2	5.6	3.6	32.7	4.3	2.6	19.1	39.9
身体障がい者	4.9	3.8	3.2	10.8	4.3	3.8	36.8	3.2	2.2	14.1	41.6
知的障がい者	6.5	0.0	8.7	21.7	4.3	6.5	13.0	2.2	2.2	39.1	37.0
精神障がい者	5.9	5.9	2.9	20.6	14.7	0.0	50.0	8.8	5.9	23.5	26.5
重複の方	8.7	0.0	0.0	21.7	8.7	4.3	17.4	13.0	4.3	17.4	52.2
児童（18歳未満）	6.7	0.0	0.0	6.7	3.3	6.7	13.3	0.0	0.0	43.3	43.3
19～39歳	10.3	2.6	7.7	35.9	2.6	0.0	28.2	10.3	7.7	23.1	30.8
40～59歳	3.7	3.7	13.0	22.2	7.4	7.4	24.1	3.7	5.6	20.4	27.8
60～74歳	4.7	3.1	1.6	12.5	9.4	4.7	28.1	4.7	0.0	23.4	45.3
75歳以上	4.5	3.6	0.0	7.3	4.5	1.8	47.3	3.6	1.8	9.1	47.3

②悩みや困ったことを相談するところ

- 「すべての属性」で「家族・親戚」が最も高くなっている。
- 「精神障がい者」、「重複の方」は「医療機関」が2番目に高くなっている一方で、「身体障がい者」は「友人・知人」が、「知的障がい者」は「サービスを利用している通所施設」が2番目に高くなっている。
- 「児童（18歳未満）」は「保育所・幼稚園・学校」が、「75歳以上」は「ケアマネージャー等」が2番目に高くなっている。
- 「その他の年齢層」は、「友人・知人」、「医療機関」などが高い割合となっている。

	割合（％）											
	家族・親戚	友人・知人	保育所・幼稚園・学校	医療機関	サービスを利用している通所施設	ケアマネージャー等	民生委員児童委員	町役場	町社会福祉協議会	相談支援事業所	障がい児者の団体	誰もいない
全体	79.2	21.1	4.0	19.5	12.9	18.5	4.3	7.6	4.6	4.3	1.3	5.0
身体障がい者	84.9	23.2	0.5	16.8	8.6	20.0	5.9	6.5	7.6	0.5	1.6	4.3
知的障がい者	76.1	10.9	17.4	17.4	28.3	23.9	2.2	13.0	0.0	10.9	2.2	2.2
精神障がい者	64.7	29.4	2.9	41.2	14.7	11.8	0.0	11.8	0.0	8.8	0.0	8.8
重複の方	69.6	13.0	0.0	17.4	17.4	13.0	4.3	0.0	0.0	17.4	0.0	4.3
児童（18歳未満）	83.3	6.7	36.7	20.0	36.7	16.7	0.0	3.3	0.0	6.7	0.0	0.0
19～39歳	84.6	28.2	0.0	20.5	15.4	15.4	2.6	10.3	0.0	17.9	0.0	5.1
40～59歳	70.4	33.3	1.9	35.2	11.1	14.8	0.0	9.3	1.9	5.6	3.7	9.3
60～74歳	76.6	29.7	0.0	17.2	6.3	20.3	4.7	4.7	1.6	1.6	0.0	3.1
75歳以上	84.5	12.7	0.0	13.6	10.9	21.8	8.2	9.1	10.9	0.0	1.8	4.5

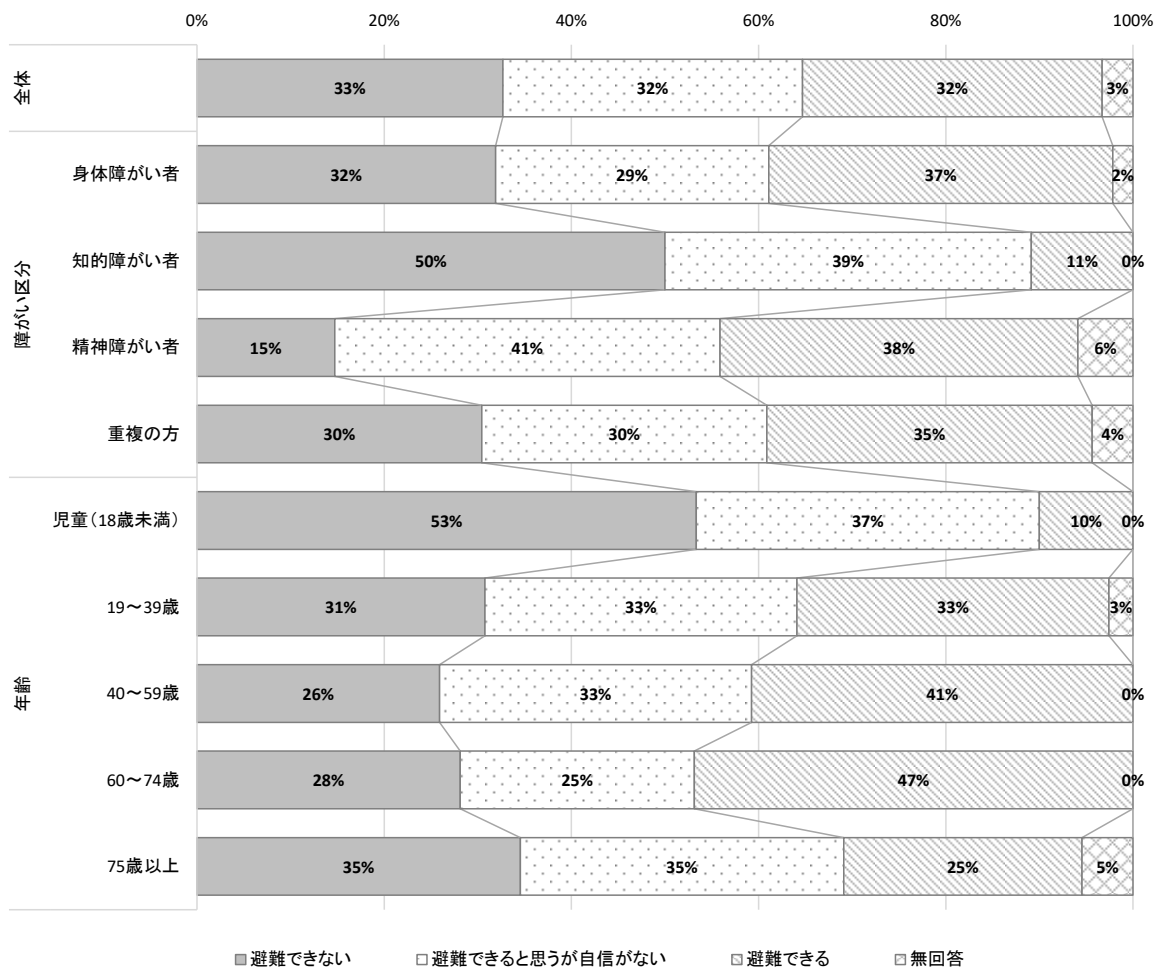
(2) 災害対策について

①災害発生時に一人で避難できるか

○「全体」では「避難できない」が33%で最も高くなっている。

○障がい区分別の「避難できない」割合は、「知的障がい者」が50%で最も高く、次いで、「身体障がい者」の32%と続いている。

○年齢別の「避難できない」割合は、「児童（18歳未満）」が53%で最も高く、次いで、「75歳以上」の35%と続いている。



②災害発生時に不安に思うこと

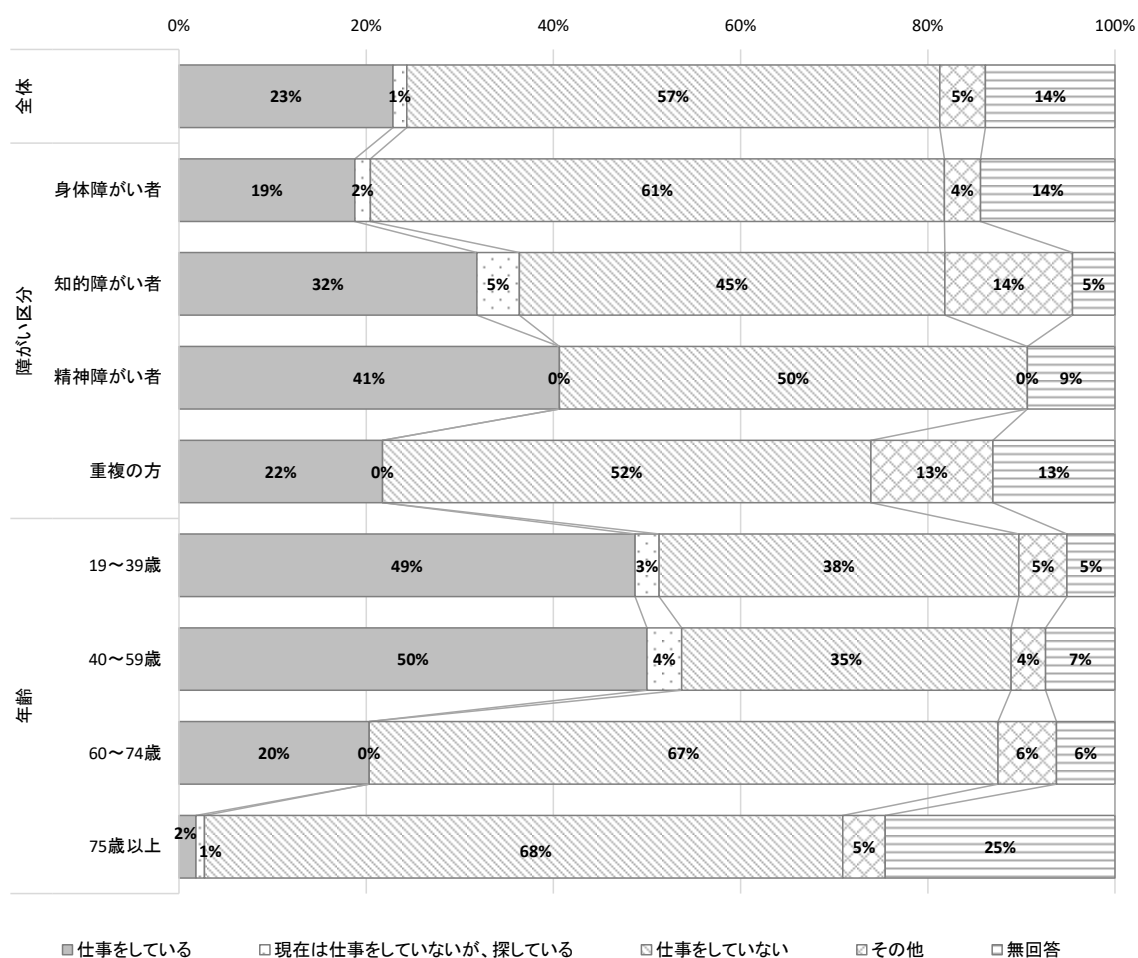
- 「全体」では「薬等の物品や医療的ケアが確保できるか不安」が最も高くなっている。
- 「知的障がい者」は「避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安」が最も高くなり、「その他の障がい区分」では「薬等の物品や医療的ケアが確保できるか不安」が最も高くなっている。
- 「児童（18歳未満）」、「19～39歳」は「避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安」が最も高くなっている。
- 「その他の年齢層」は、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」、「薬等の物品や医療的ケアが確保できるか不安」などが高い割合となっている。

	割合（％）							
	自分や家族・親族だけでは避難することができない	自力で助けを呼ぶことができない	災害に関する情報を得るのが難しい	避難所の設備が病気や障がいに対応しているか不安	避難所で必要な支援が受けられるか不安	避難所で家族・親族以外の人と一緒に生活できるか不安	薬等の物品や医療的ケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない
全体	11.2	23.1	23.4	38.6	39.6	33.7	42.6	14.9
身体障がい者	15.1	19.5	21.1	43.2	43.2	28.1	46.5	16.2
知的障がい者	4.3	41.3	34.8	30.4	32.6	54.3	15.2	10.9
精神障がい者	2.9	11.8	26.5	38.2	41.2	50.0	55.9	11.8
重複の方	13.0	21.7	8.7	34.8	30.4	26.1	47.8	26.1
児童（18歳未満）	0.0	53.3	46.7	40.0	46.7	56.7	13.3	10.0
19～39歳	12.8	25.6	25.6	30.8	33.3	53.8	43.6	17.9
40～59歳	13.0	18.5	18.5	51.9	44.4	35.2	57.4	7.4
60～74歳	10.9	14.1	17.2	37.5	42.2	29.7	35.9	26.6
75歳以上	13.6	21.8	23.6	35.5	38.2	23.6	47.3	12.7

(3) 仕事について

①就労の状況、形態

- 「全体」の「仕事をしている」割合は 23%となっている。
- 障がい区分別の「仕事をしている」割合は、「精神障がい者」が 41%で最も高く、次いで、「知的障がい者」の 32%と続いている。
- 「現在は仕事をしていないが、探している」割合がもっと高いのは、「知的障がい者」の 5%となっている。
- 年齢別の「仕事をしている」割合は、「40～59 歳」が 50%で最も高く、次いで、「19～39 歳」の 49%と続いている。



②働くうえで必要な条件

○「全体」では「障がいに対する周囲の理解がある」が最も高くなっている。

○障がい区分別では、「身体障がい者」は「障がいにあった作業内容である」が、「知的障がい者」は「通勤手段がある」が、「精神障がい者」は「障がいに対する周囲の理解がある」が、「重複の方」は「障がいにあった勤務条件である」が最も高くなっている。

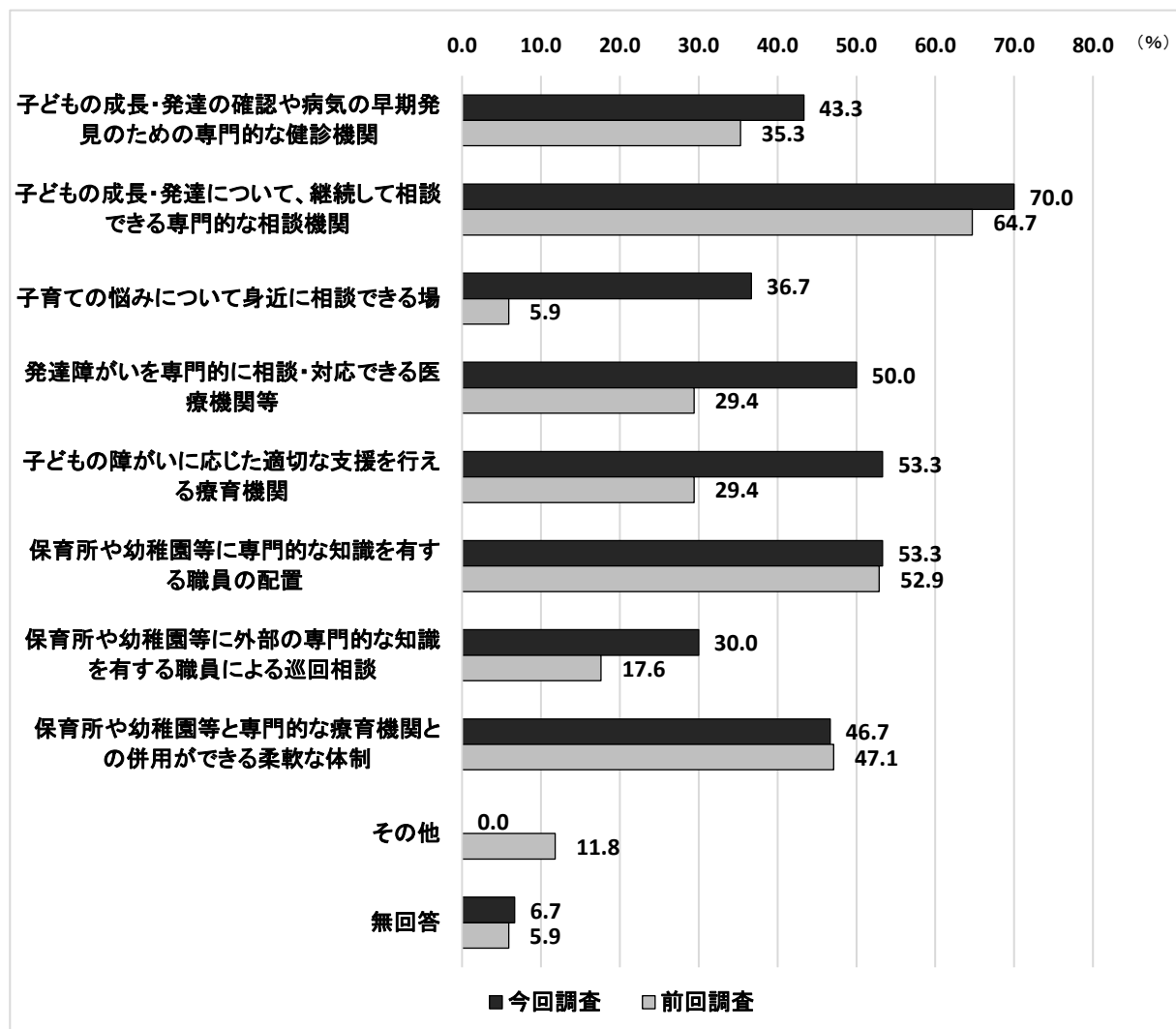
○年齢別では、「19～39 歳」、「40～59 歳」は「障がいに対する周囲の理解がある」が、「60～74 歳」、「75 歳以上」は「障がいにあった作業内容である」が最も高くなっている。

	割合 (%)							
	障がいにあった作業内容である	障がいにあった勤務条件である	賃金が妥当である	障がいにあった設備が整っている	通勤手段がある	自宅で仕事ができる	障がいに対する周囲の理解がある	就業訓練が充実している
全体	20.2	19.1	13.9	10.5	18.0	6.0	21.3	3.0
身体障がい者	14.4	11.6	9.9	7.7	12.7	6.1	13.3	0.6
知的障がい者	54.5	45.5	27.3	22.7	59.1	4.5	54.5	13.6
精神障がい者	31.3	40.6	25.0	12.5	25.0	12.5	43.8	9.4
重複の方	26.1	30.4	17.4	21.7	13.0	0.0	26.1	4.3
19～39 歳	43.6	46.2	33.3	23.1	48.7	12.8	59.0	7.7
40～59 歳	38.9	46.3	24.1	20.4	33.3	7.4	46.3	9.3
60～74 歳	18.8	10.9	17.2	12.5	15.6	7.8	9.4	0.0
75 歳以上	3.6	0.9	0.0	0.0	0.9	1.8	2.7	0.0

（４）子どもの療育支援等について

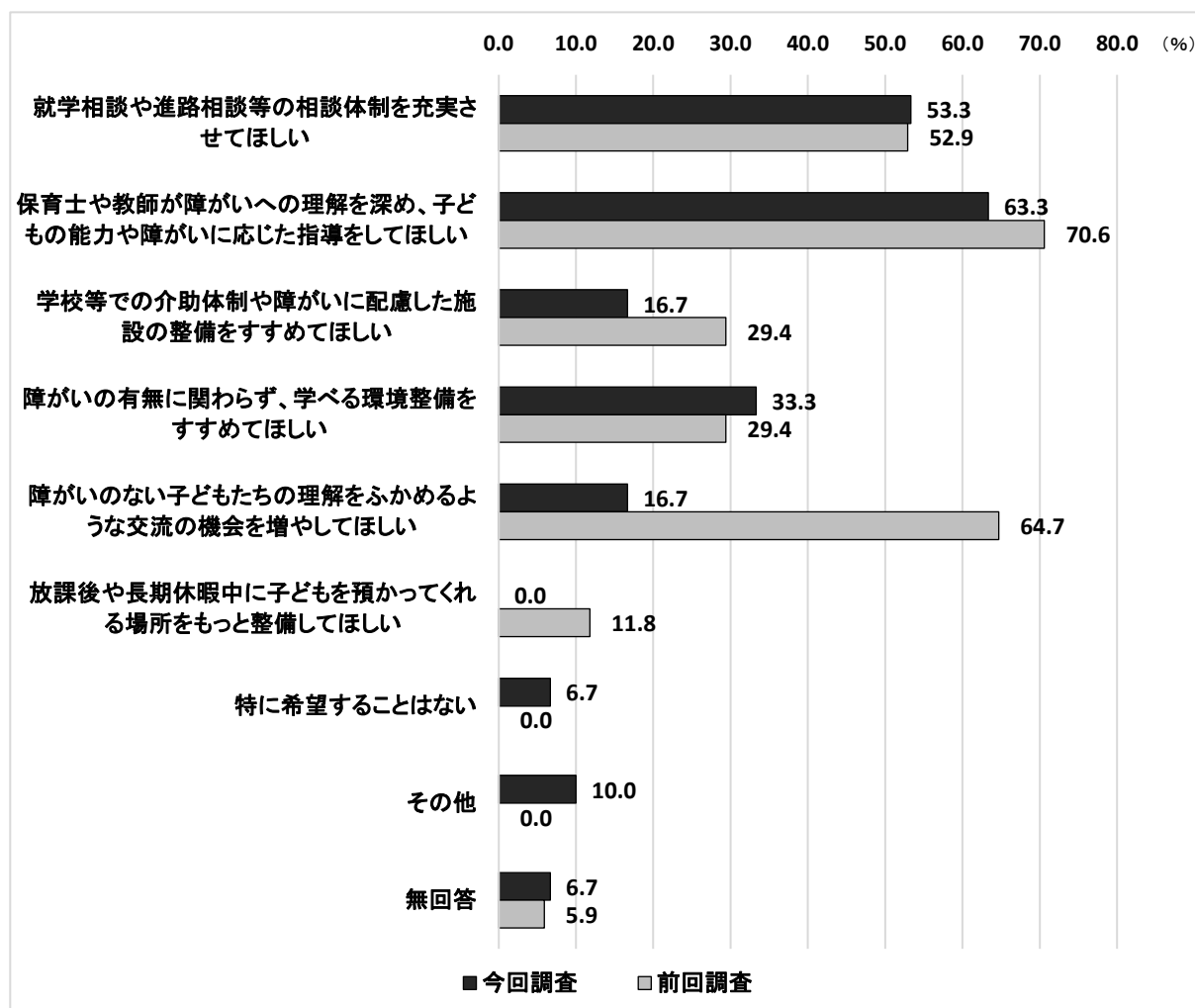
①療育支援への対応として、特に必要と思う社会資源

- 「子どもの成長・発達について、継続して相談できる専門的な相談機関」が 70.0%で最も高く、次いで、「子どもの障がいに応じた適切な支援を行える療育機関／保育所や幼稚園等に専門的な知識を有する職員の配置（53.3%）」と続いている。
- 前回調査と比較すると、「子育ての悩みについて身近に相談できる場」、「発達障がいを専門的に相談・対応できる医療機関等」、「子どもの障がいに応じた適切な支援を行える療育機関」が増加している。



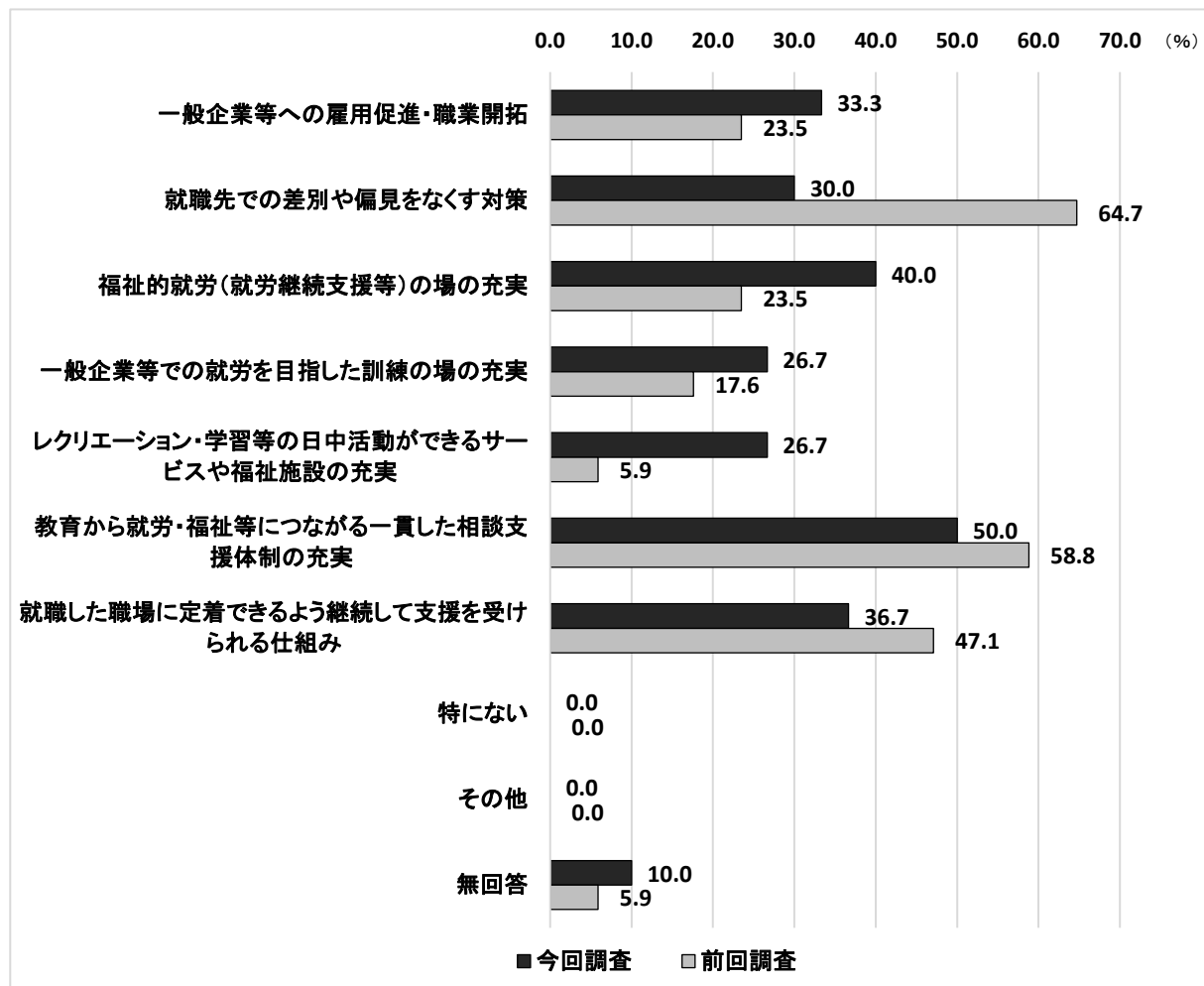
②学校等での生活について望むもの

- 「保育士や教師が障がいへの理解を深め、子どもの能力や障がいに応じた指導をしてほしい」が63.3%で最も高く、次いで、「就学相談や進路相談等の相談体制を充実させてほしい(53.3%)」と続いている。
- 前回調査と比較すると、「障がいの有無に関わらず、学べる環境整備をすすめてほしい」がやや増加し、「障がいのない子どもたちの理解をふかめるような交流の機会を増やしてほしい」が減少している。



③学校教育終了後の進路への対策

- 「教育から就労・福祉等につながる一貫した相談支援体制の充実」が50.0%で最も高く、次いで、「福祉的就労（就労継続支援等）の場の充実（40.0%）」、「就職した職場に定着できるよう継続して支援を受けられる仕組み（36.7%）」と続いている。
- 前回調査と比較すると、「レクリエーション・学習等の日中活動ができるサービスや福祉施設の充実」のほか「一般企業等への雇用促進・職業開拓」、「一般企業等での就労を目指した訓練の場の充実」が増加し、「就職先での差別や偏見をなくす対策」が減少している。

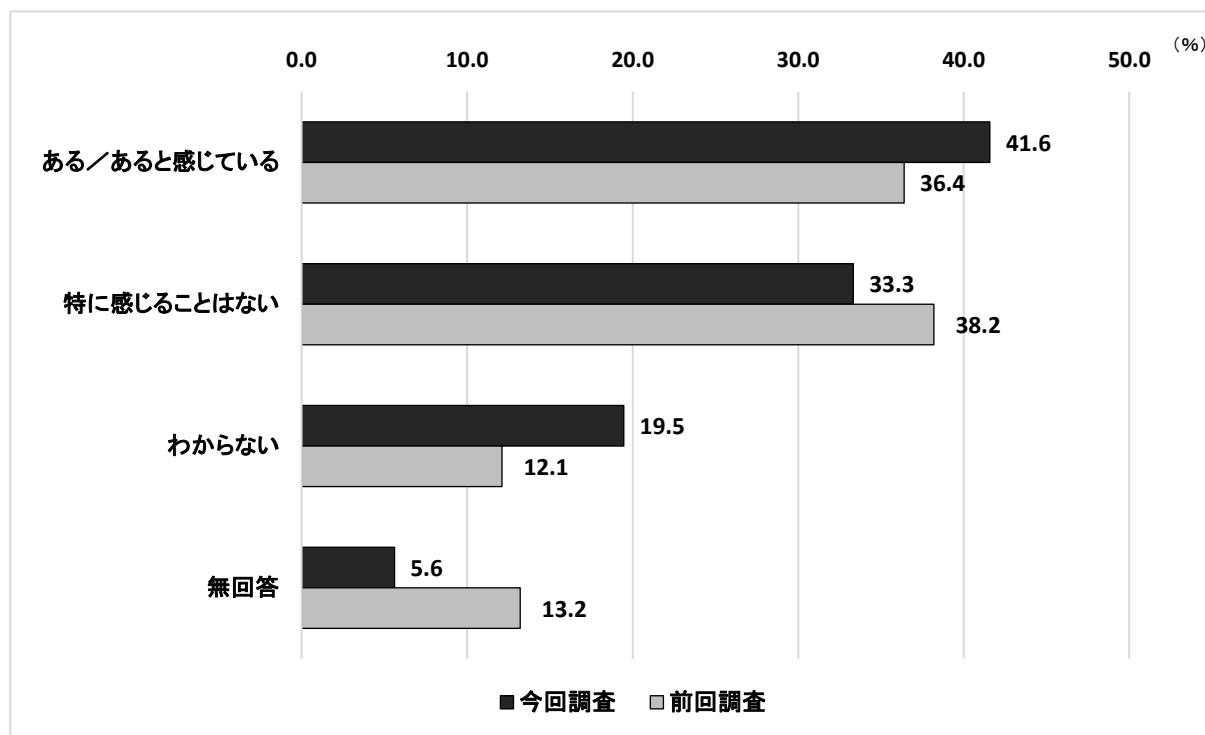


(5) これからのまちづくりについて

① 普段の暮らしの中で、障がいのある方への差別や偏見がありますか

○「ある／あると感じている」が 41.6%で最も高く、次いで、「特に感じることはない(33.3%)」と続いている。

○前回調査と比較すると、「ある／あると感じている」、「わからない」がやや増加し、「特に感じることはない」がやや減少している。



②差別や偏見をどのような機会に感じますか

○「全体」では「交通機関の利用の時」が最も高くなっている。

○障がい区分別では、「身体障がい者」は「交通機関の利用の時」が、「知的障がい者」は「仕事や教育の機会」が、「精神障がい者」は「職場環境」が、「重複の方」は「近所づきあいの時」が最も高くなっている。

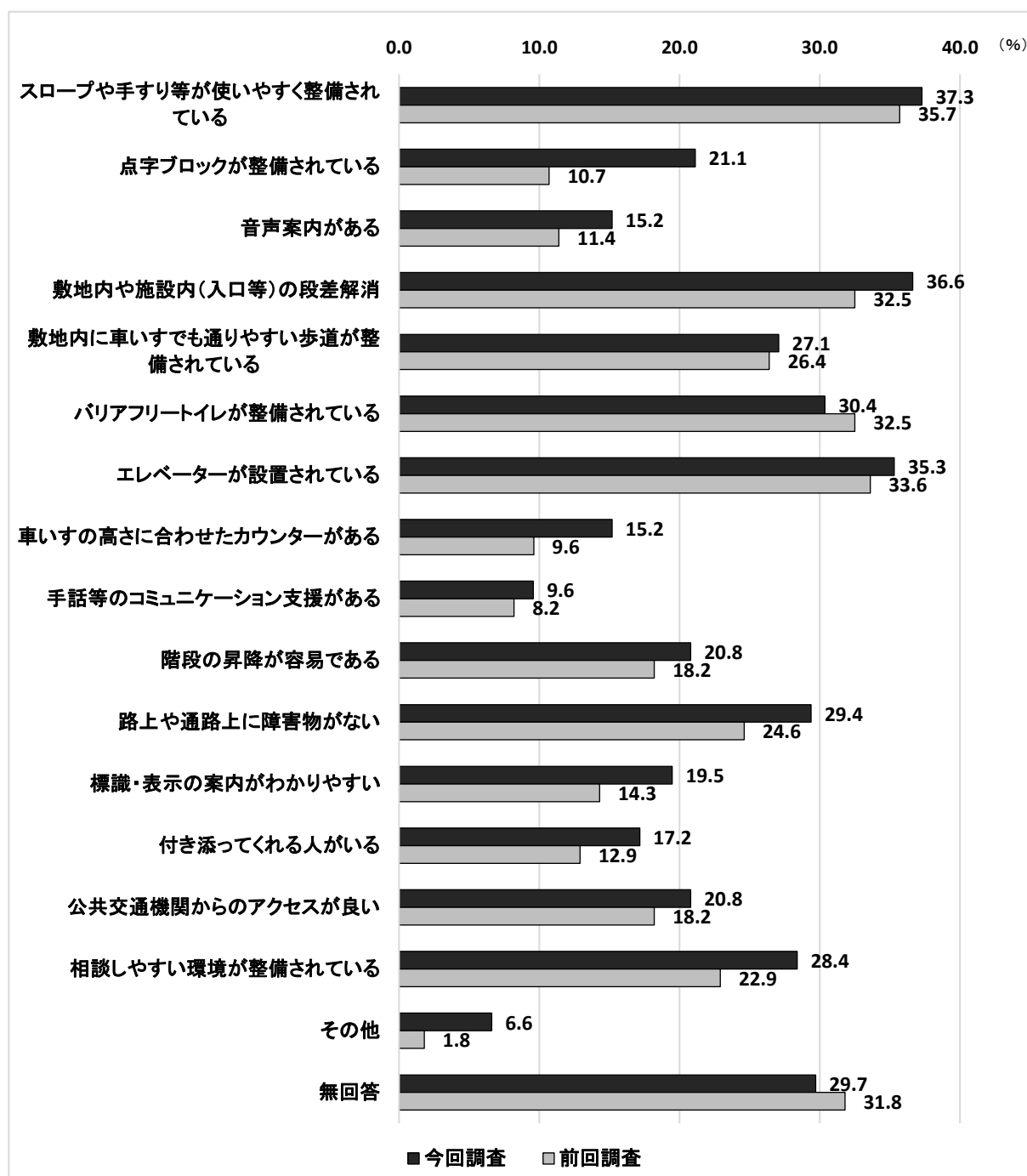
○年齢別では、「児童（18歳未満）」、「19～39歳」は「仕事や教育の機会」が、「40～59歳」は「職場環境」が、「60～74歳」、「75歳以上」は「交通機関の利用の時」が最も高くなっている。

	割合（％）							
	仕事や教育の機会	職場環境	近所づきあいの時	地域の行事や集まり	店での扱いや店員の態度	交通機関の利用の時	公共施設等の建物を利用した時	行政職員の対応・態度
全体	29.4	27.0	26.2	17.5	23.8	38.9	15.9	14.3
身体障がい者	15.6	28.1	20.3	12.5	28.1	51.6	20.3	9.4
知的障がい者	60.0	23.3	26.7	13.3	23.3	33.3	16.7	20.0
精神障がい者	31.6	36.8	36.8	31.6	21.1	10.5	5.3	21.1
重複の方	28.6	14.3	42.9	42.9	0.0	42.9	0.0	28.6
児童（18歳未満）	66.7	14.3	23.8	19.0	4.8	28.6	9.5	14.3
19～39歳	42.3	30.8	23.1	19.2	23.1	26.9	19.2	15.4
40～59歳	28.6	50.0	25.0	17.9	25.0	46.4	10.7	17.9
60～74歳	8.7	13.0	21.7	17.4	30.4	34.8	26.1	21.7
75歳以上	7.7	19.2	38.5	15.4	34.6	57.7	15.4	3.8

③町内の公的機関や施設等におけるバリアフリーの状況や障がいへの配慮等どのような対策が必要だと思いますか

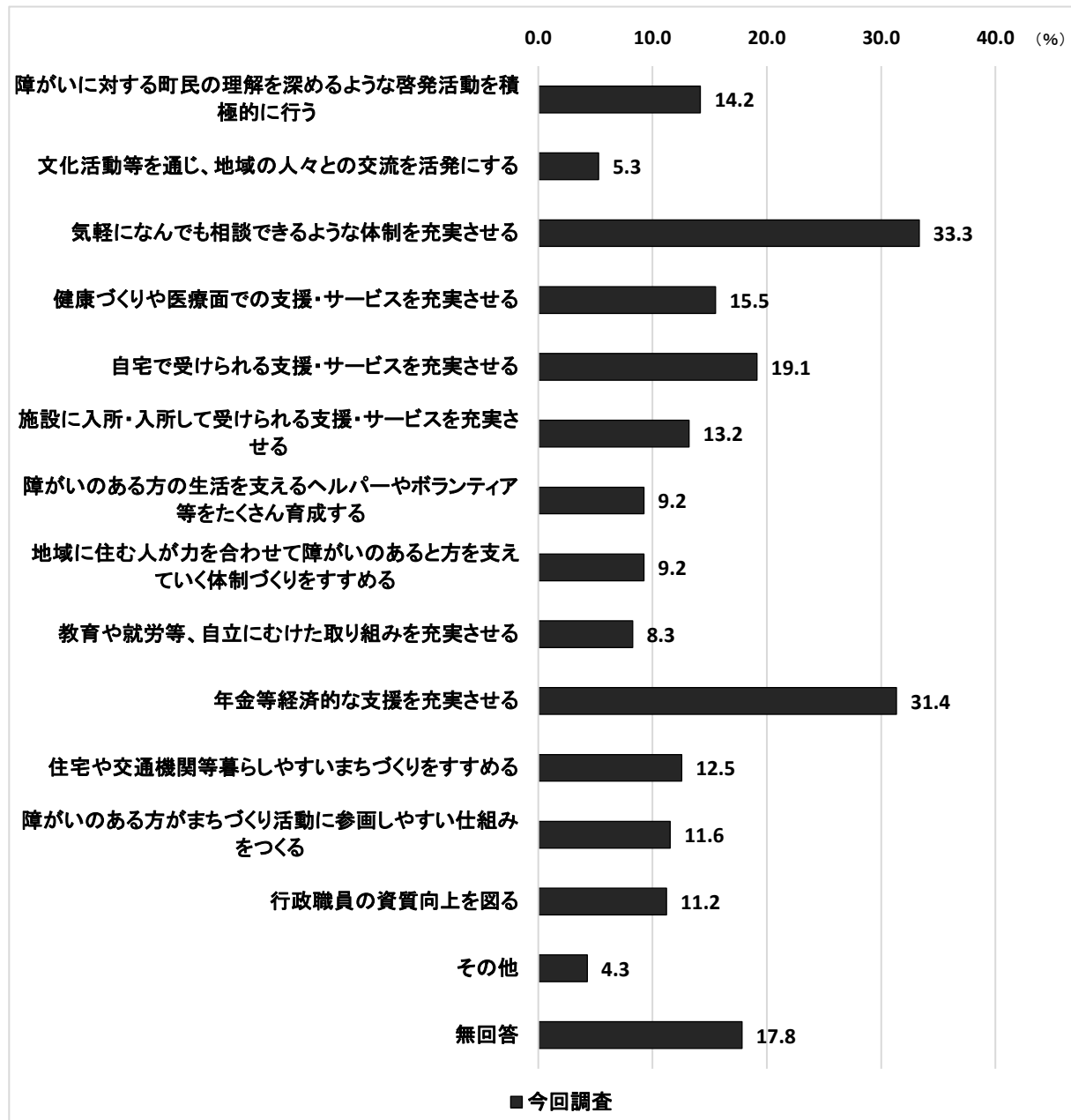
○「スロープや手すり等が使いやすく整備されている」が 37.3%で最も高く、次いで、「敷地内や施設内（入口等）の段差解消（36.6%）」、「エレベーターが設置されている（35.3%）」と続いている。

○前回調査と比較すると、「点字ブロックが整備されている」が増加している。



④障がい者施策をすすめるうえで、今後、町が特に力を入れるべきこと

○「気軽になんでも相談できるような体制を充実させる」が 33.3%で最も高く、次いで、「年金等経済的な支援を充実させる（31.4%）」、「自宅で受けられる支援・サービスを充実させる（19.1%）」と続いている。

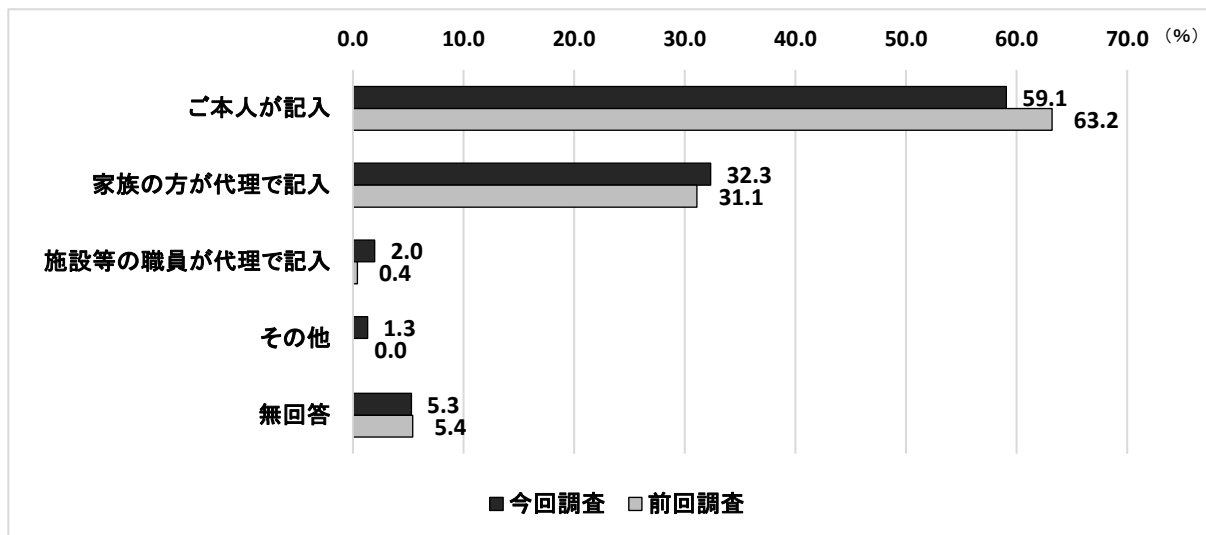


2 回答者本人について

問1 この調査票にご回答いただく方は。（1つに○）

○「本人」が59.1%、「家族」が32.3%となっている。

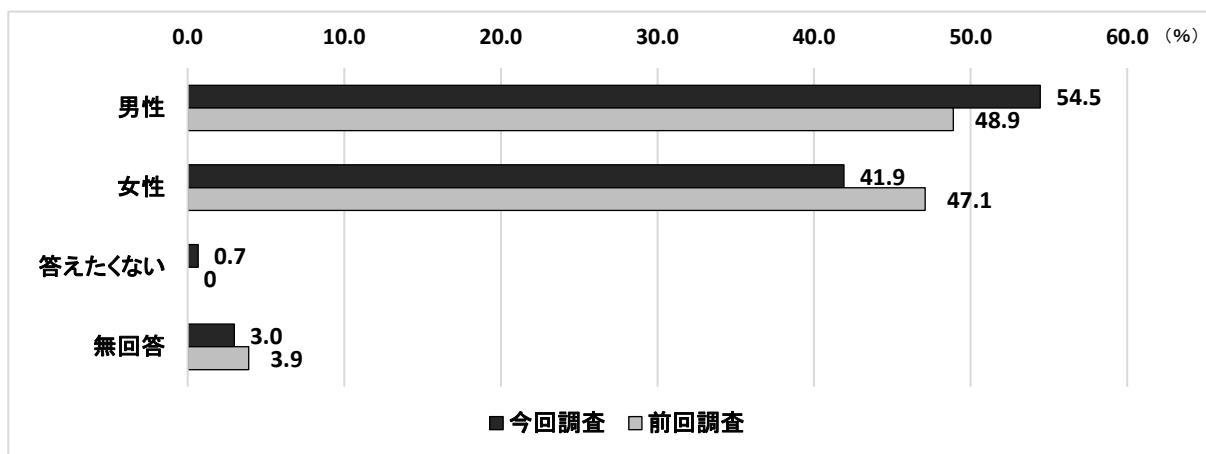
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。



問2 あなた（対象者ご本人）の性別は。（1つに○）

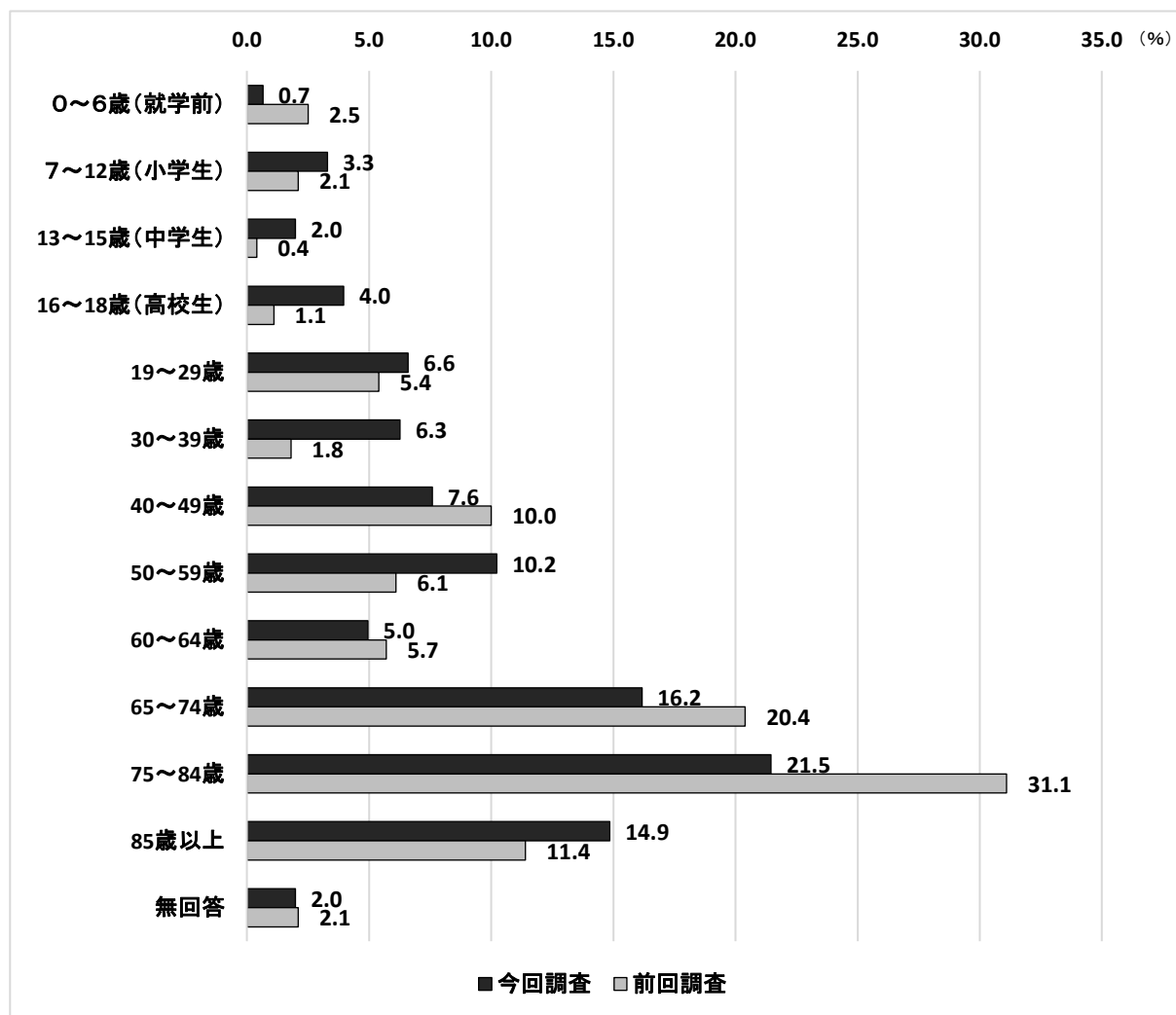
○「男性」が54.5%、「女性」が41.9%となっている。

○前回調査と比較すると、「男性」がやや増加し、「女性」がやや減少している。



問3 令和4年4月1日現在のあなたの年齢は。(1つに○)

○「75～84歳」が21.5%で最も高く、次いで、「65～74歳(16.2%)」、「85歳以上(14.9%)」と続いている。

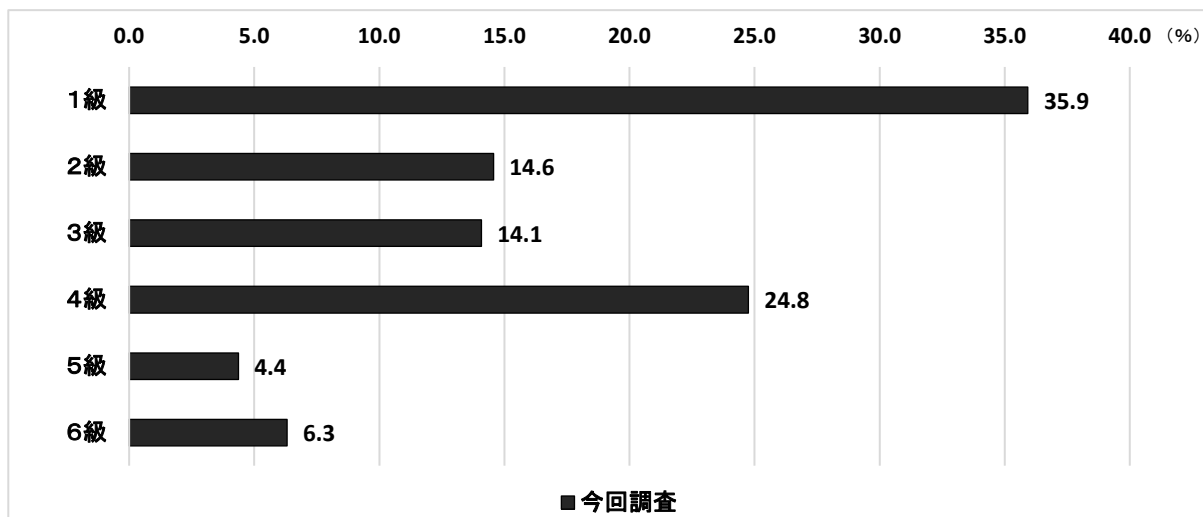


問4 あなたは、障害者手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体障害者手帳 (n = 206)

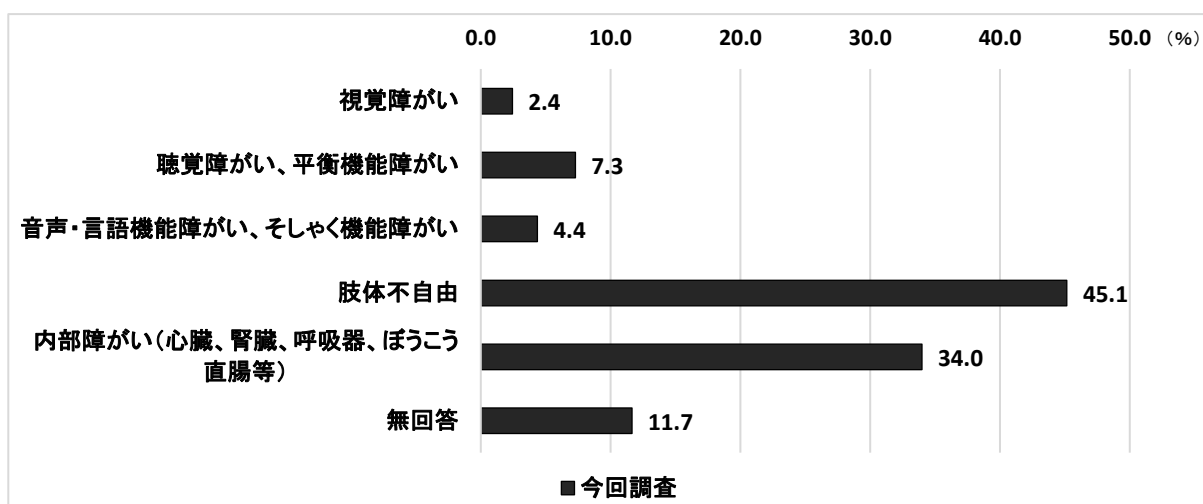
(1) 等級は何級ですか。

○「1級」が 35.9%で最も高く、次いで、「4級 (24.8%)」、「2級 (14.6%)」と続いている。



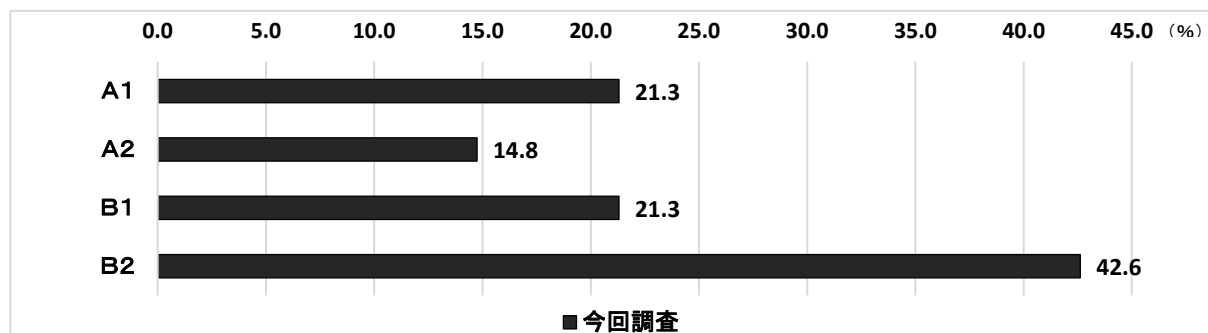
(2) どのような障がいですか。

○「肢体不自由」が 45.1%で最も高く、次いで、「内部障がい (心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう直腸等) (34.0%)」、「聴覚障がい、平衡機能障がい (7.3%)」と続いている。



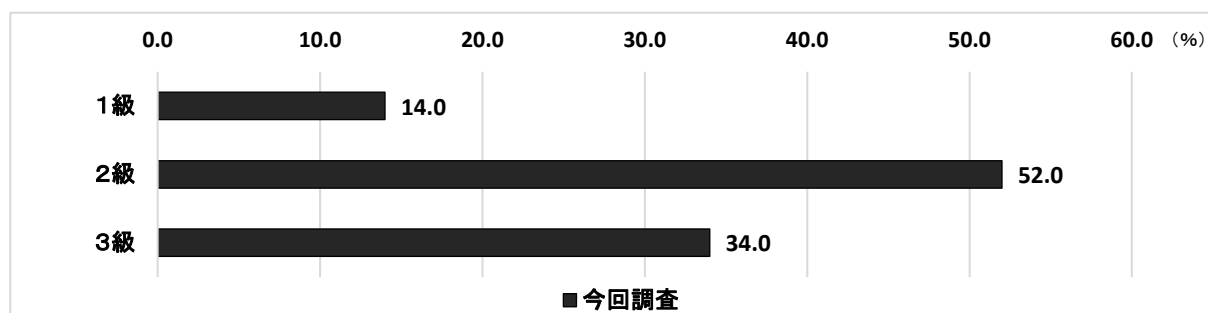
2. 療育手帳（n = 61）

○「B 2」が 42.6%で最も高く、次いで、「A 1／B 1（21.3%）」と続いている。



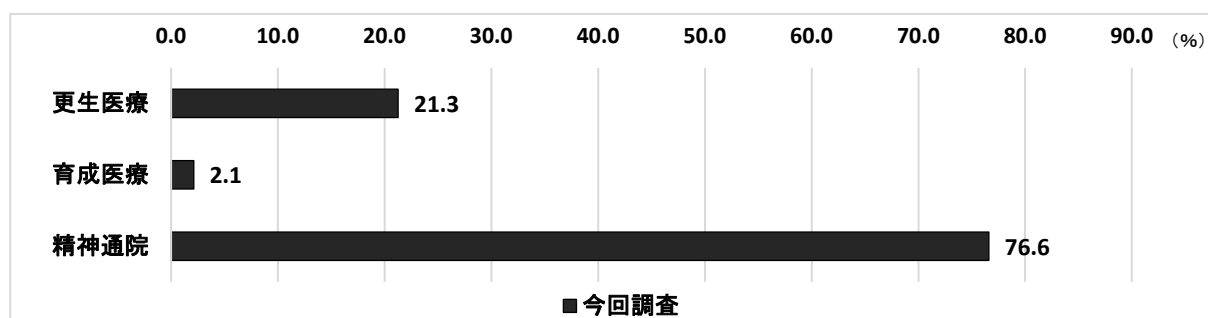
3. 精神保健福祉手帳（n = 50）

○「2級」が 52.0%で最も高く、次いで、「3級（34.0%）」、「1級（14.0%）」と続いている。



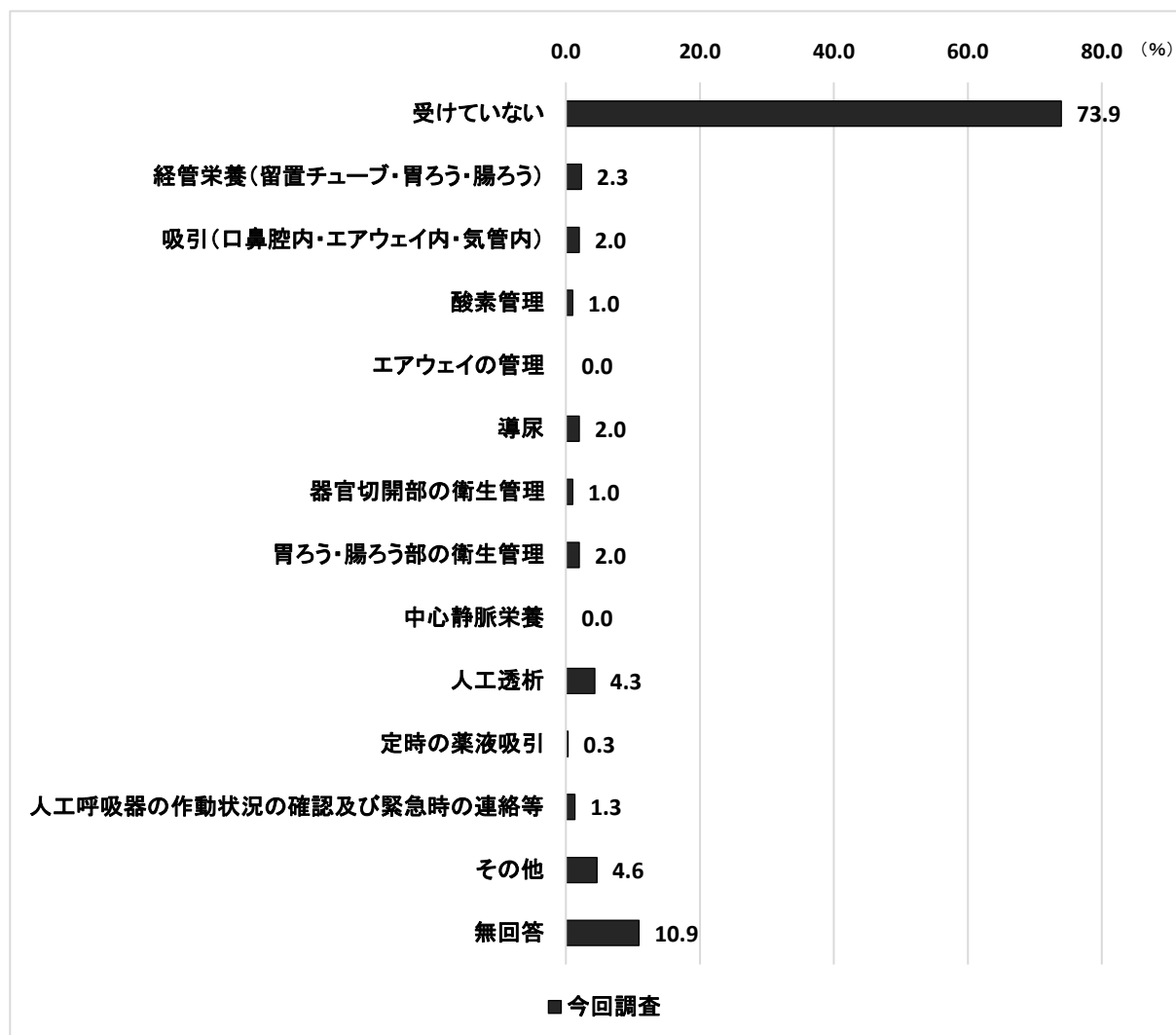
4. 自立支援医療受給者証（n = 47）

○「精神通院」が 76.6%で最も高く、次いで、「更生医療（21.3%）」、「育成医療（2.1%）」と続いている。



問5 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（該当するものすべてに○）

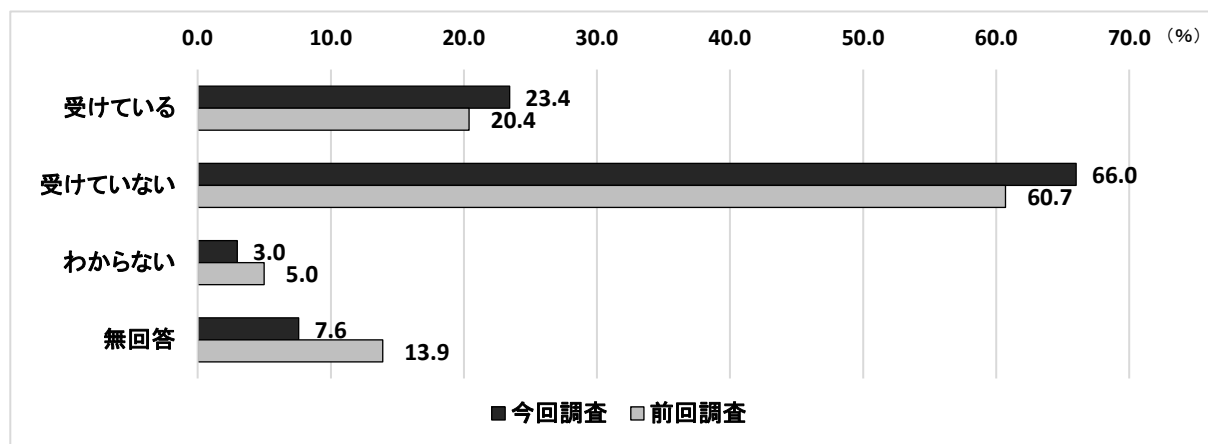
○「受けていない」が73.9%で最も高く、次いで、「その他（4.6%）」、「人工透析（4.3%）」と続いている。



問6 あなたは、介護保険の要介護認定等を受けていますか。

○「受けている」が23.4%、「受けていない」が66.0%となっている。

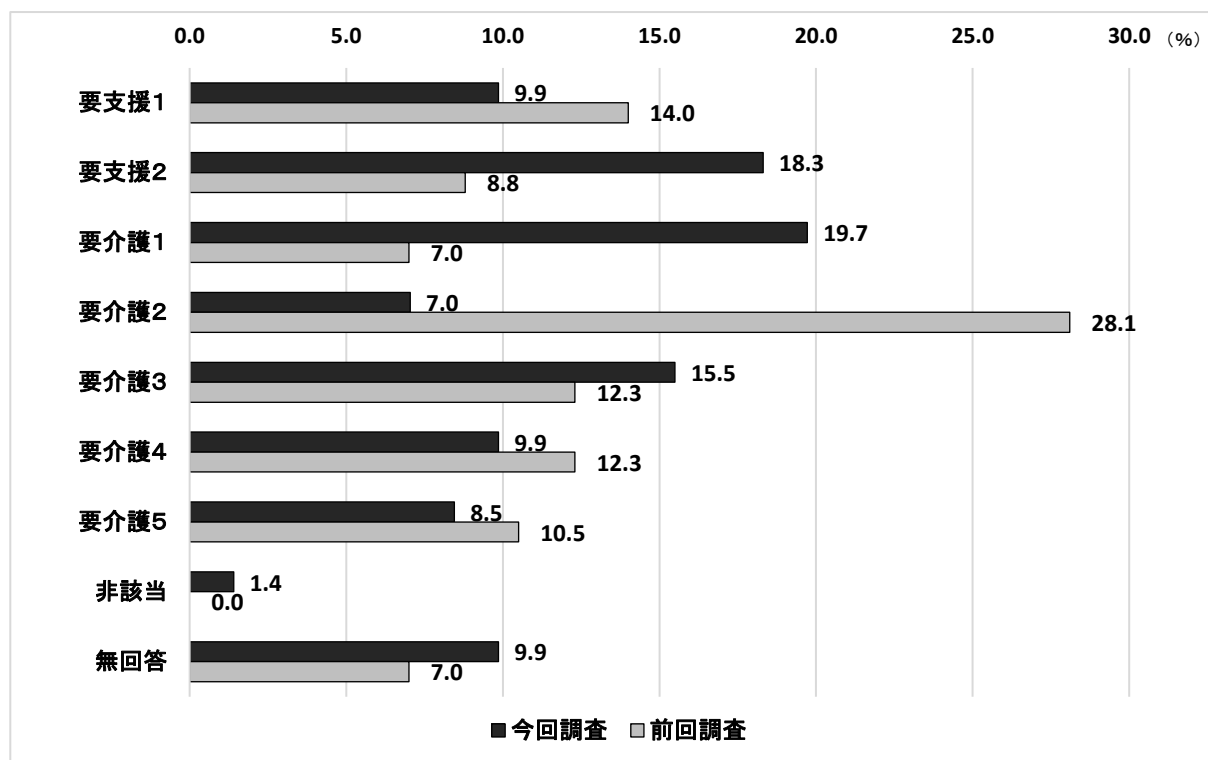
○前回調査と比較すると、「受けていない」がやや増加している。



【問6で「1. 受けている」と答えた方のみにおうかがいします。】(n = 71)

◆認定区分

○「要介護1」が19.7%で最も高く、次いで、「要支援2 (18.3%)」、「要介護3 (15.5%)」と続いている。

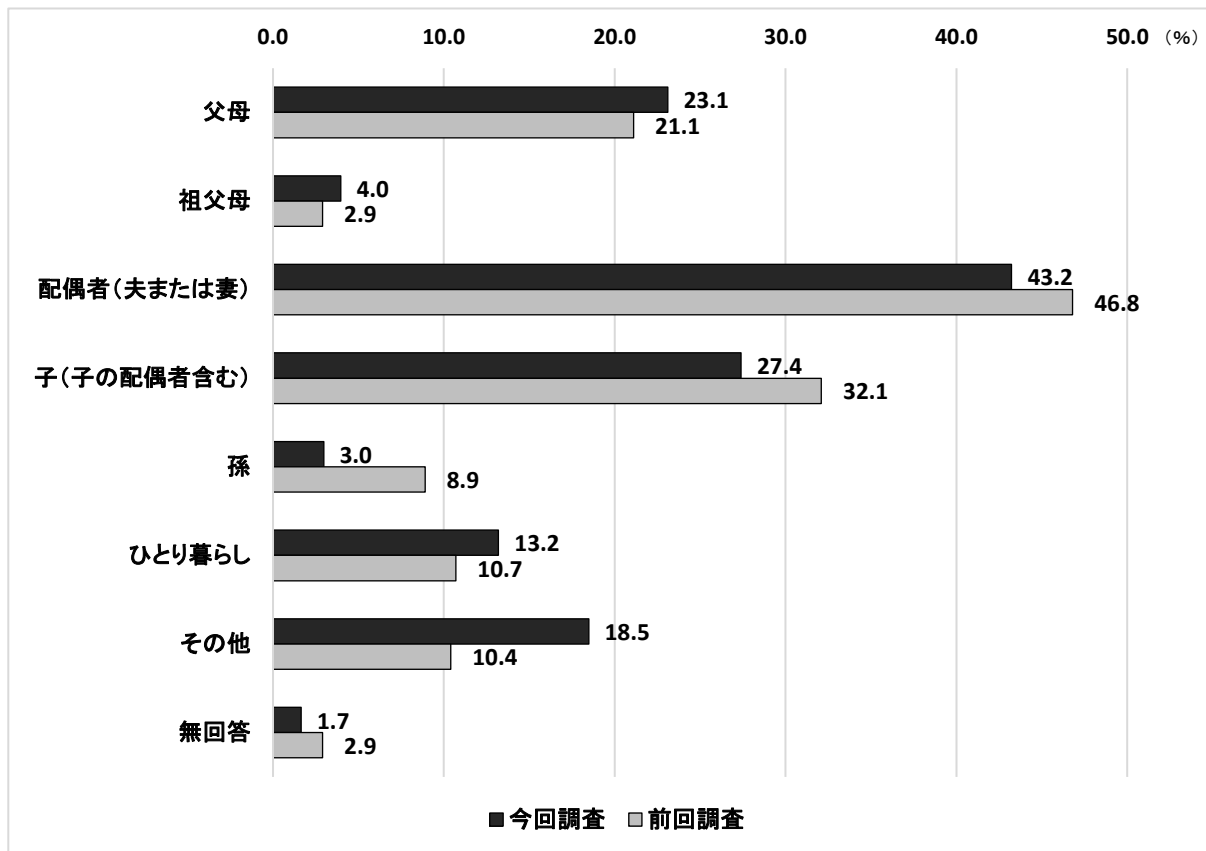


3 生活の様子について

問7 現在、あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか。(該当するものすべてに○)

○「配偶者（夫または妻）」が43.2%で最も高く、次いで、「子（子の配偶者含む）（27.4%）」、「父母（23.1%）」と続いている。

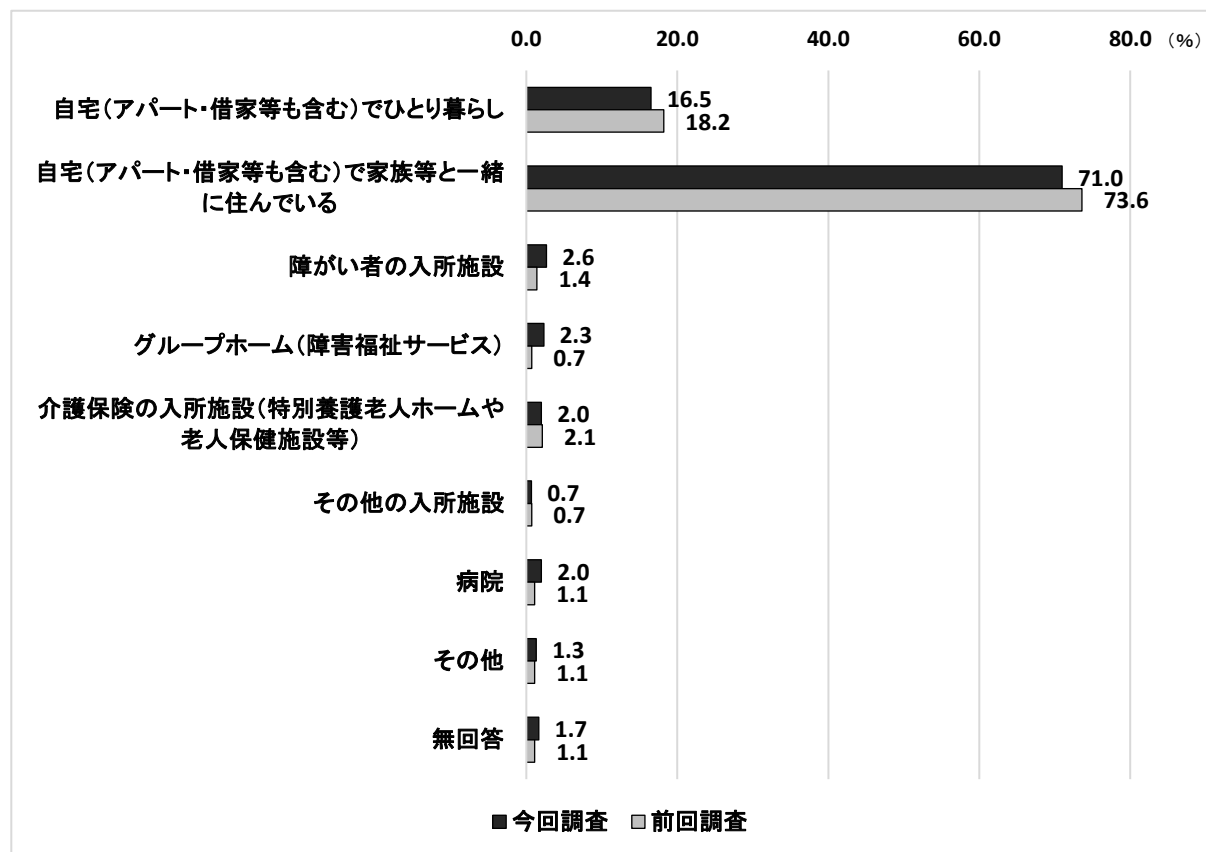
○前回調査と比較すると、「その他」が増加し、「配偶者（夫または妻）」、「子（子の配偶者含む）」、「孫」がやや減少している。



問8 あなたが現在暮らしているお住まいはどこですか。(1つに○)

○「自宅(アパート・借家等も含む)で家族等と一緒に住んでいる」が71.0%で最も高く、次いで、「自宅(アパート・借家等も含む)でひとり暮らし(16.5%)」、「障がい者の入所施設(2.6%)」と続いている。

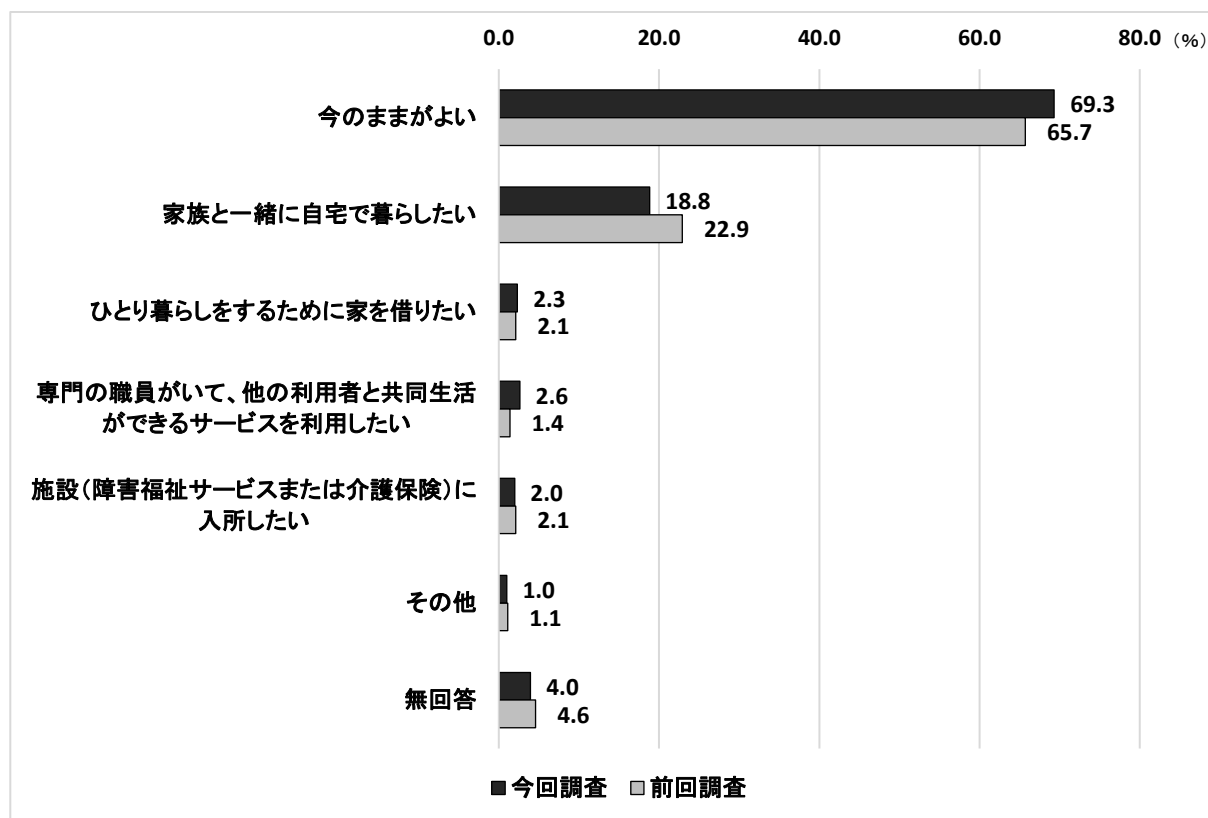
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。



問9 次にあげるいろいろな「生活の場」のうち、今後暮らしてみたいと思うのはどこですか。（1つに○）

○「今のままがよい」が 69.3%で最も高く、次いで、「家族と一緒に自宅で暮らしたい(18.8%)」、「専門の職員がいて、他の利用者と共同生活ができるサービスを利用したい（2.6%）」と続いている。

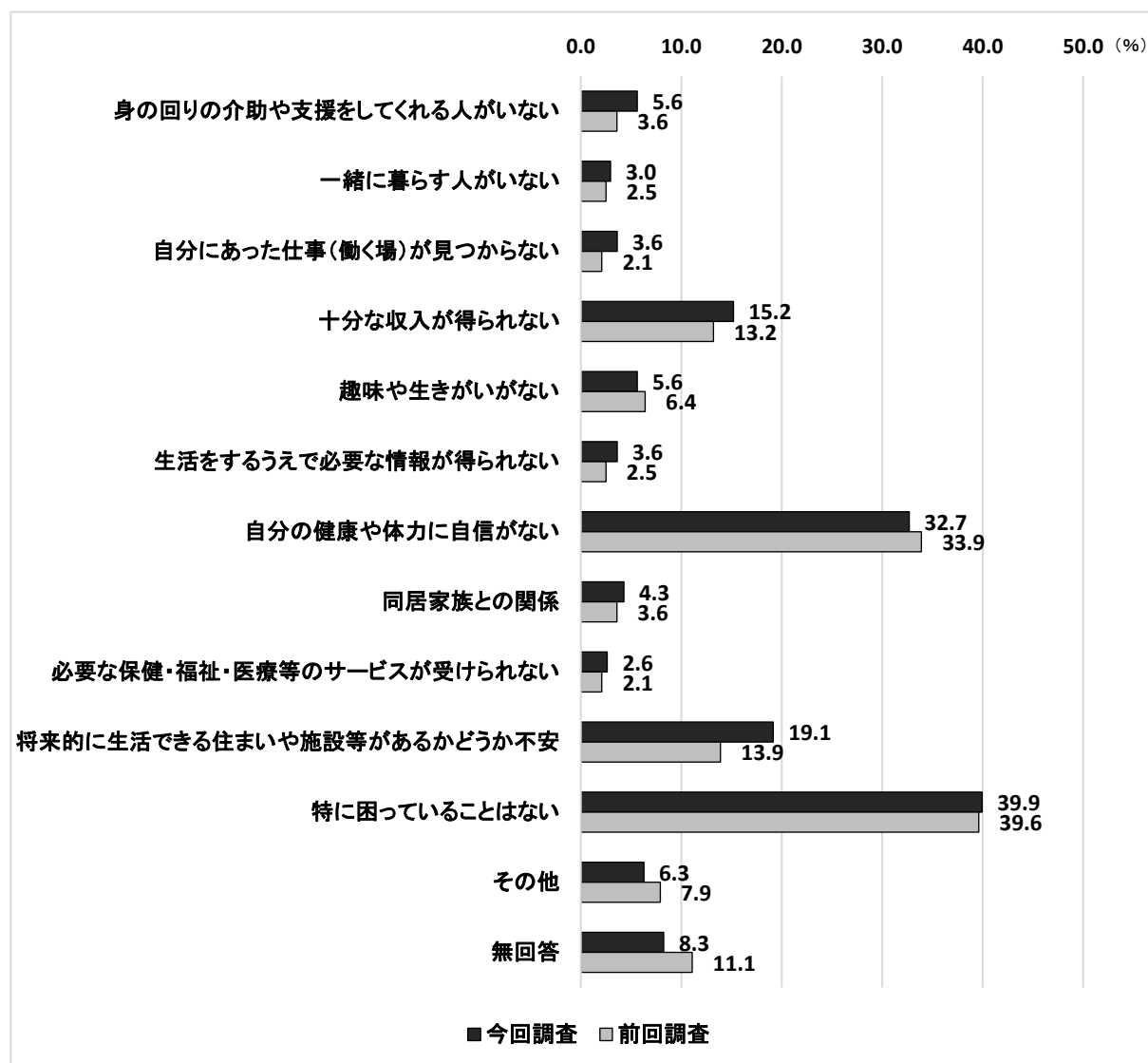
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。



問 10 現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。(主なもの3つまで○)

○「特に困っていることはない」が 39.9%で最も高く、次いで、「自分の健康や体力に自信がない（32.7%）」、「将来的に生活できる住まいや施設等があるかどうか不安（19.1%）」と続いている。

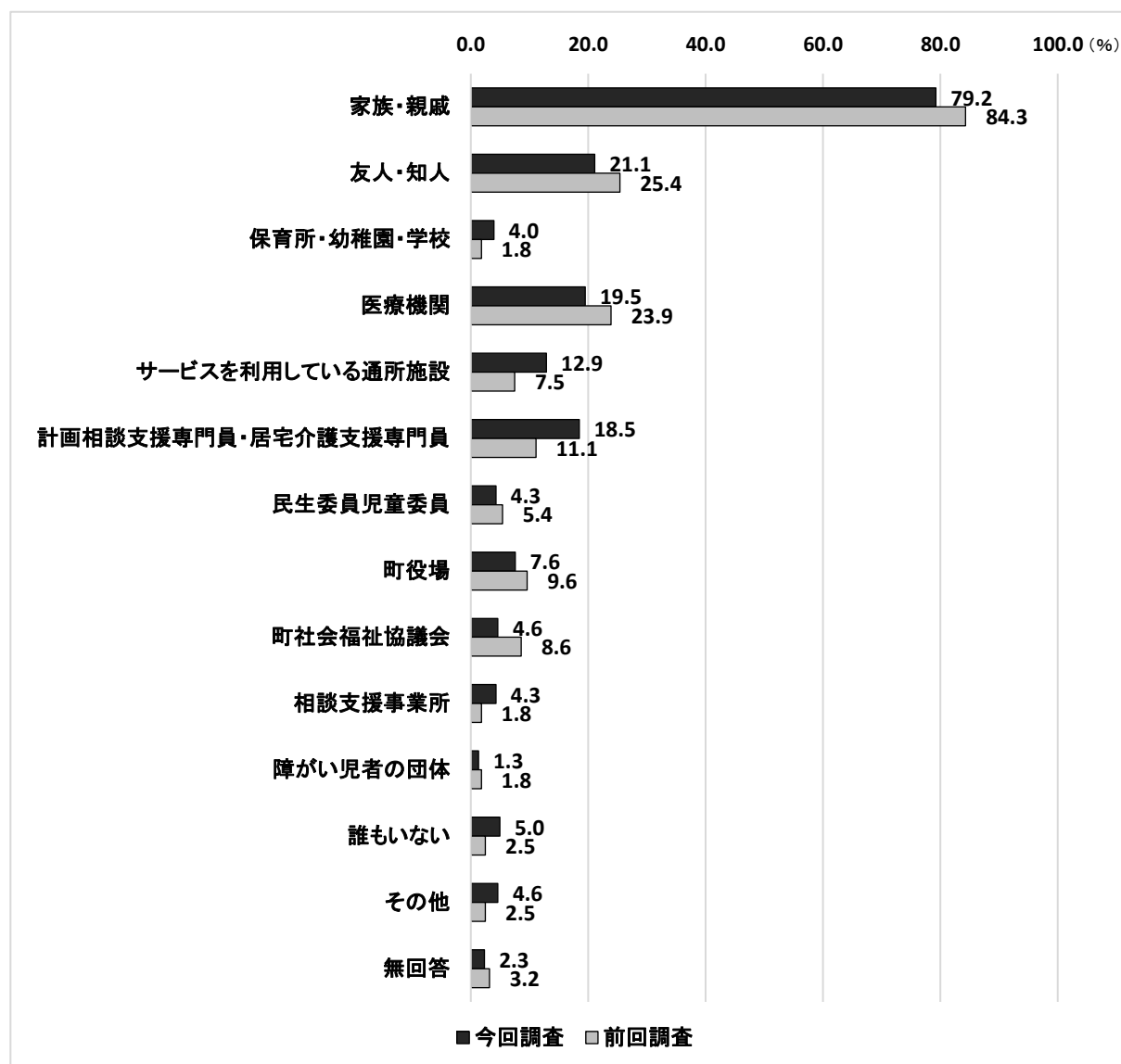
○前回調査と比較すると、「将来的に生活できる住まいや施設等があるかどうか不安」がやや増加している。



問 11 悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。(主なものを3つまで○)

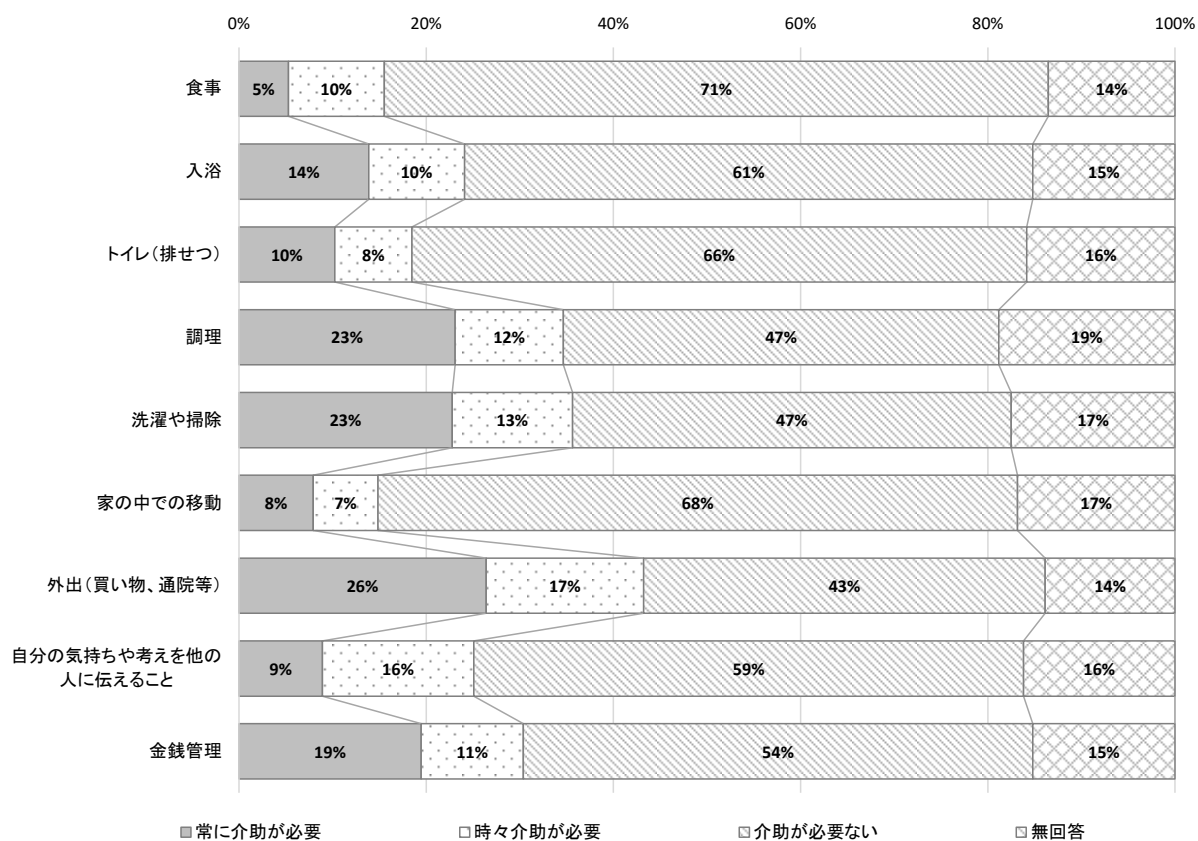
○「家族・親戚」が79.2%で最も高く、次いで、「友人・知人(21.1%)」、「医療機関(19.5%)」と続いている。

○前回調査と比較すると、「サービスを利用している通所施設」、「計画相談支援専門員・居宅介護支援専門員」がやや増加し、「家族・親戚」、「友人・知人」がやや減少している。



**問 12 あなたは、次のことに介助が必要です。車いすや補聴器等の用具を使用した状態で
お答えください。**

○常に介助が必要な割合は、「外出（買い物、通院等）」が 26%で最も高く、次いで、「調理／洗濯や掃除（23%）」、「金銭管理（19%）」と続いている。

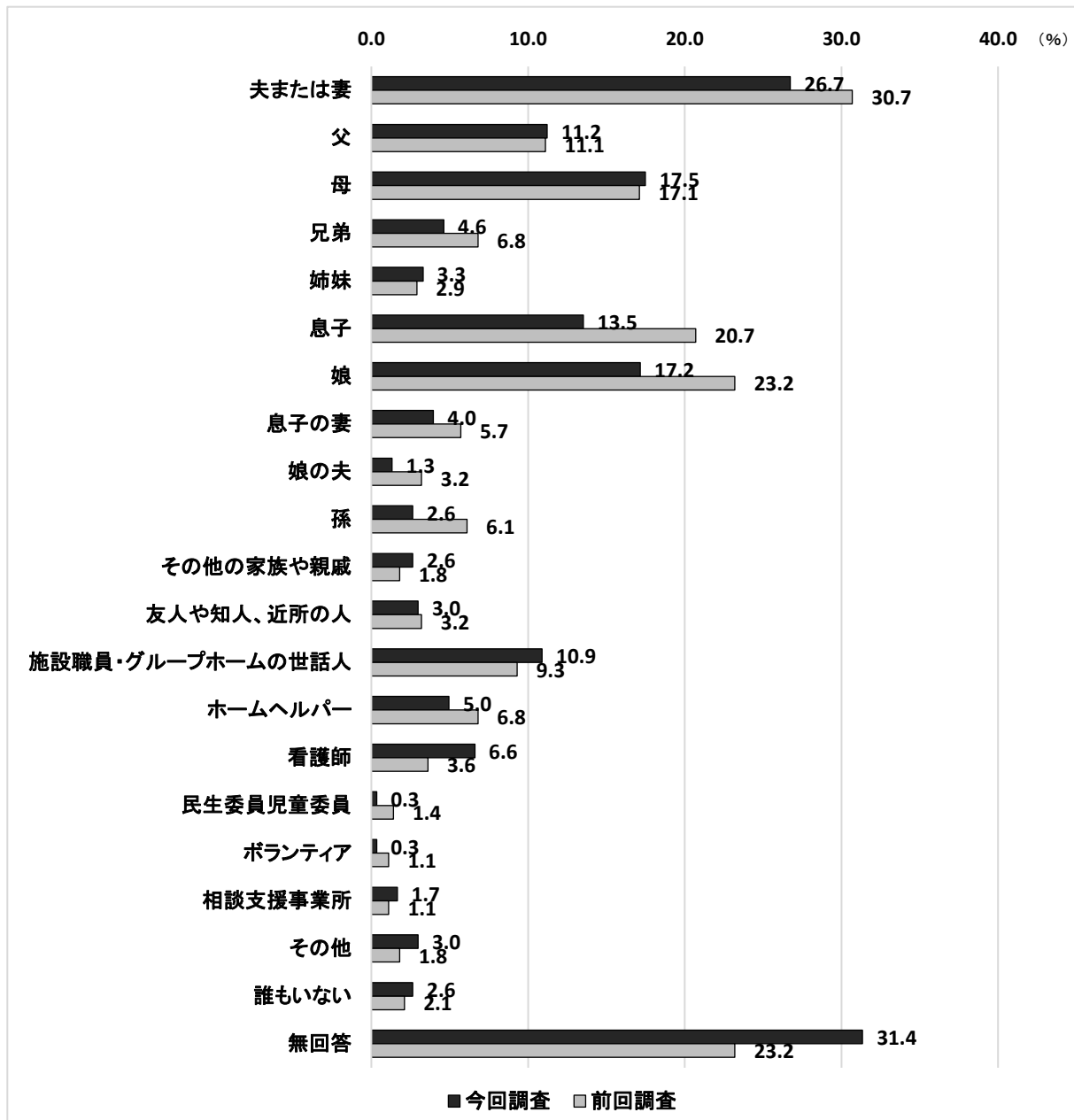


【問 12 のことを時々介助が必要または常に介助が必要な場合】

問 13 介助してもらう方はどなたですか。（主な方3つまで選んで○）

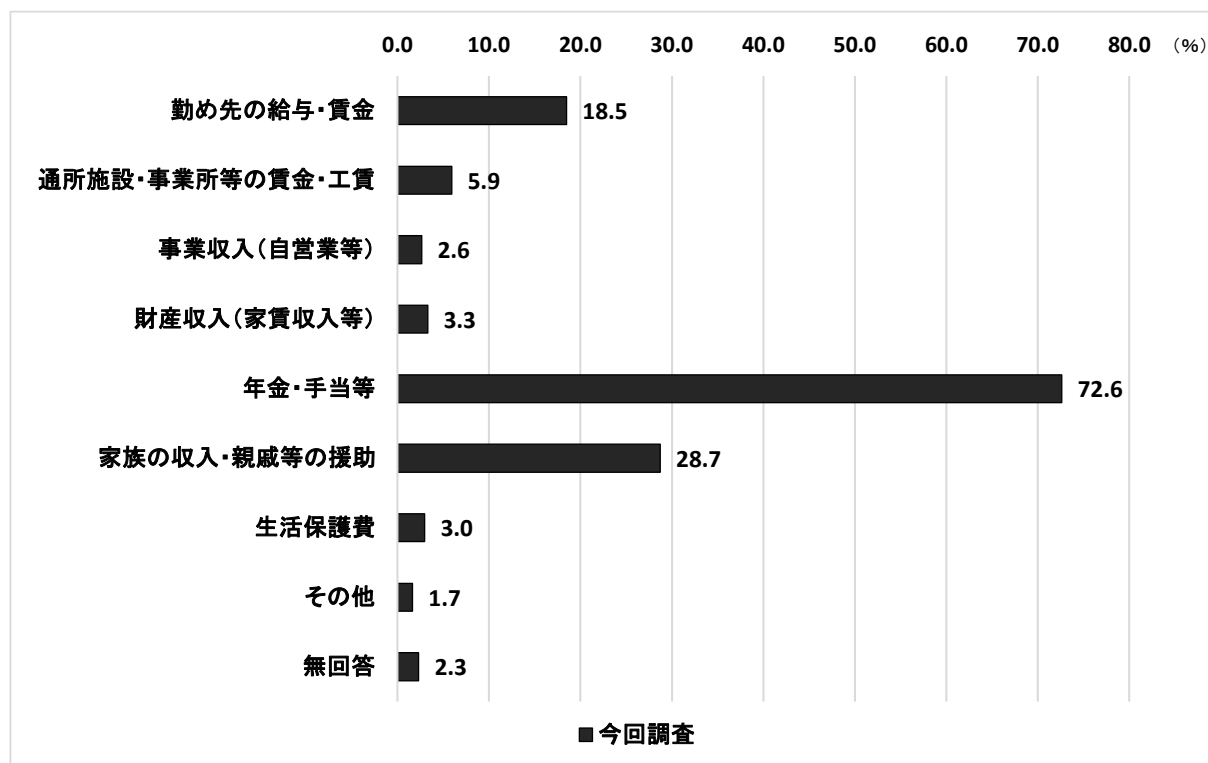
○「夫または妻」が 26.7%で最も高く、次いで、「母（17.5%）」、「娘（17.2%）」と続いている。

○前回調査と比較すると、「夫または妻」、「息子」、「娘」がやや減少している。



問 14 あなたが生活していくうえでの収入は何ですか。(該当するものすべてに○)

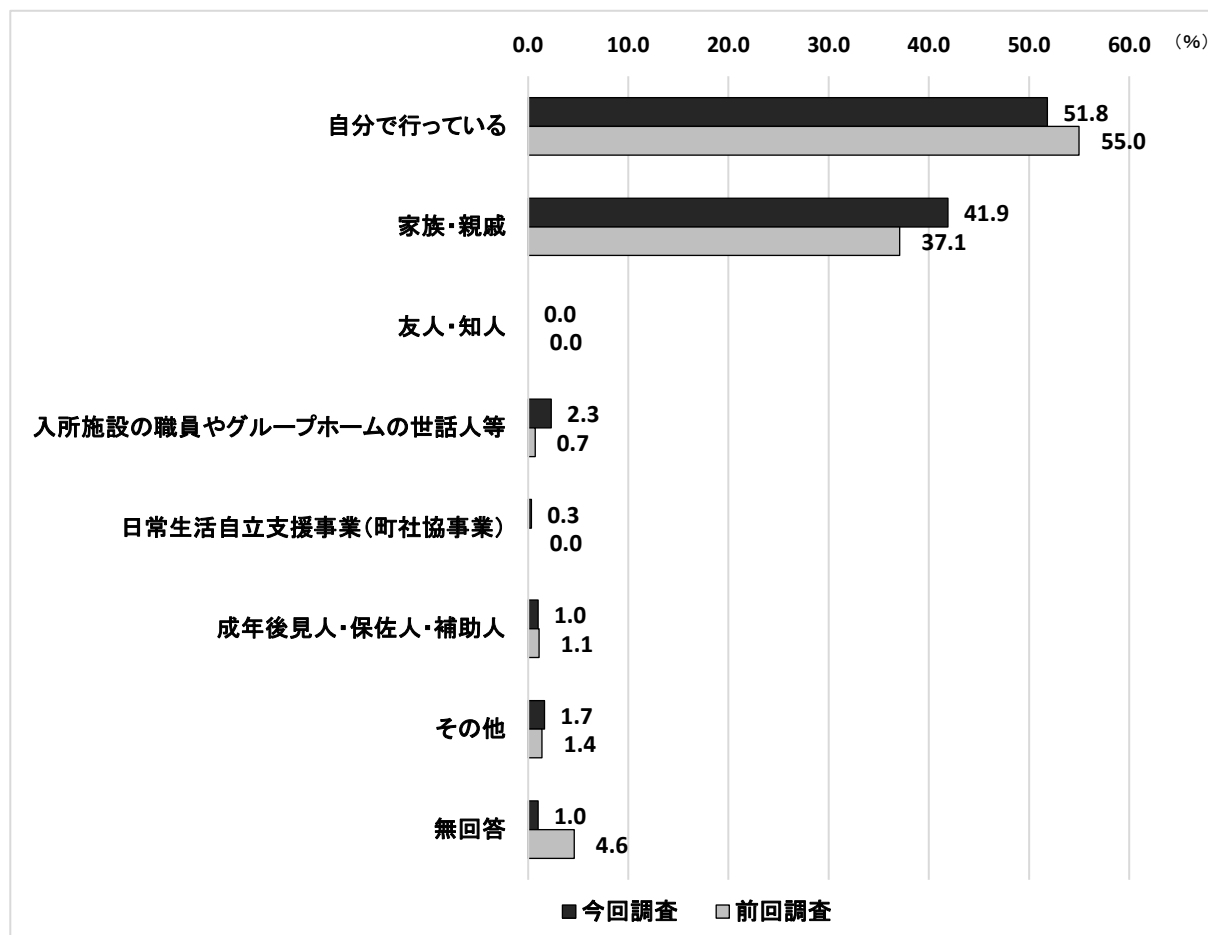
○「年金・手当等」が72.6%で最も高く、次いで、「家族の収入・親戚等の援助(28.7%)」、「勤め先の給与・賃金(18.5%)」と続いている。



問 15 お金の管理は誰が行っていますか。(1つに○)

○「自分でやっている」が51.8%で最も高く、次いで、「家族・親戚(41.9%)」、「入所施設の職員やグループホームの世話人等(2.3%)」と続いている。

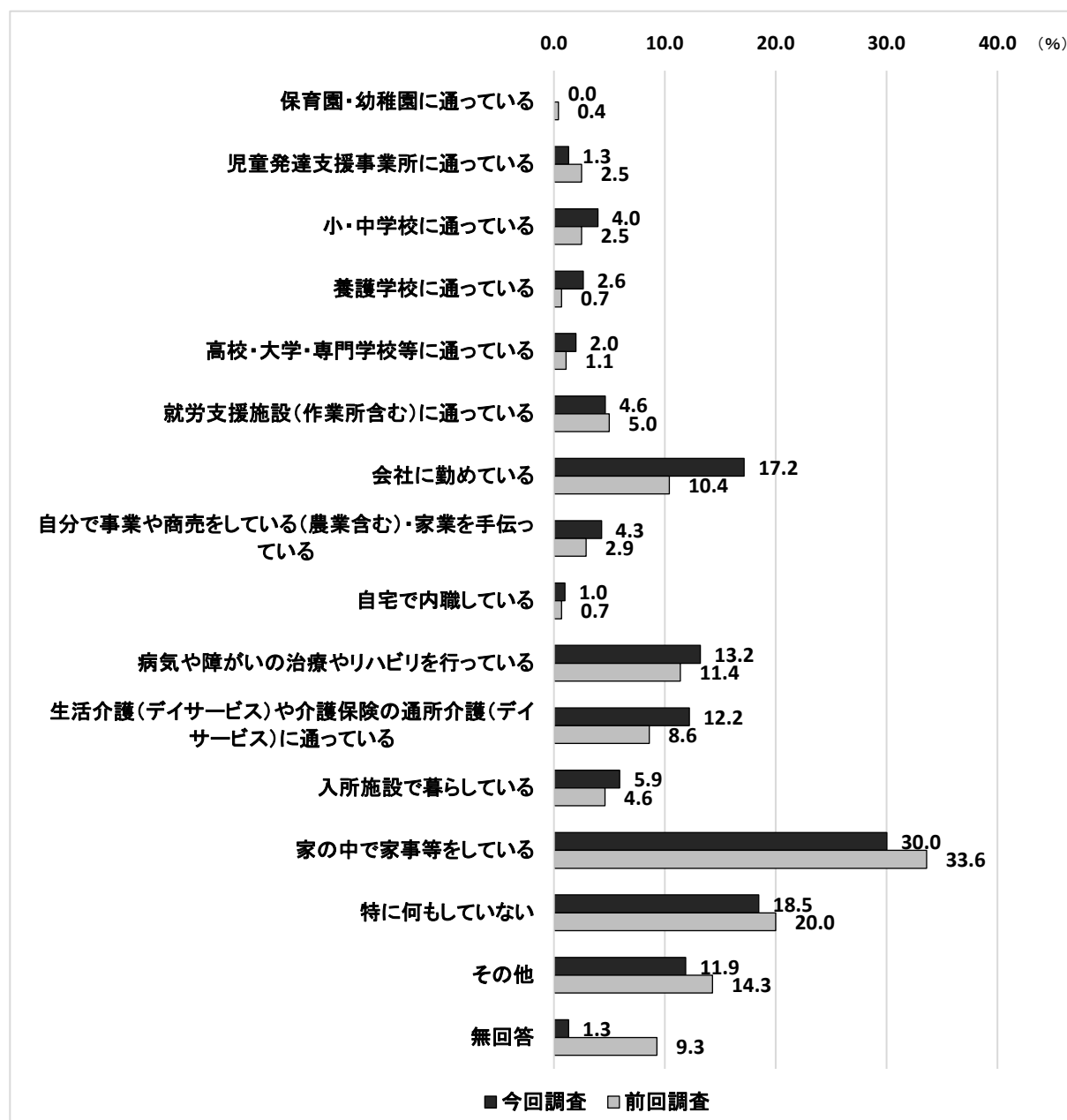
○前回調査と比較すると、「家族・親戚」がやや増加し、「自分でやっている」がやや減少している。



問 16 あなたは普段、昼間はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

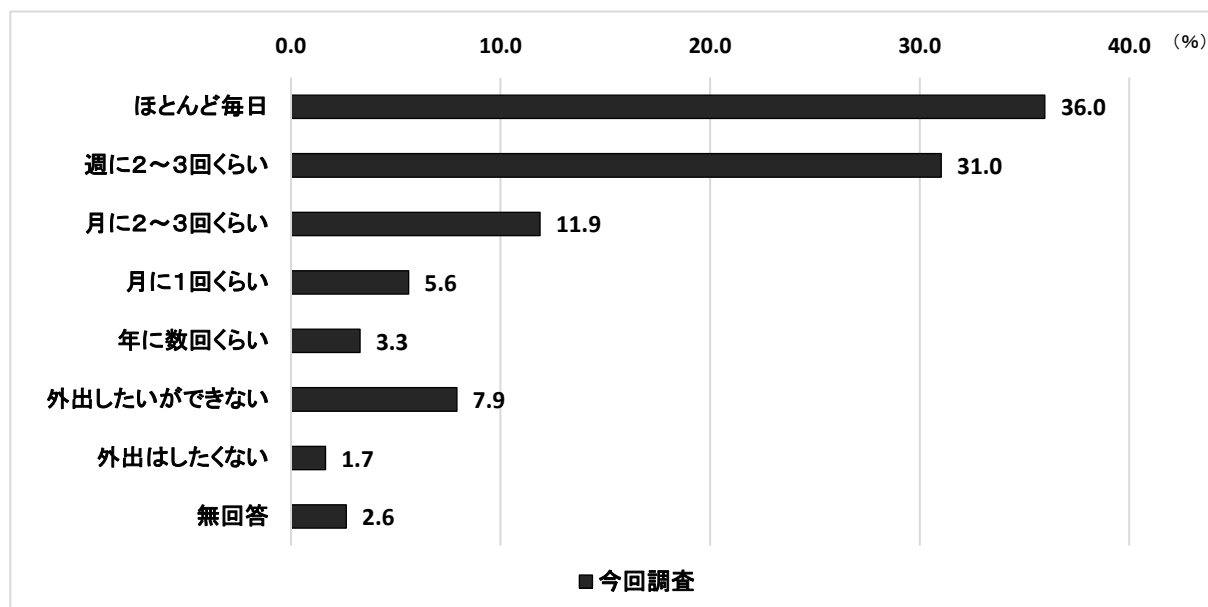
○「家の中で家事等をしている」が 30.0%で最も高く、次いで、「特に何もしていない(18.5%)」、「会社に勤めている (17.2%)」と続いている。

○前回調査と比較すると、「会社に勤めている」がやや増加し、「家の中で家事等をしている」がやや減少している。



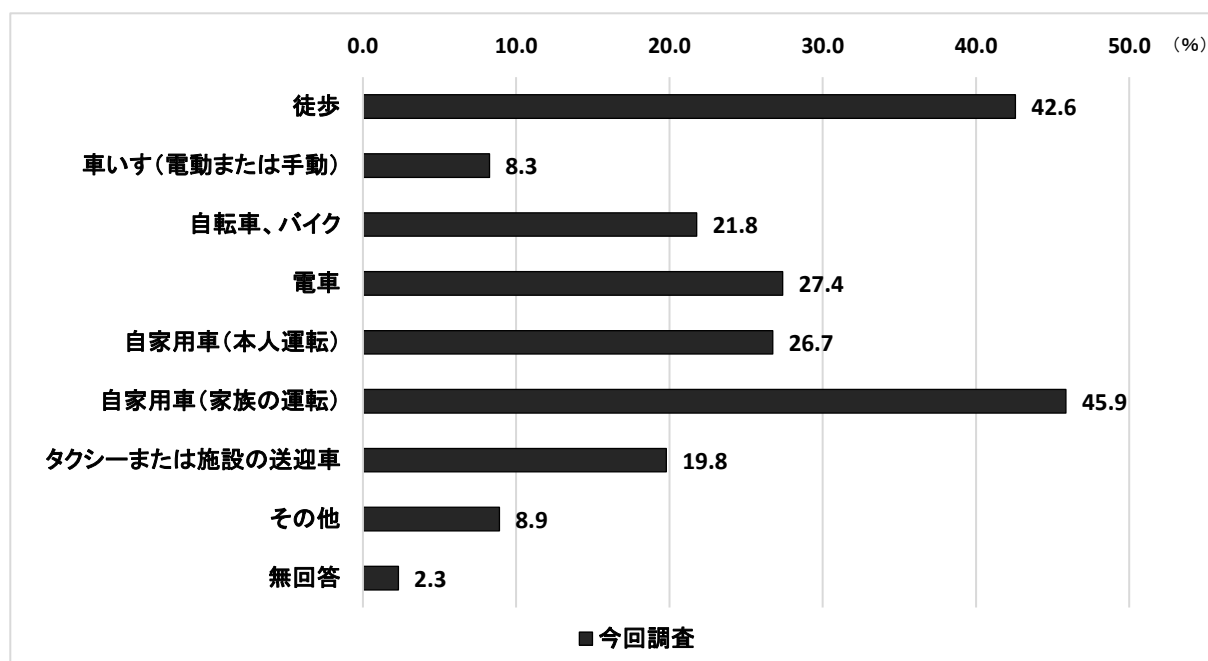
問 17 外出する頻度は、どれくらいですか。（1つに○）

○「ほとんど毎日」が 36.0%で最も高く、次いで、「週に2～3回くらい（31.0%）」、「月に2～3回くらい（11.9%）」と続いている。



問 18 あなたが外出する時の主な交通手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

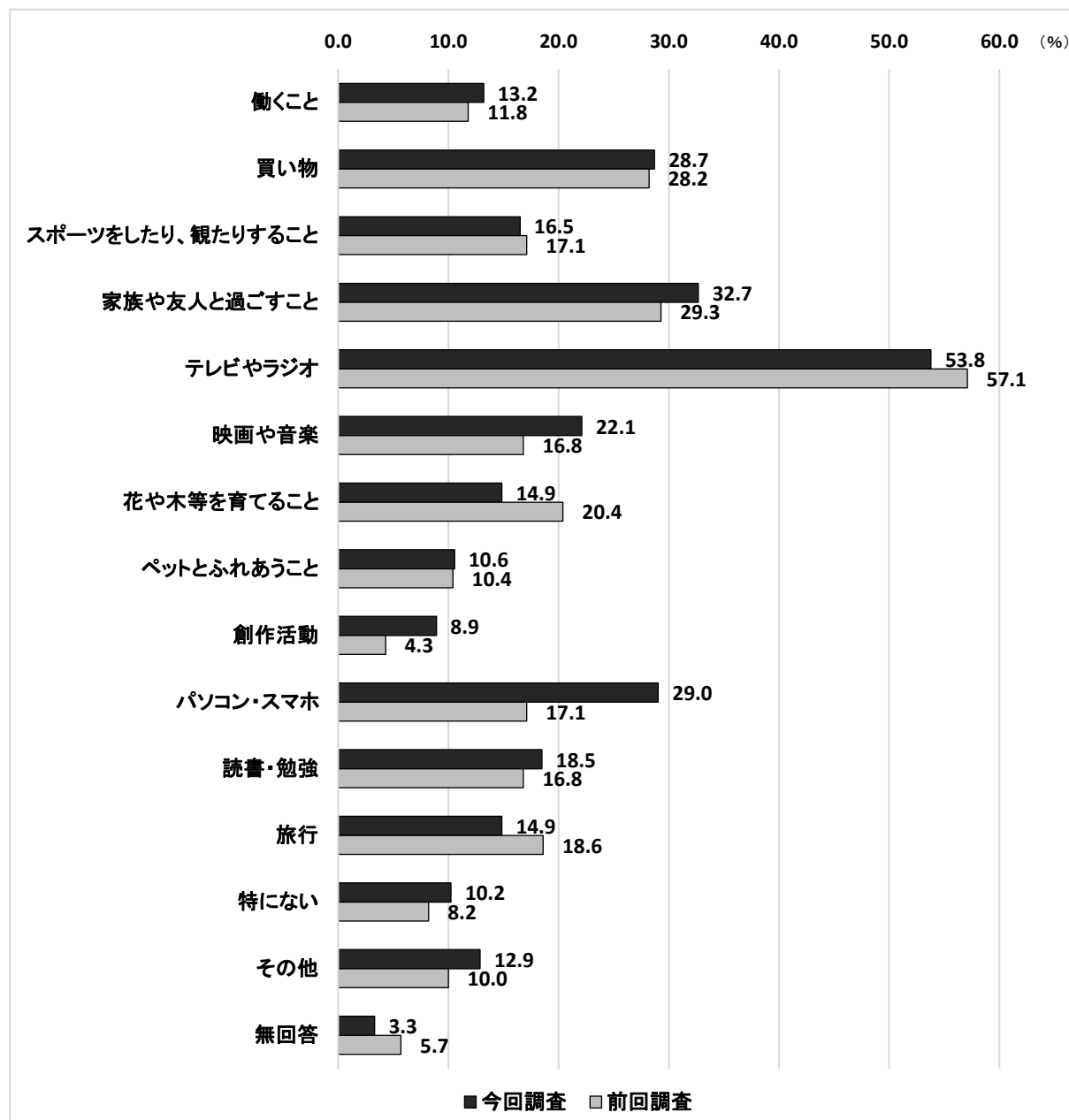
○「自家用車（家族の運転）」が 45.9%で最も高く、次いで、「徒歩（42.6%）」、「電車（27.4%）」と続いている。



問 19 あなたが日々、楽しみにしていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○「テレビやラジオ」が53.8%で最も高く、次いで、「家族や友人と過ごすこと(32.7%)」、「パソコン・スマホ(29.0%)」と続いている。

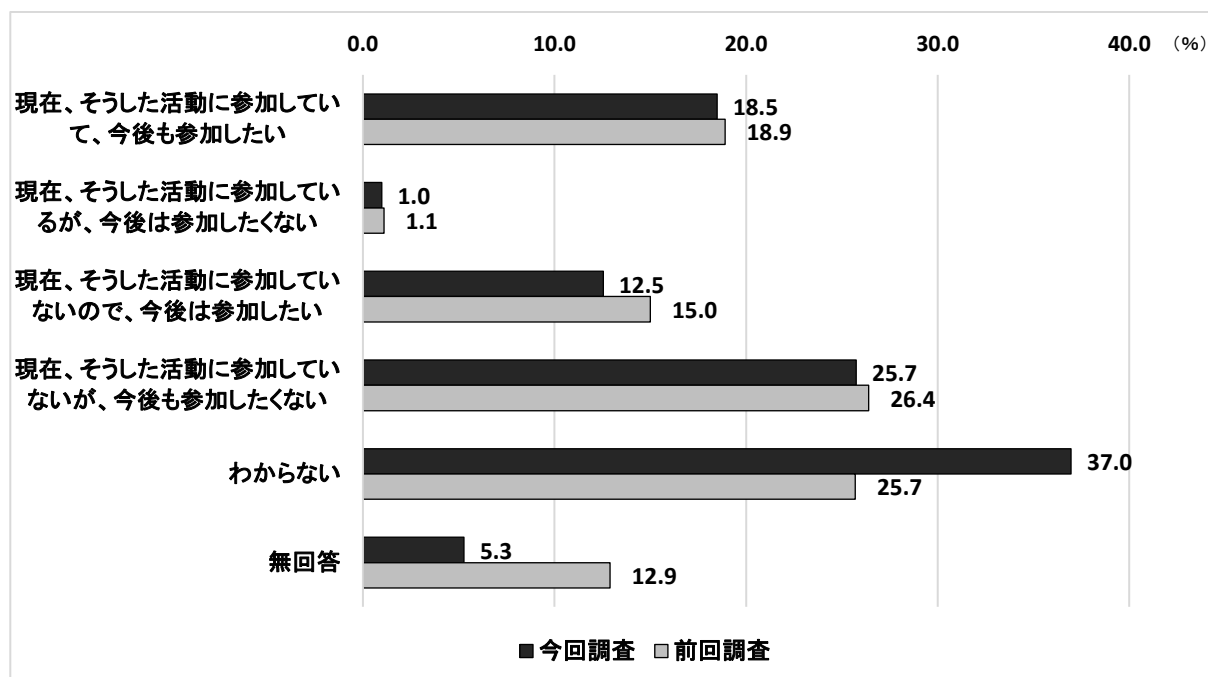
○前回調査と比較すると、「パソコン・スマホ」が増加し、「花や木等を育てること」がやや減少している。



**問 20 あなたは、同じ境遇の方同士が話し合ったり、交流する場に参加したいですか。(1
つに○)**

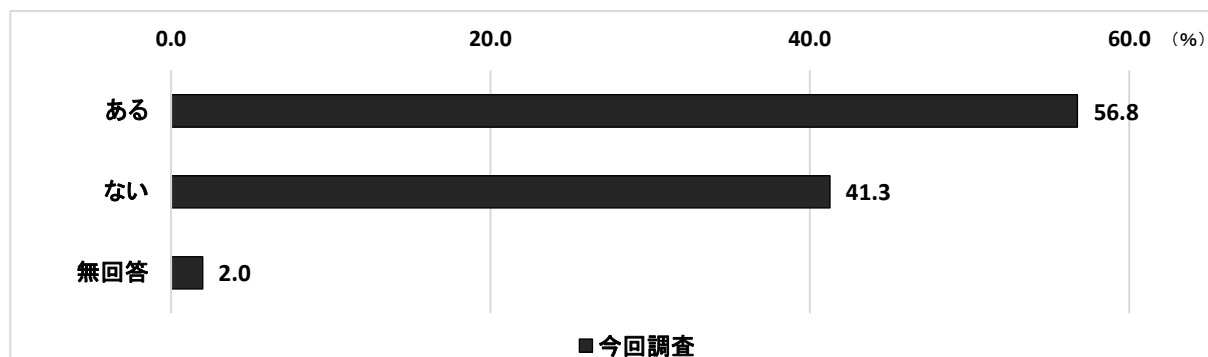
○「わからない」が 37.0%で最も高く、次いで、「現在、そうした活動に参加していないが、今後
も参加したくない(25.7%)」、「現在、そうした活動に参加していて、今後も参加したい(18.5%)」
と続いている。

○前回調査と比較すると、「わからない」が増加している。



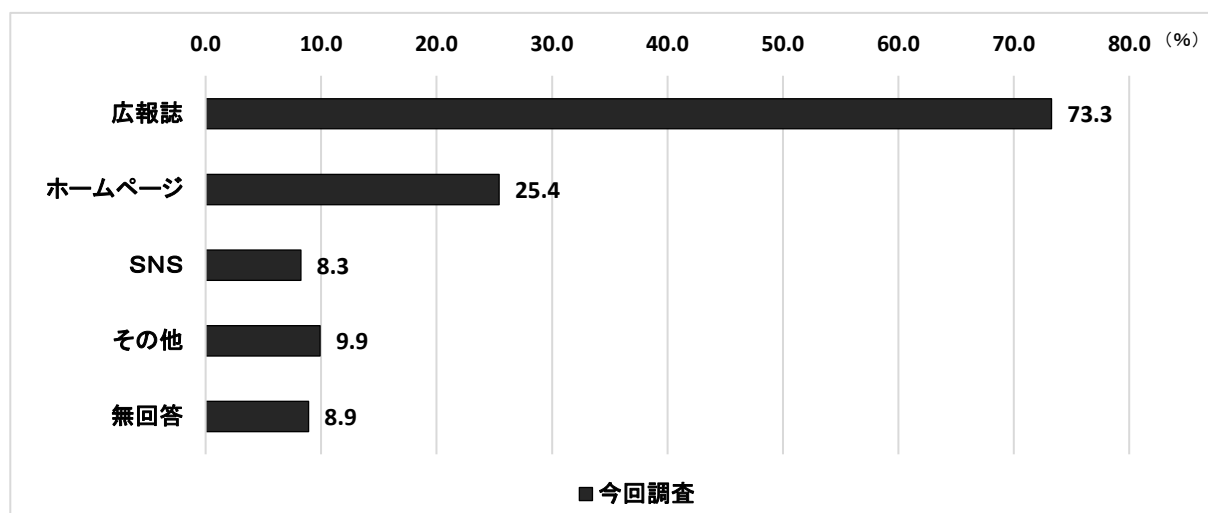
問 21 あなたは、スマートフォンやパソコンを使って情報を検索したことがありますか。
(1つに○)

○「ある」が56.8%、「ない」が41.3%となっている。



問 22 あなたが、町からの情報(直接個人あてに届く通知等を除く)を得る方法は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

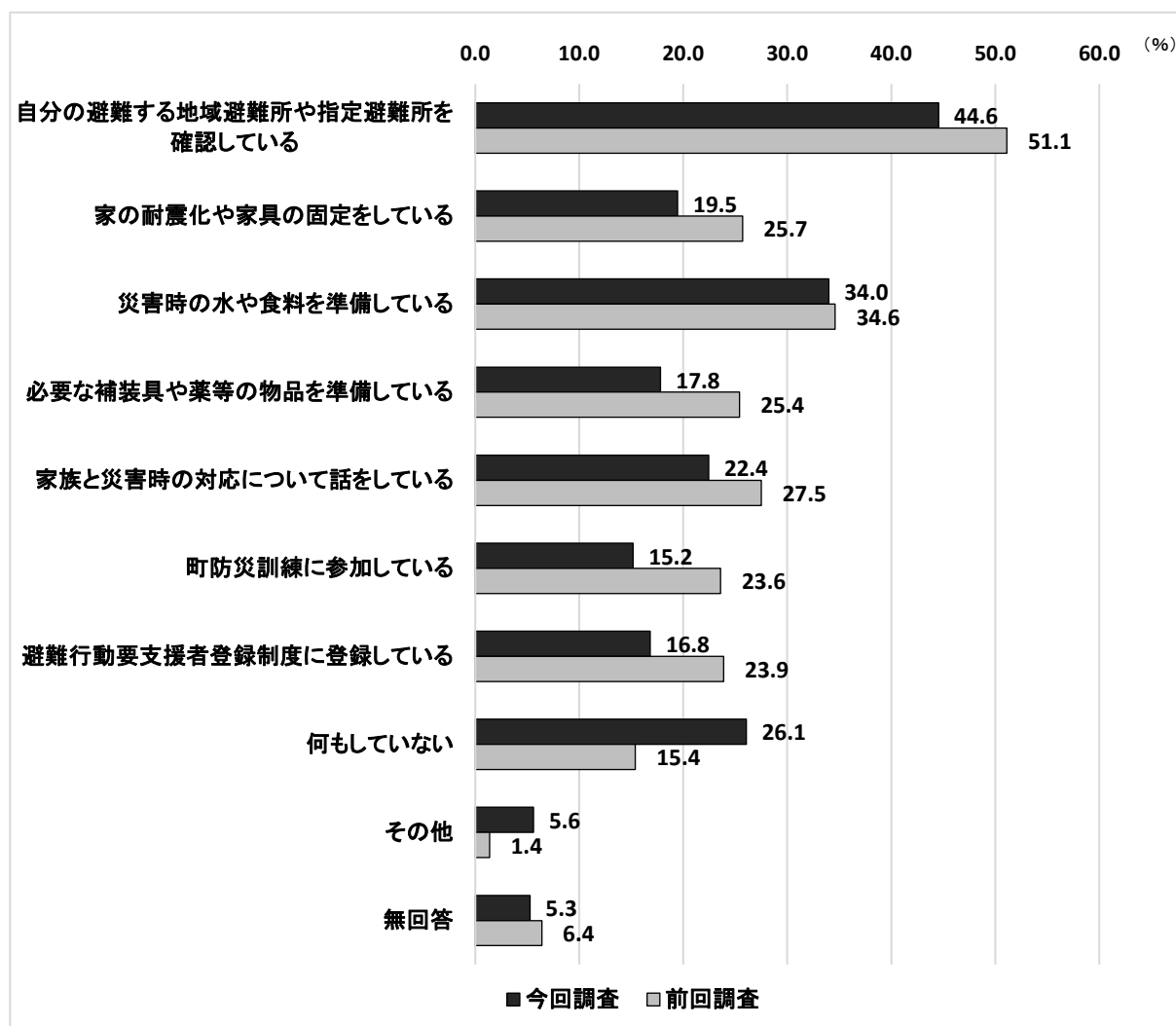
○「広報誌」が73.3%で最も高く、次いで、「ホームページ(25.4%)」、「その他(9.9%)」と続いている。



4 災害対策について

問 23 あなたは、災害発生時の備えをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

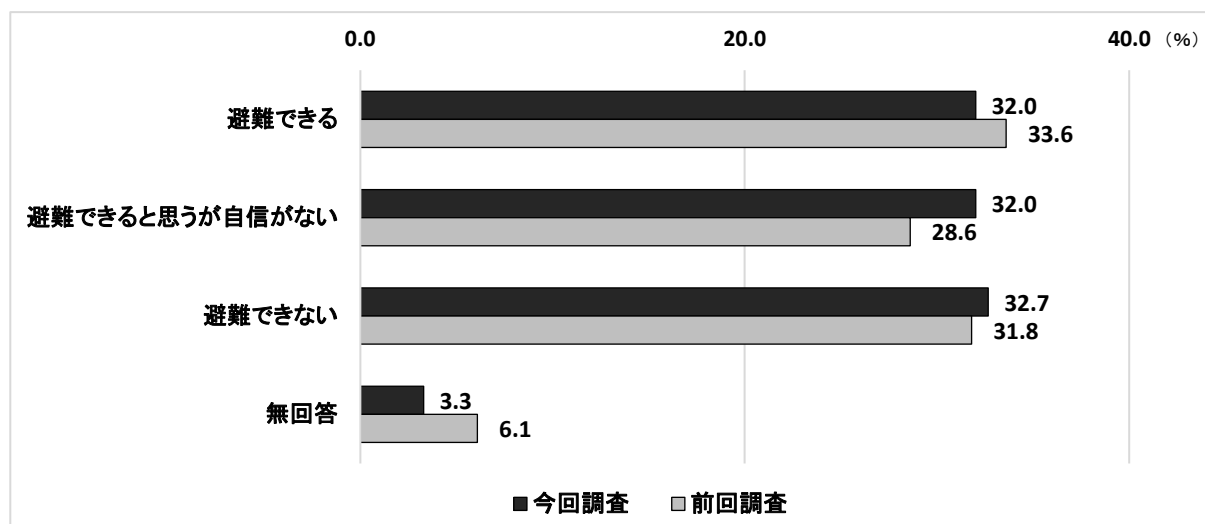
- 「自分の避難する地域避難所や指定避難所を確認している」が 44.6%で最も高く、次いで、「災害時の水や食料を準備している (34.0%)」、「何もしていない (26.1%)」と続いている。
- 前回調査と比較すると、「何もしていない」が増加し、「自分の避難する地域避難所や指定避難所を確認している」、「家の耐震化や家具の固定をしている」、「必要な補装具や薬等の物品を準備している」、「家族と災害時の対応について話をしている」、「町防災訓練に参加している」、「避難行動要支援者登録制度に登録している」がやや減少している。



問 24 あなたは、災害発生時に一人で避難できますか。（1つに○）

○「避難できない」が 32.7%で最も高く、次いで、「避難できる／避難できると思うが自信がない（32.0%）」と続いている。

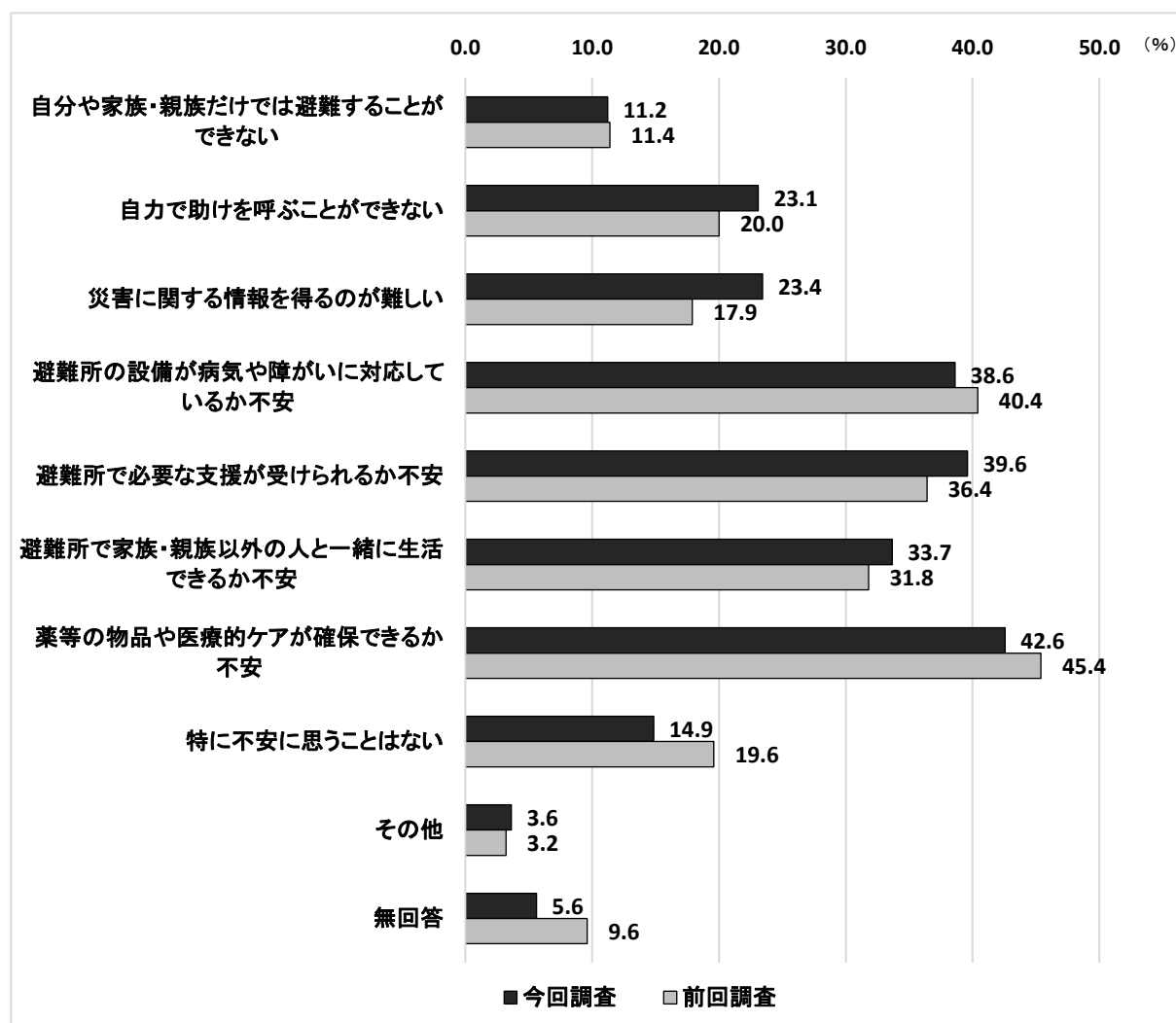
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。



問 25 あなたは、災害発生時に不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

○「薬等の物品や医療的ケアが確保できるか不安」が 42.6%で最も高く、次いで、「避難所で必要な支援が受けられるか不安 (39.6%)」、「避難所の設備が病気や障がいに対応しているか不安 (38.6%)」と続いている。

○前回調査と比較すると、「災害に関する情報を得るのが難しい」がやや増加し、「特に不安に思うことはない」がやや減少している。

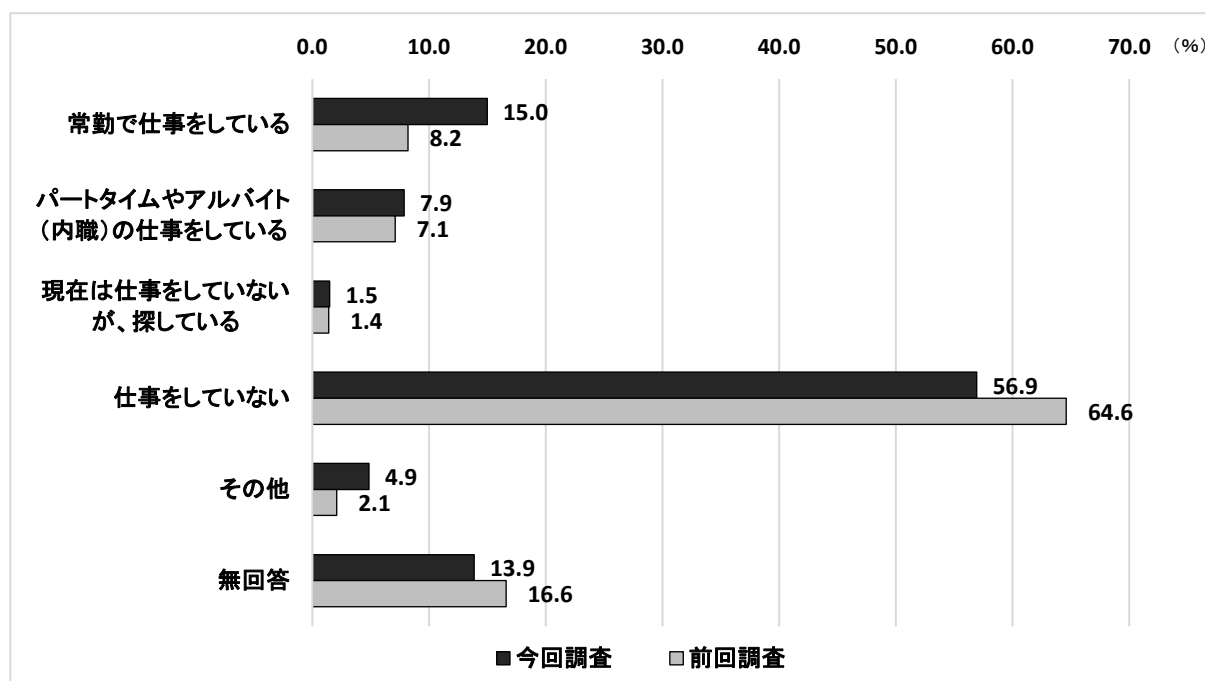


5 仕事について

(n = 267)

問 26 あなたの就労の状況や形態は、次のどれですか。(1つに○)

- 「仕事をしていない」が56.9%で最も高く、次いで、「常勤で仕事をしている(15.0%)」、「パートタイムやアルバイト(内職)の仕事をしている(7.9%)」と続いている。
- 前回調査と比較すると、「常勤で仕事をしている」が増加し、「仕事をしていない」が減少している。

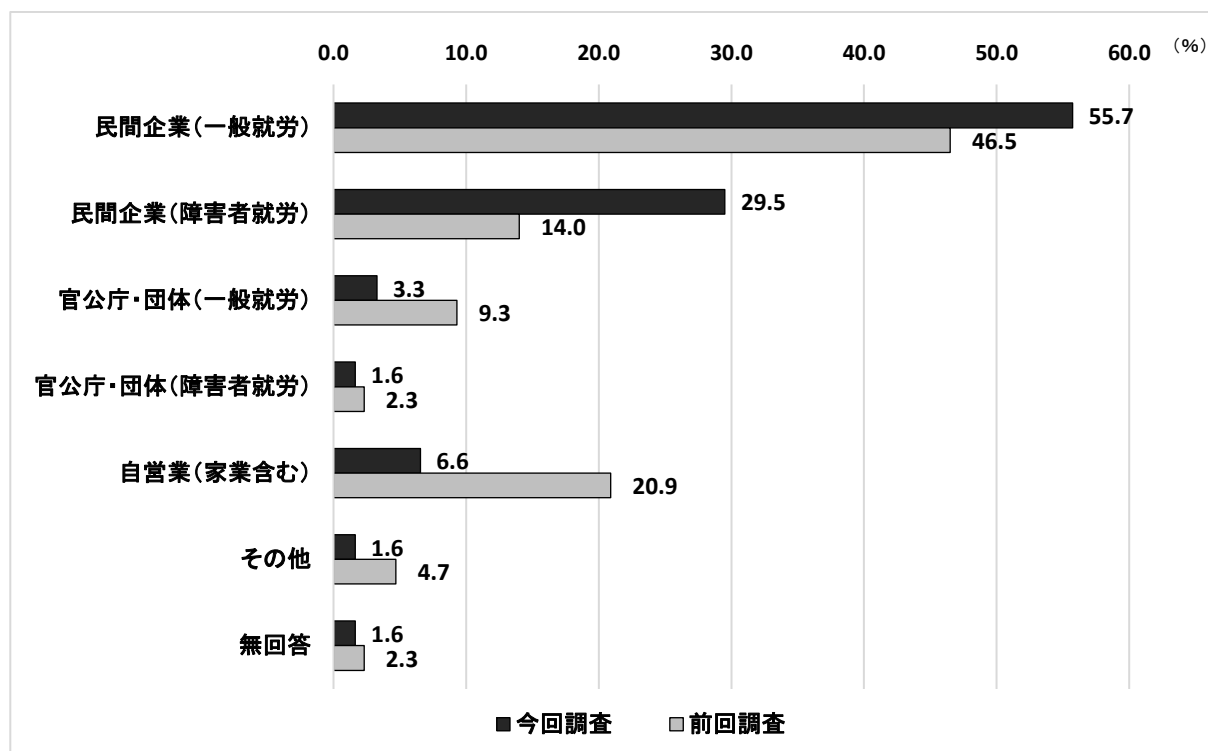


【問 26 で 1 ～ 2 と回答した方のみにおうかがいします。】（n = 61）

問 27 就労先は次のどれですか。（1つに○）

○「民間企業（一般就労）」が 55.7%で最も高く、次いで、「民間企業（障害者就労）（29.5%）」、「自営業（家業含む）（6.6%）」と続いている。

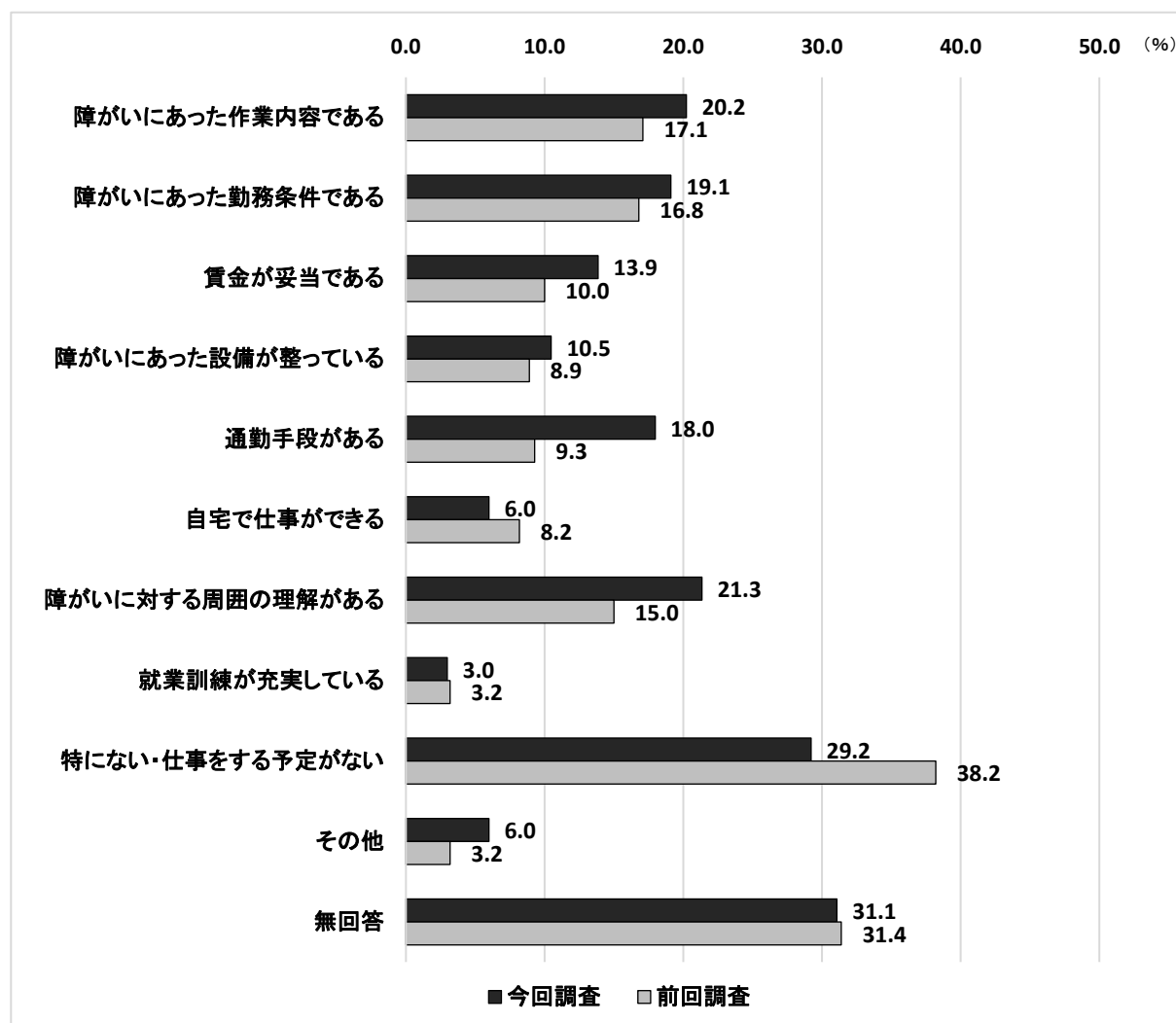
○前回調査と比較すると、「民間企業（一般就労）」、「民間企業（障害者就労）」が増加し、「官公庁・団体（一般就労）」、「自営業（家業含む）」が減少している。



問 28 あなたは、働くうえでどのような条件が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

○「特にない・仕事をする予定がない」が 29.2%で最も高く、次いで、「障がいに対する周囲の理解がある（21.3%）」、「障がいにあった作業内容である（20.2%）」と続いている。

○前回調査と比較すると、「通勤手段がある」、「障がいに対する周囲の理解がある」が増加し、「特にない・仕事をする予定がない」が減少している。

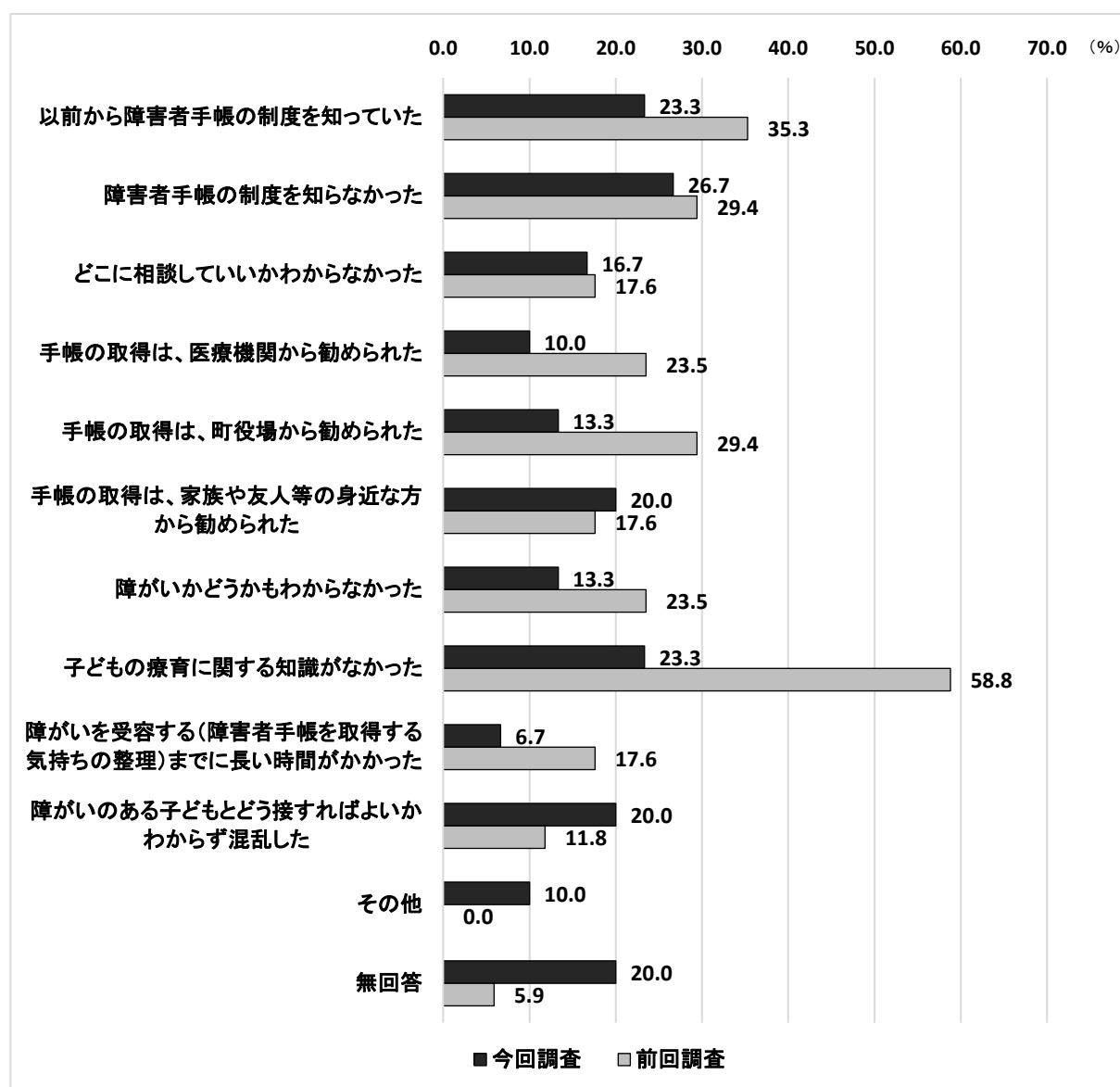


6 障がい児について

(n = 30)

問 29 障害者手帳を取得するまでの状況をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

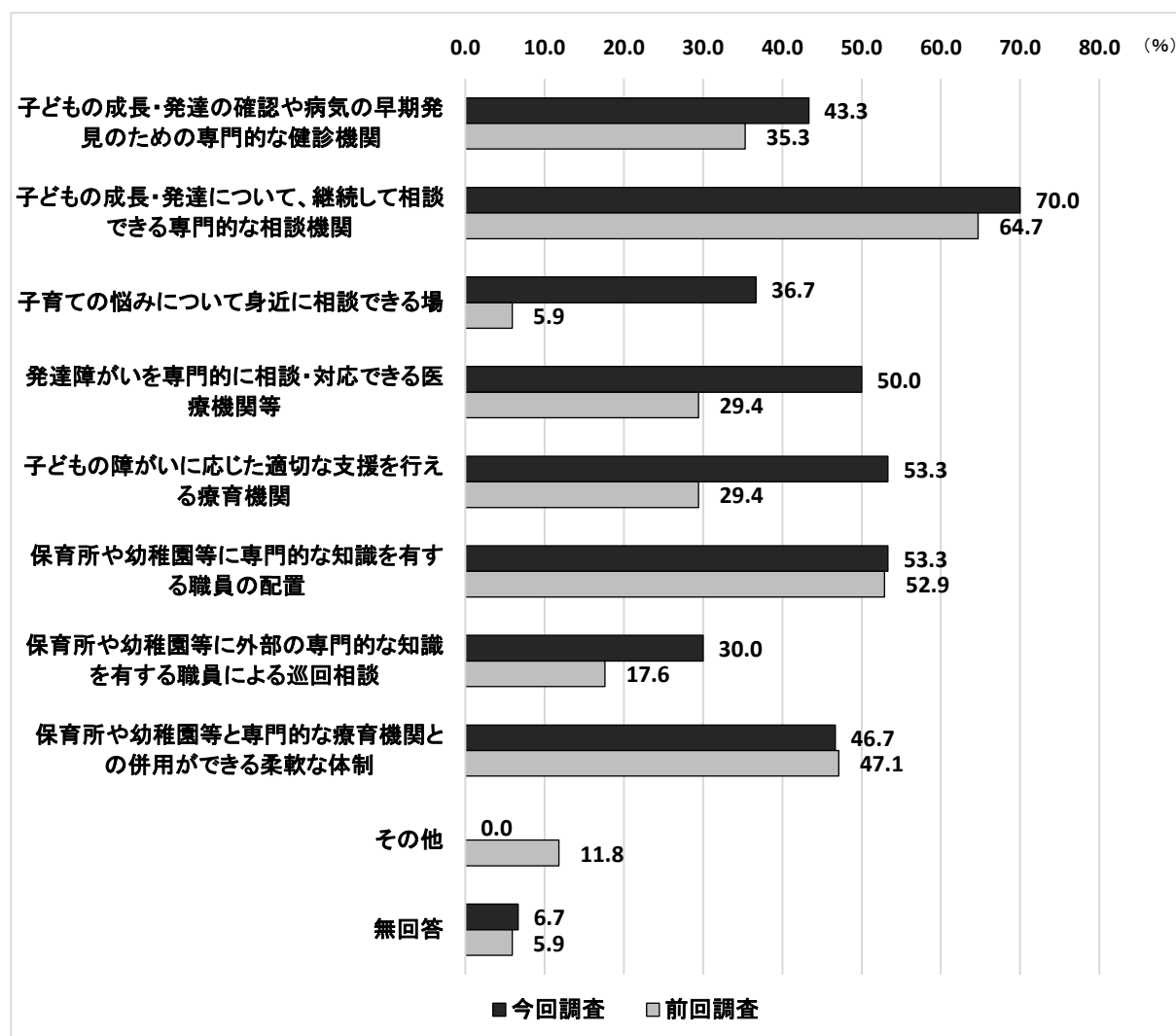
- 「障害者手帳の制度を知らなかった」が 26.7%で最も高く、次いで、「以前から障害者手帳の制度を知っていた／子どもの療育に関する知識がなかった (23.3%)」と続いている。
- 前回調査と比較すると、「障がいのある子どもとどう接すればよいかわからず混乱した」が増加し、「以前から障害者手帳の制度を知っていた」、「手帳の取得は、医療機関から勧められた」、「手帳の取得は、町役場から勧められた」、「障がいいかどうかもわからなかった」、「子どもの療育に関する知識がなかった」、「障がいを受容する(障害者手帳を取得する気持ちの整理)までに長い時間がかかった」が減少している。



問 30 子どもの療育支援への対応として、特に必要と思う社会資源をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

○「子どもの成長・発達について、継続して相談できる専門的な相談機関」が 70.0%で最も高く、次いで、「子どもの障がいに応じた適切な支援を行える療育機関／保育所や幼稚園等に専門的な知識を有する職員の配置（53.3%）」と続いている。

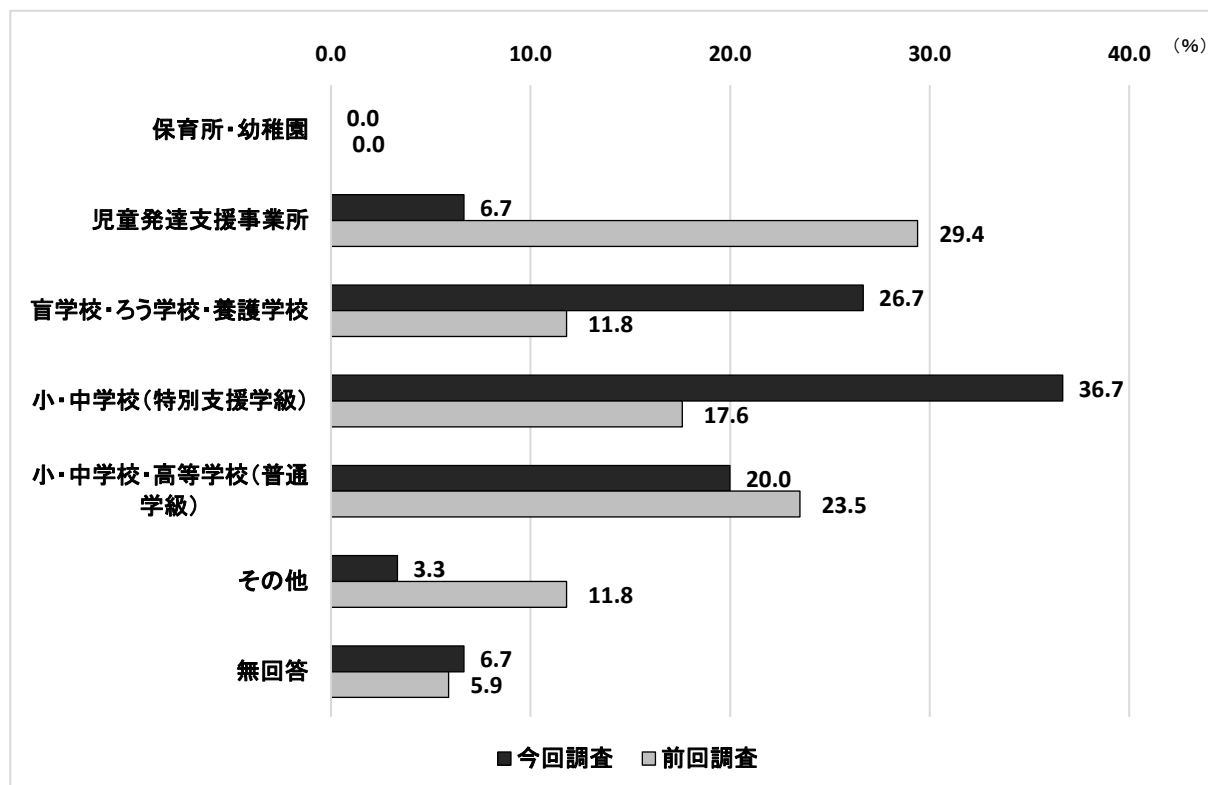
○前回調査と比較すると、「子育ての悩みについて身近に相談できる場」、「発達障がいを専門的に相談・対応できる医療機関等」、「子どもの障がいに応じた適切な支援を行える療育機関」が増加している。



問 31 調査対象児の主な通所・通学先はどこですか。（1つに○）

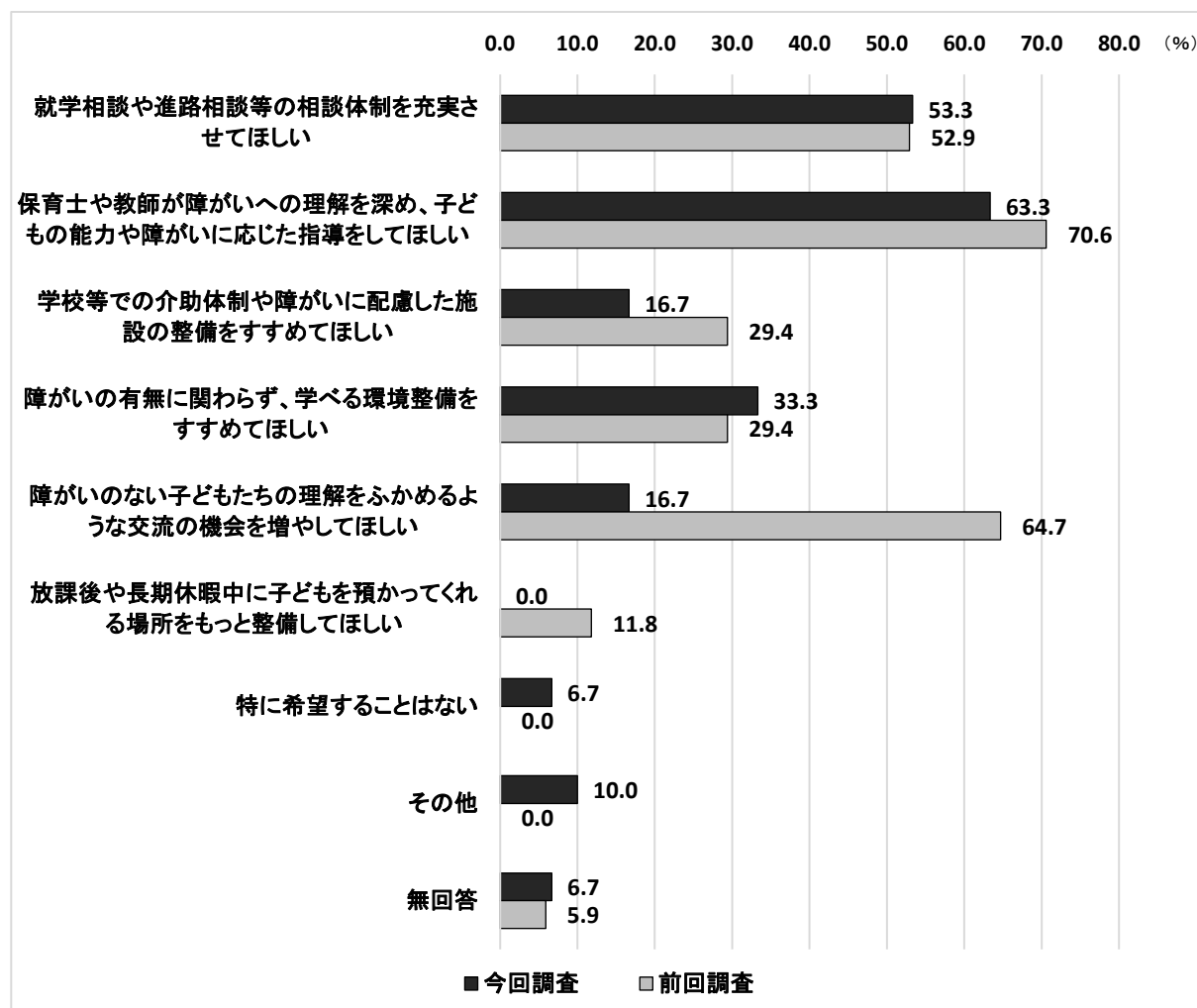
○「小・中学校（特別支援学級）」が 36.7%で最も高く、次いで、「盲学校・ろう学校・養護学校（26.7%）」、「小・中学校・高等学校（普通学級）（20.0%）」と続いている。

○前回調査と比較すると、「盲学校・ろう学校・養護学校」、「小・中学校（特別支援学級）」が増加し、「児童発達支援事業所」、「その他」が減少している。



問 32 学校等での生活については、どのようなことを望んでいますか。(主なものを3つまで○)

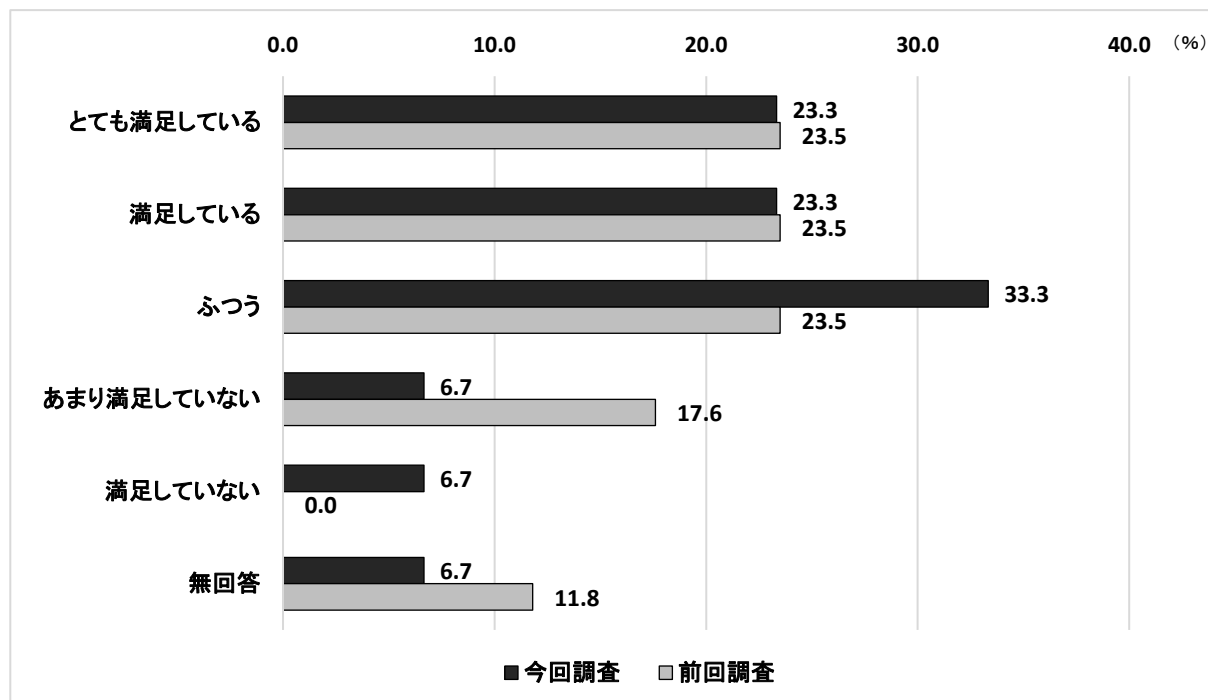
- 「保育士や教師が障がいへの理解を深め、子どもの能力や障がいに応じた指導をしてほしい」が63.3%で最も高く、次いで、「就学相談や進路相談等の相談体制を充実させてほしい(53.3%)」と続いている。
- 前回調査と比較すると、「障がいの有無に関わらず、学べる環境整備をすすめてほしい」がやや増加し、「障がいのない子どもたちの理解をふかめるような交流の機会を増やしてほしい」が減少している。



問 33 現在、通所・通学している学校等の満足度をお答えください。（1つに○）

○「ふつう」が33.3%で最も高く、次いで、「とても満足している／満足している（23.3%）」と続いている。

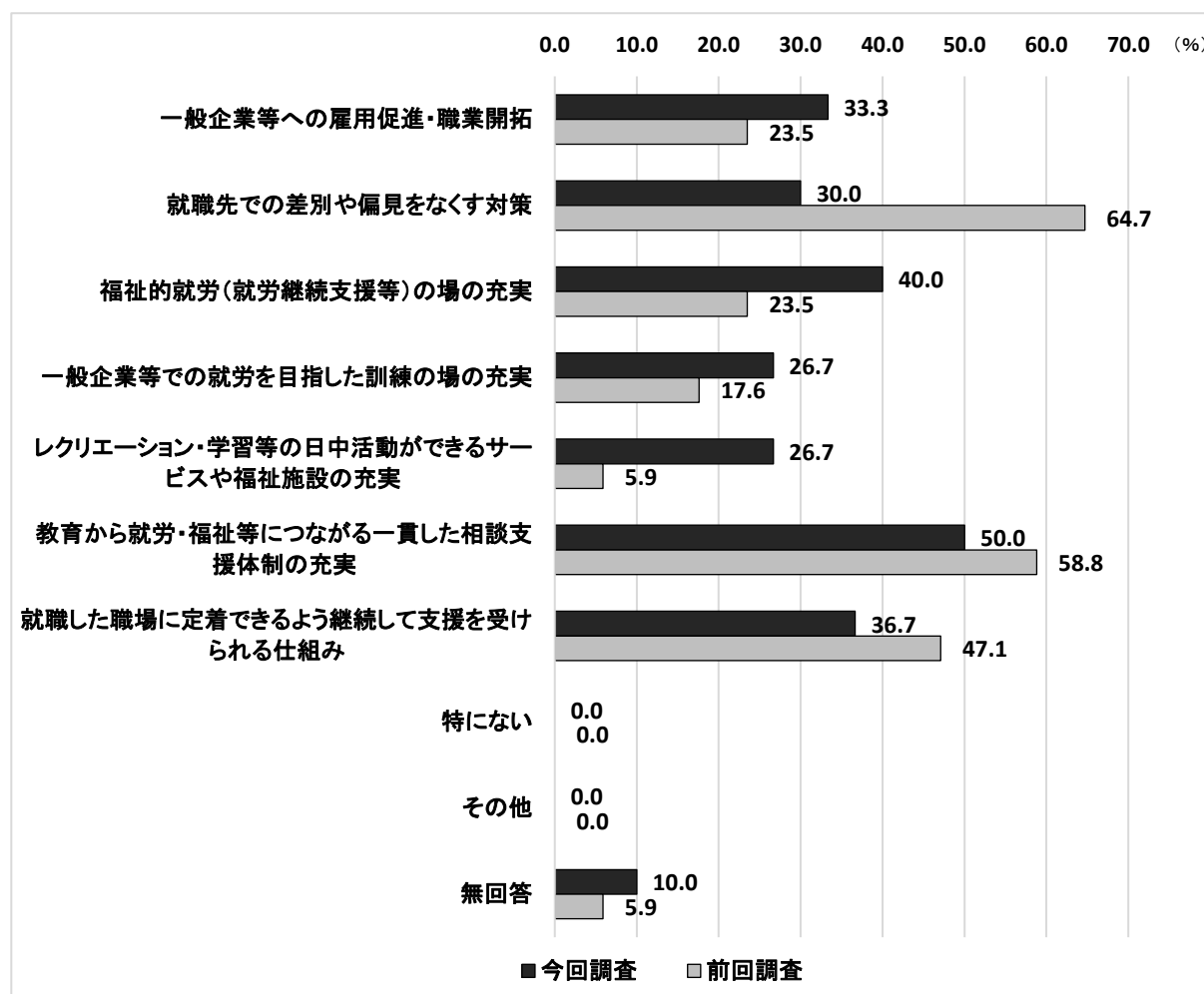
○前回調査と比較すると、「ふつう」が増加し、「あまり満足していない」が減少している。



問 34 学校教育終了後の進路について、どのような対策が必要だと思いますか。（主なもの3つまで○）

○「教育から就労・福祉等につながる一貫した相談支援体制の充実」が50.0%で最も高く、次いで、「福祉的就労（就労継続支援等）の場の充実（40.0%）」、「就職した職場に定着できるよう継続して支援を受けられる仕組み（36.7%）」と続いている。

○前回調査と比較すると、「福祉的就労（就労継続支援等）の場の充実」をはじめ「一般企業等への雇用促進・職業開拓」、「一般企業等での就労を目指した訓練の場の充実」が増加し、「就職先での差別や偏見をなくす対策」が減少している。



問 35 調査対象児が困っていること、不安に思っていることがありましたら、ご記入ください。

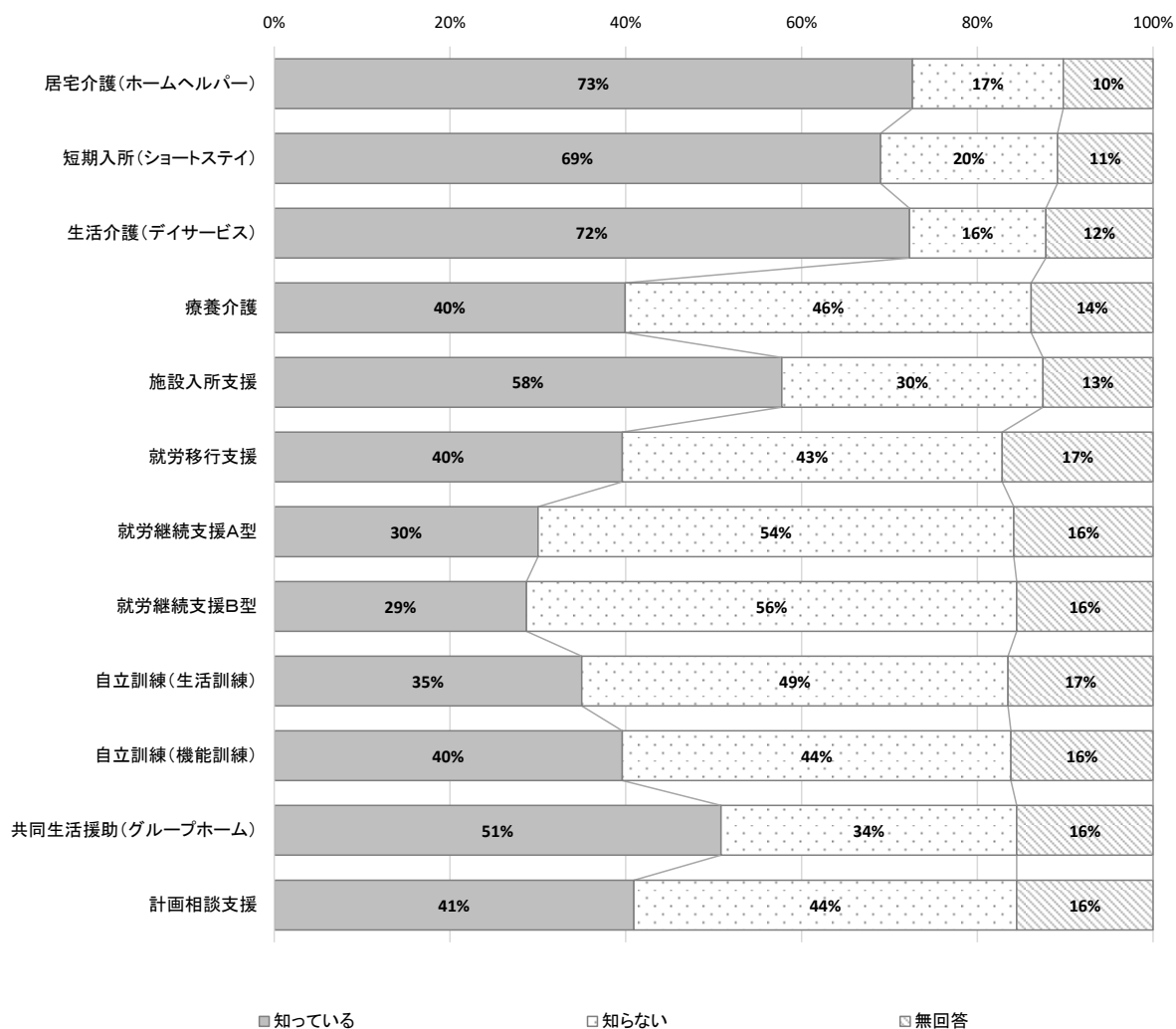
※別紙参照

7 障害福祉サービスについて

問 36 次のサービスを知っていますか。また、今後の意向をお答えください。

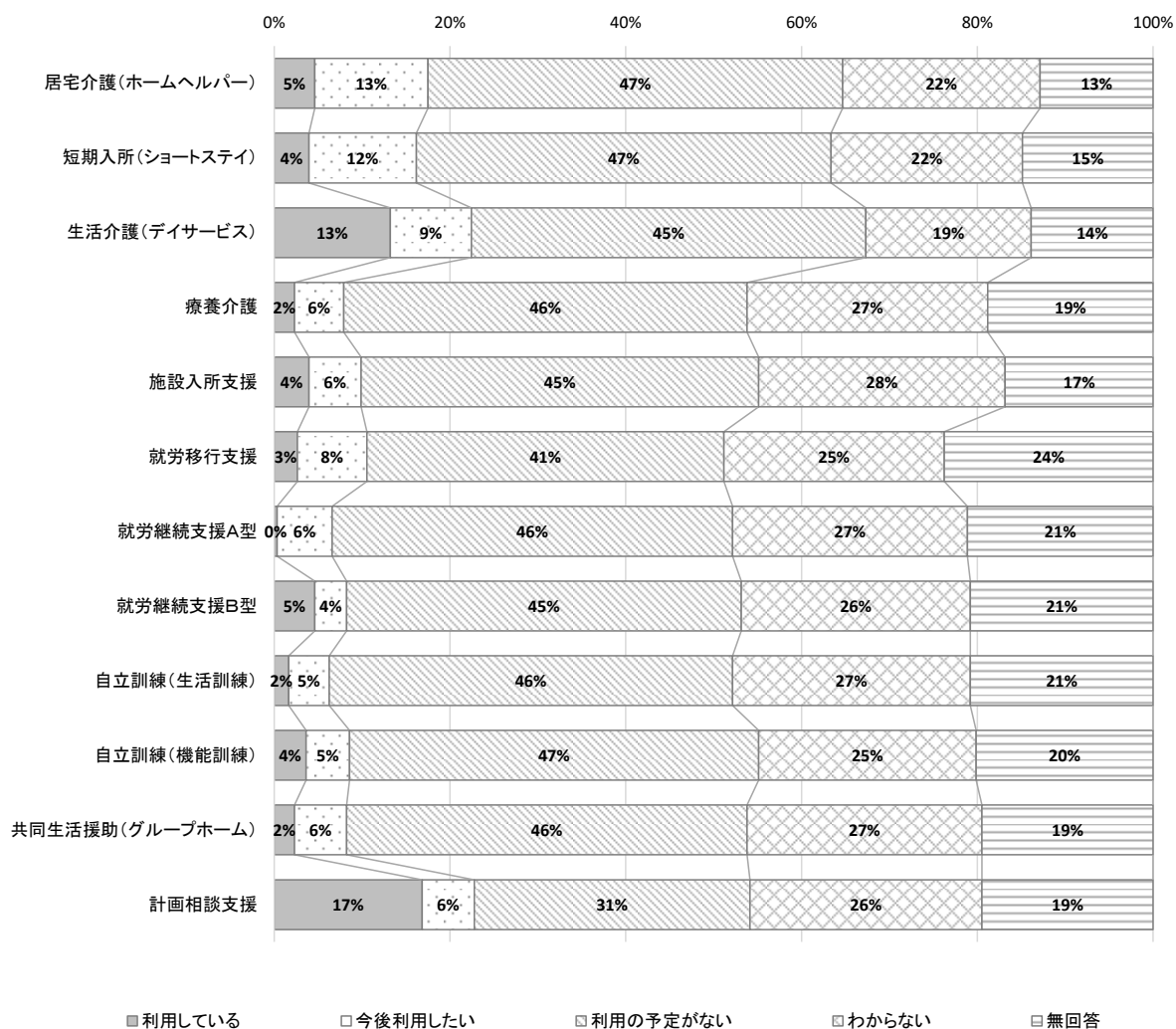
◆認知度

○知っている割合は、「居宅介護（ホームヘルパー）」が73%で最も高く、次いで、「生活介護（デイサービス）（72%）」、「短期入所（ショートステイ）（69%）」と続いている。



◆今後の意向

○利用している+今後利用したい割合は、「計画相談支援」が23%で最も高く、次いで、「生活介護（デイサービス）（22%）」、「居宅介護（ホームヘルパー）（18%）」と続いている。

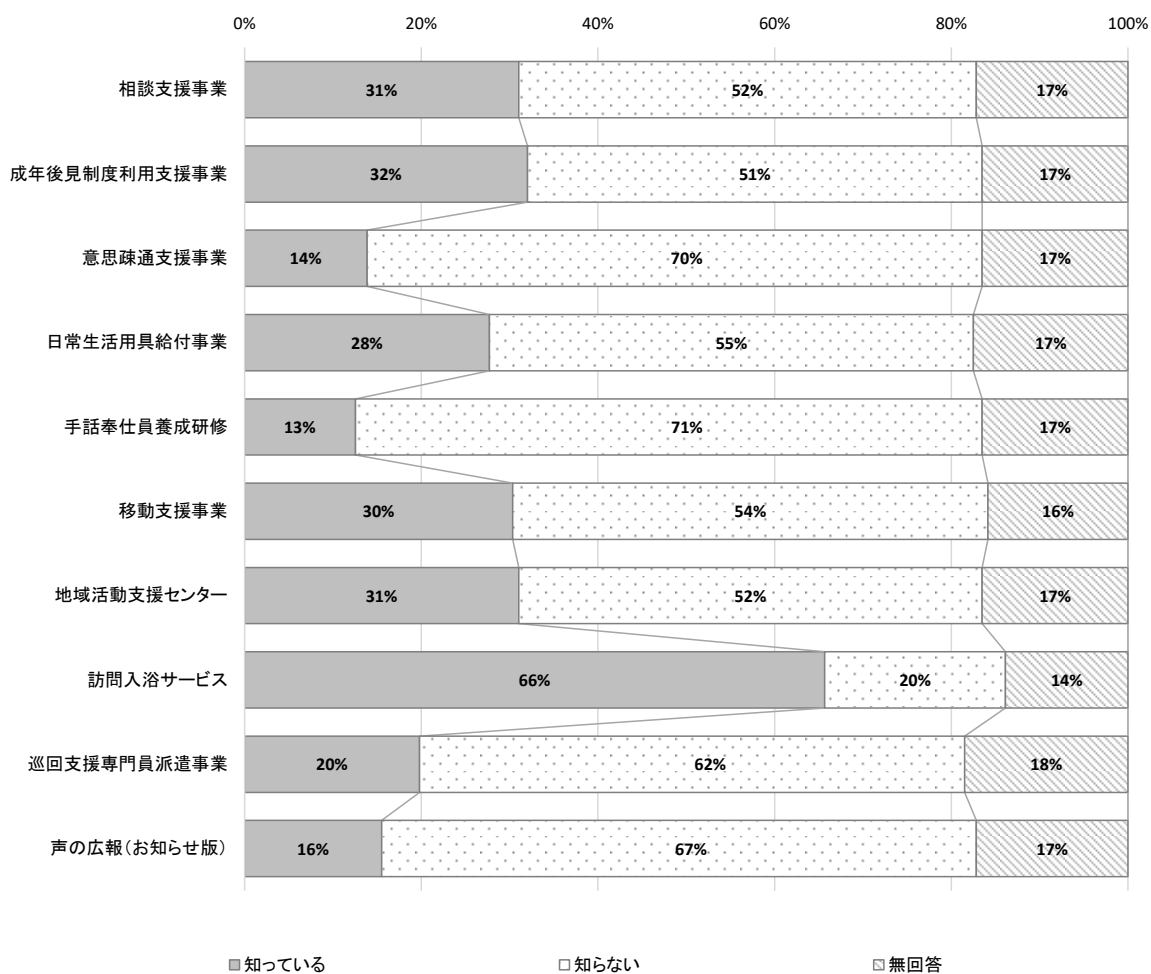


8 地域生活支援事業サービスについて

問 37 次のサービスを知っていますか。また、今後の意向をお答えください。

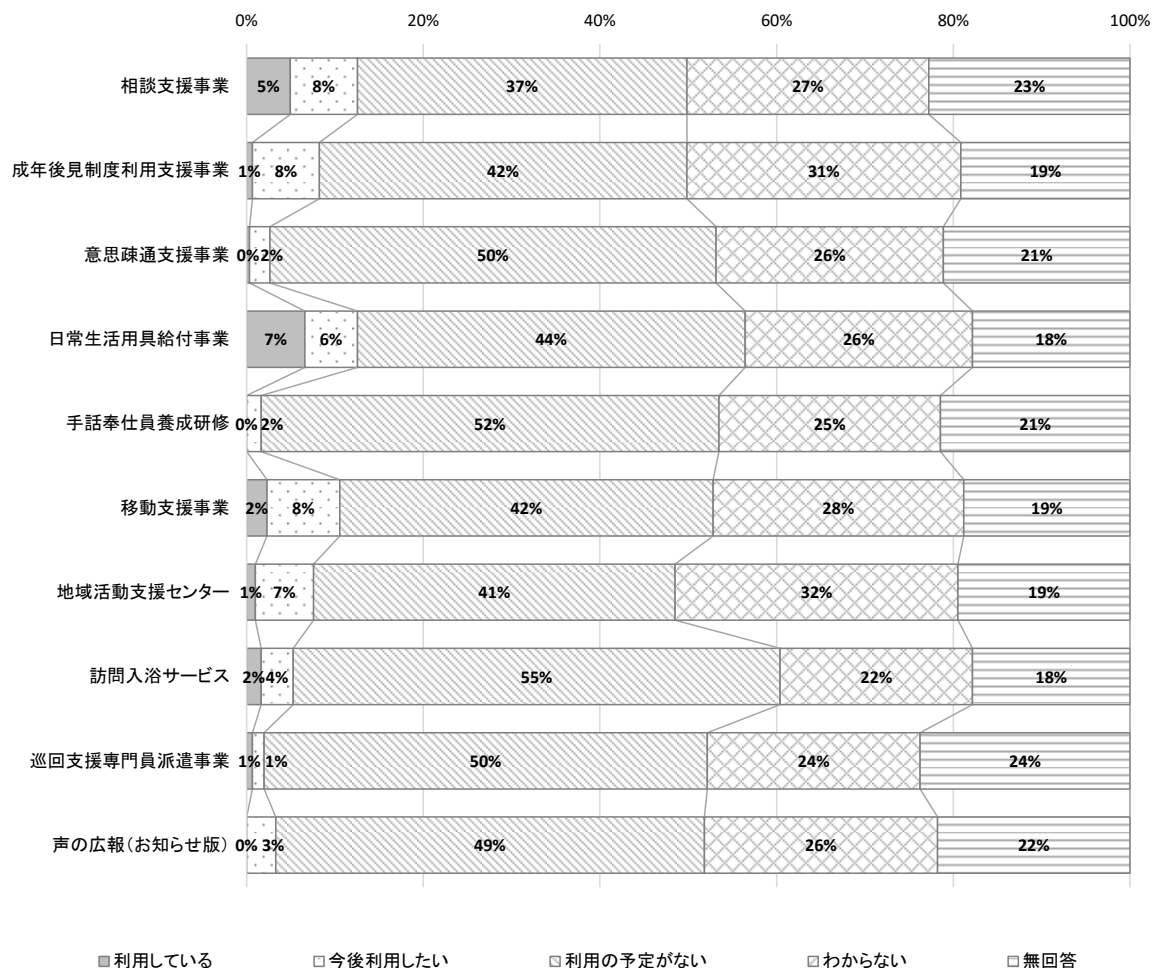
◆認知度

○知っている割合は、「訪問入浴サービス」が 66%で最も高く、次いで、「成年後見制度利用支援事業（32%）」、「相談支援事業／地域活動支援センター（31%）」と続いている。



◆今後の意向

○利用している+今後利用したい割合は、「相談支援事業／日常生活用具給付事業」が 13%で最も高く、次いで、「移動支援事業（11%）」、「成年後見制度利用支援事業（9%）」と続いている。

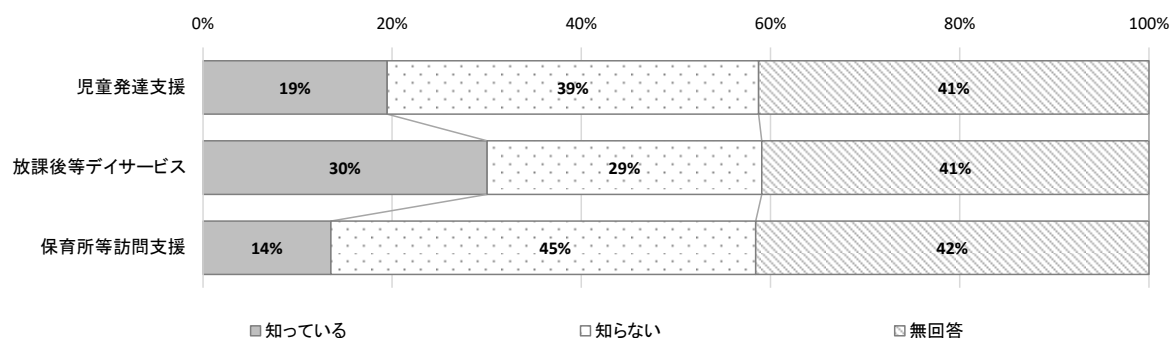


9 児童通所支援サービスについて

問 38 次のサービスを知っていますか。また、今後の意向をお答えください。

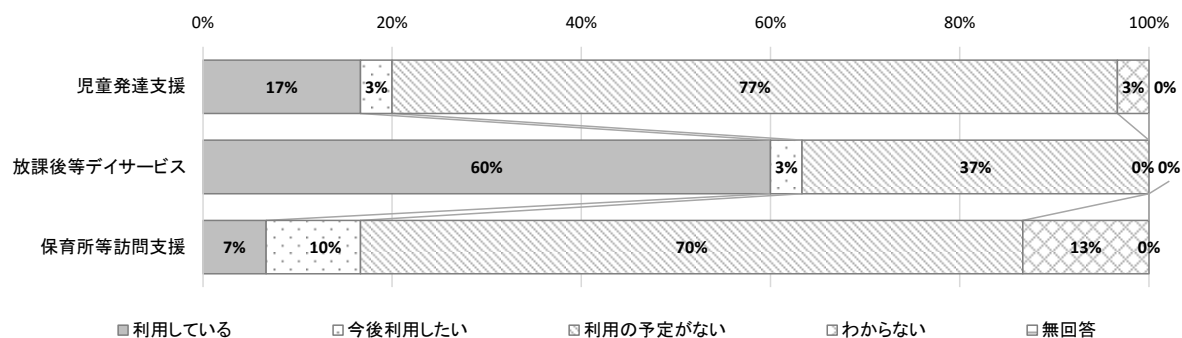
◆認知度

○知っている割合は、「放課後等デイサービス」が 30%で最も高く、次いで、「児童発達支援(19%)」、「保育所等訪問支援(14%)」と続いている。



◆今後の意向 (n = 30)

○利用している + 今後利用したい割合は、「放課後等デイサービス」が 63%で最も高く、次いで、「児童発達支援(20%)」、「保育所等訪問支援(17%)」と続いている。

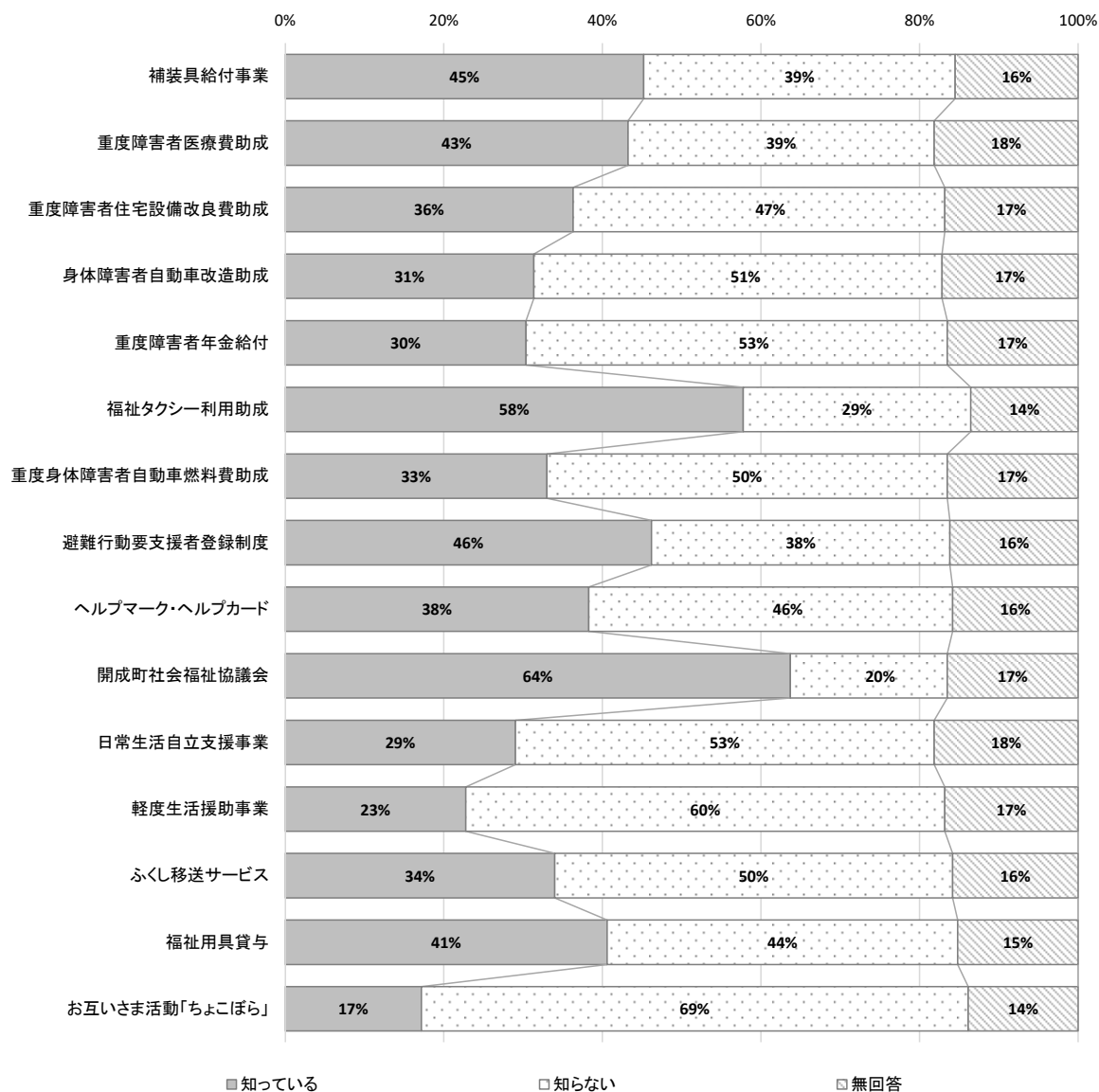


10 その他のサービスについて

問 39 次のサービスを知っていますか。また、今後の意向をお答えください。

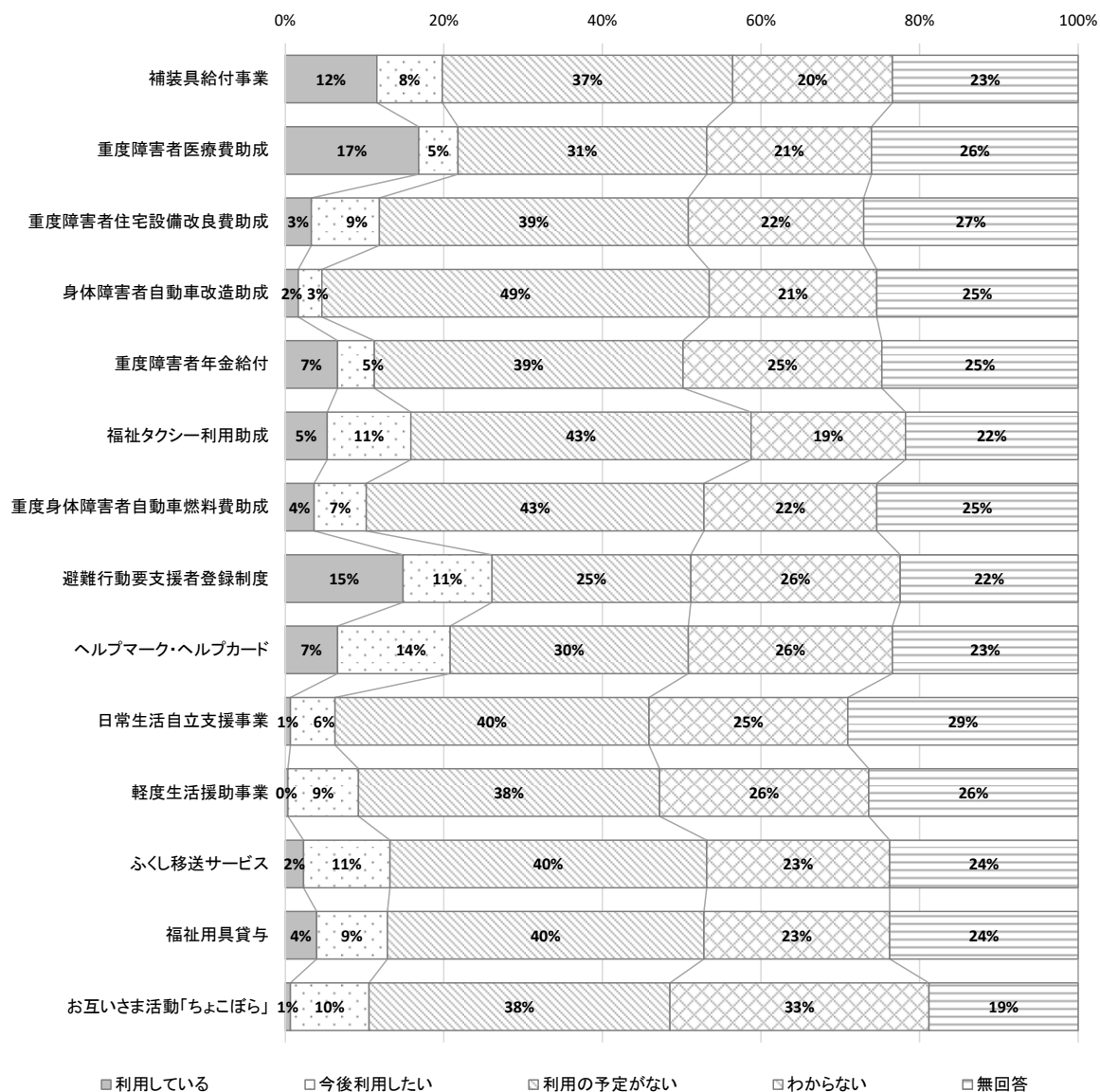
◆認知度

○知っている割合は、「開成町社会福祉協議会」が64%で最も高く、次いで、「福祉タクシー利用助成（58%）」、「避難行動要支援者登録制度（46%）」と続いている。



◆今後の意向

○利用している+今後利用したい割合は、「避難行動要支援者登録制度」が26%で最も高く、次いで、「重度障害者医療費助成（22%）」、「ヘルプマーク・ヘルプカード（21%）」と続いている。

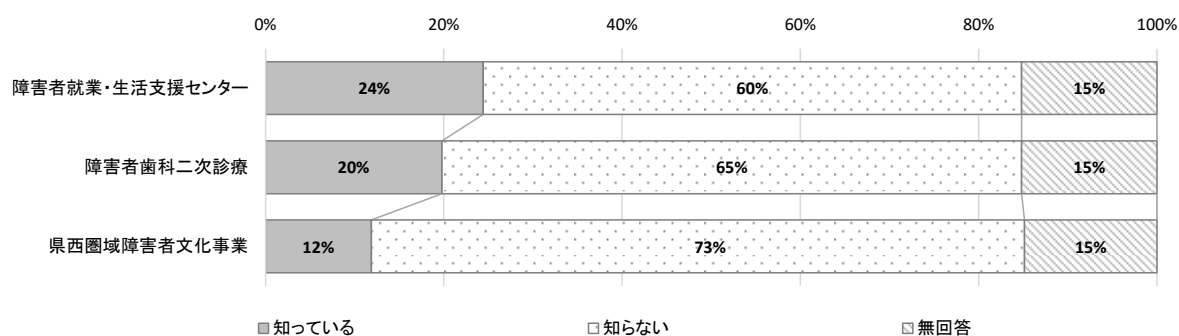


1 1 広域行政連携事業について

問 40 次のサービスを知っていますか。また、今後の意向をお答えください。

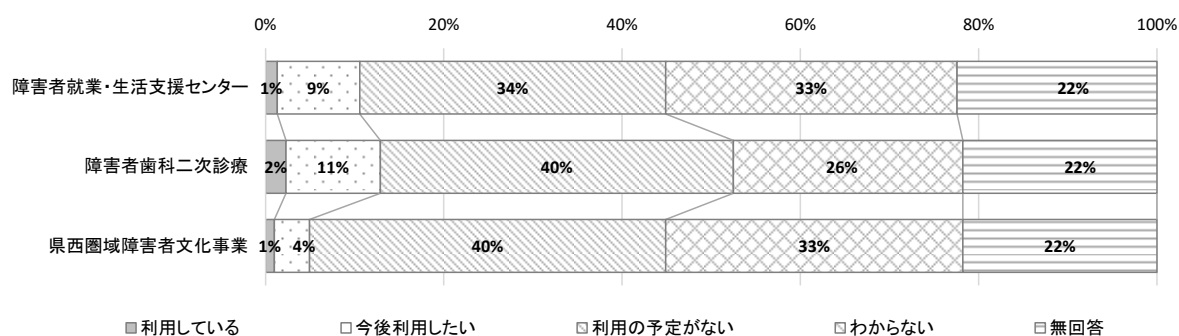
◆認知度

○知っている割合は、「障害者就業・生活支援センター」が24%で最も高く、次いで、「障害者歯科二次診療（20%）」、「県西圏域障害者文化事業（12%）」と続いている。



◆今後の意向

○利用している+今後利用したい割合は、「障害者歯科二次診療」が13%で最も高く、次いで、「障害者就業・生活支援センター（10%）」、「県西圏域障害者文化事業（5%）」と続いている。

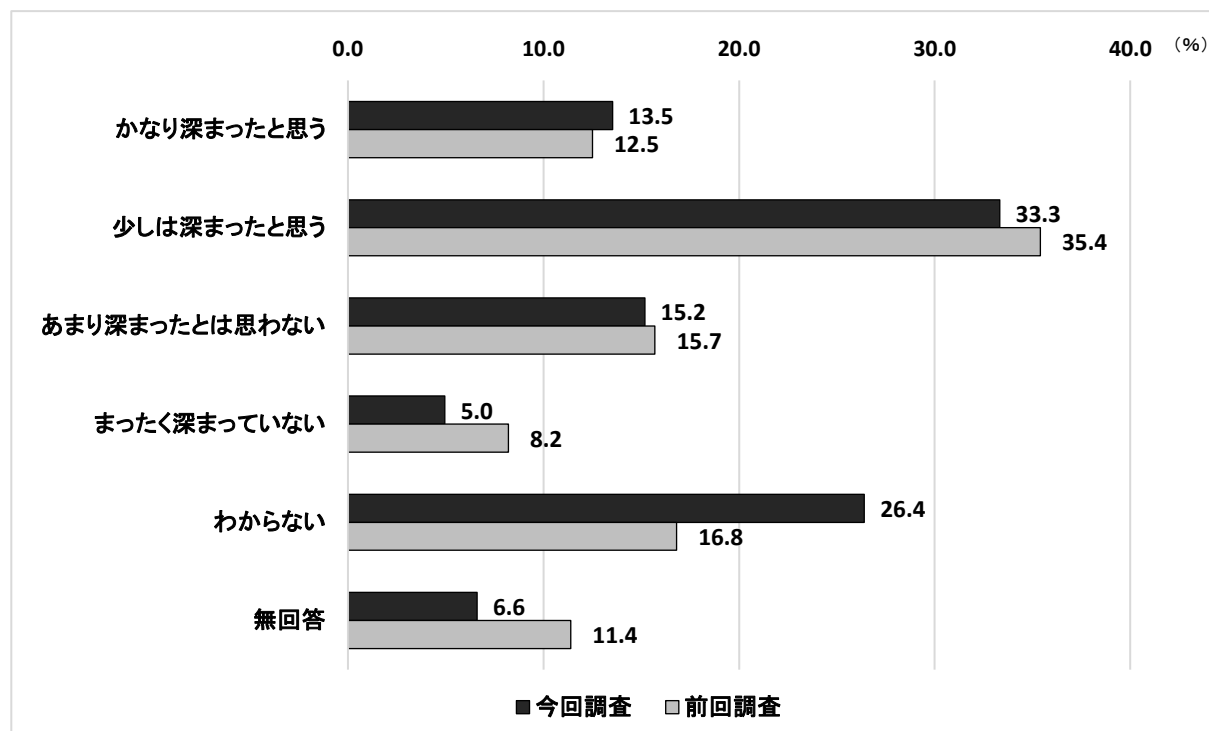


1 2 これからのまちづくりについて

問 41 あなたは、社会全体で障がいのある方への理解が 10 年前より深まったと感じますか。(1つに○)

○「少しは深まったと思う」が 33.3%で最も高く、次いで、「わからない (26.4%)」、「あまり深まったとは思わない (15.2%)」と続いている。

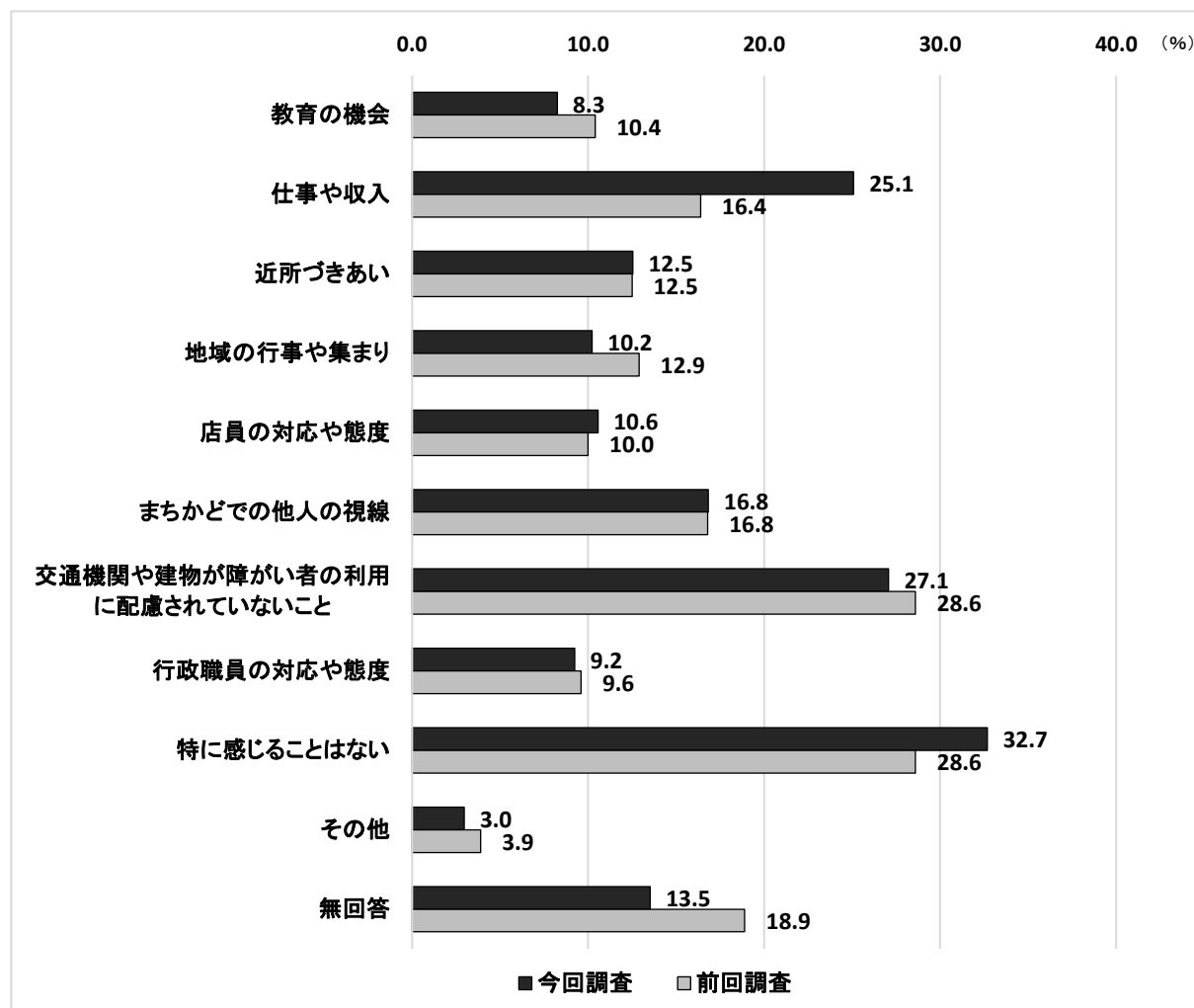
○前回調査と比較すると、「わからない」が増加している。



問 42 あなたは、普段の生活の中で障がいのある方への理解が足りないと感じますか。それはどんな場合ですか。（あてはまるものすべてに○）

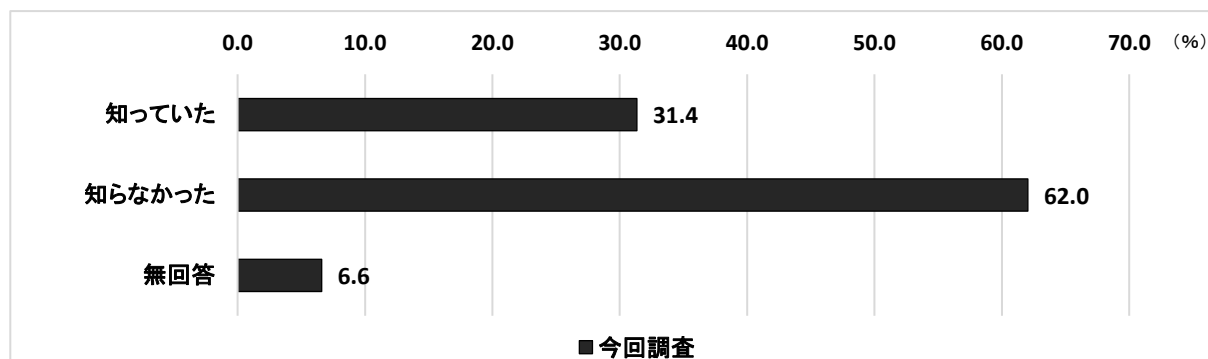
○「特に感じることはない」が 32.7%で最も高く、次いで、「交通機関や建物が障がい者の利用に配慮されていないこと（27.1%）」、「仕事や収入（25.1%）」と続いている。

○前回調査と比較すると、「仕事や収入」が増加している。



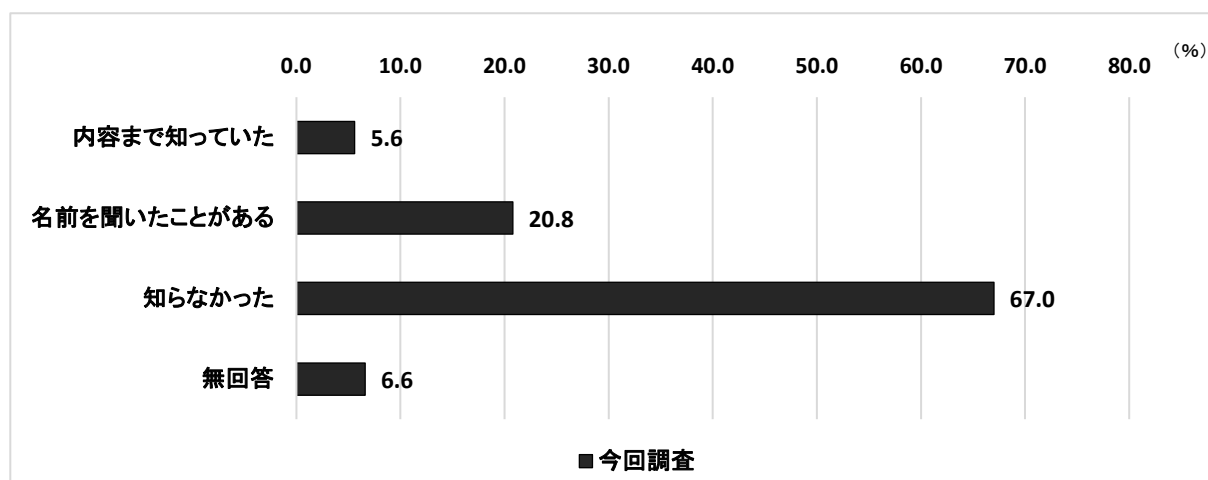
問 43 「障害者虐待防止法」により、家庭、職場及び障がい者施設において、障がい者（児）の虐待を発見した町民には、通報義務があることを知っていましたか。（1つに○）

○「知っていた」が31.4%、「知らなかった」が62.0%となっている。



問 44 あなたは、「障害者差別解消法」について知っていましたか。（1つに○）

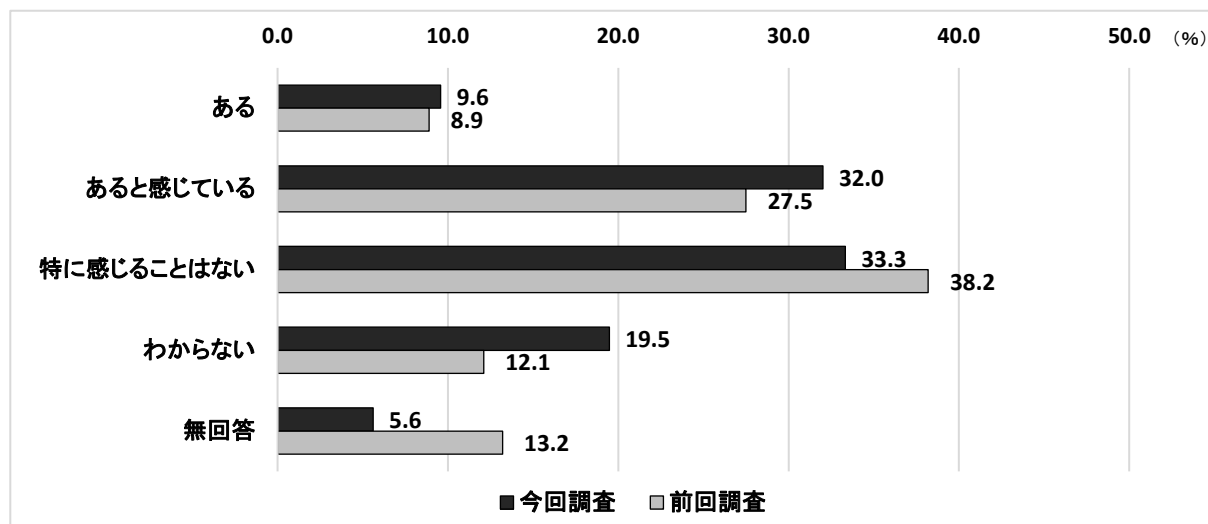
○「知らなかった」が67.0%で最も高く、次いで、「名前を聞いたことがある（20.8%）」、「内容まで知っていた（5.6%）」と続いている。



問 45 普段の暮らしの中で、障がいのある方への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)

○「特に感じることはない」が33.3%で最も高く、次いで、「あると感じている(32.0%)」と続いている。

○前回調査と比較すると、「あると感じている」、「わからない」がやや増加し、「特に感じることはない」がやや減少している。

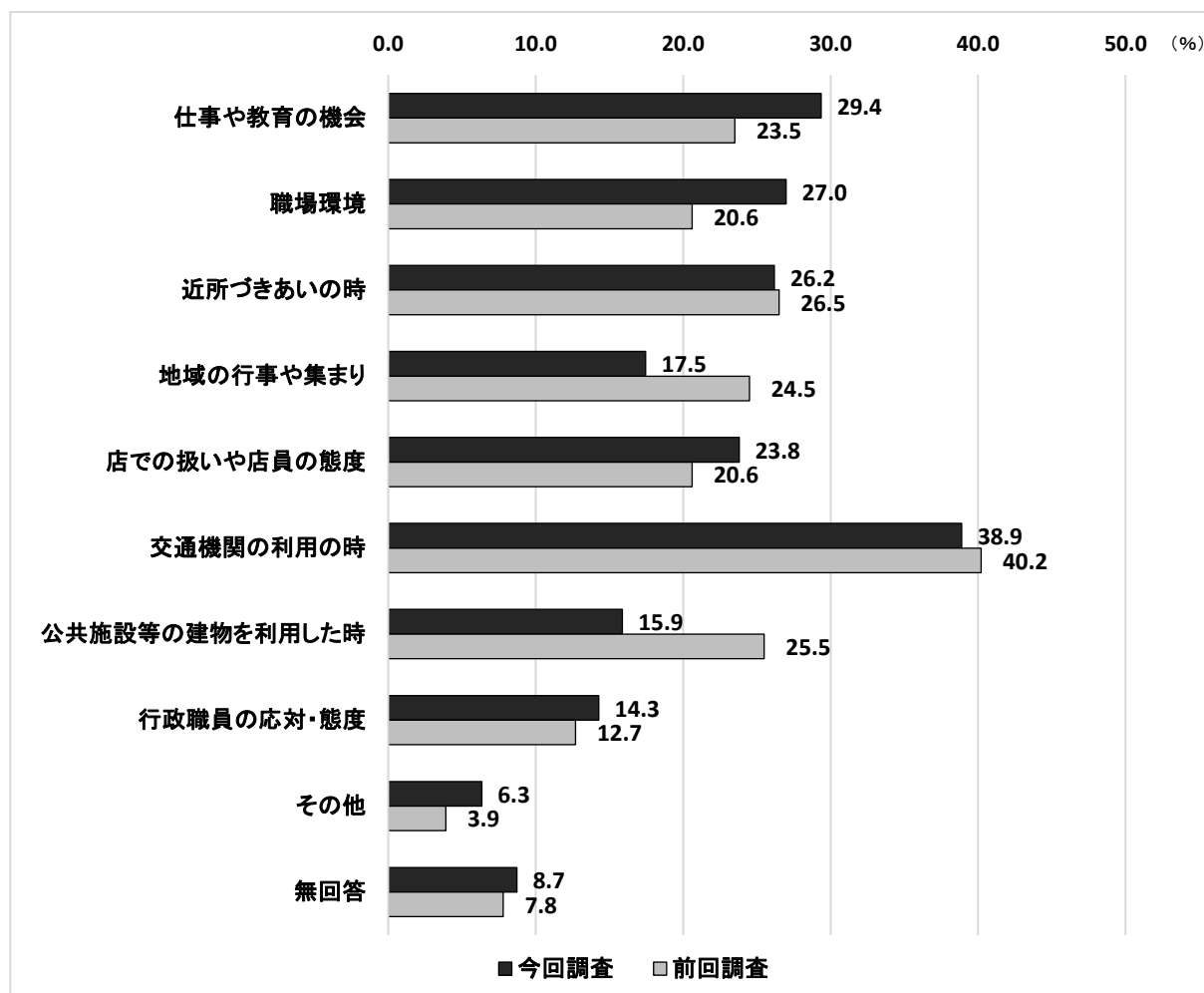


【問 45 で「1」または「2」と回答した方にうかがいます。】（n = 126）

問 46 差別や偏見をどのような機会に感じますか。（あてはまるものすべてに○）

○「交通機関の利用の時」が 38.9%で最も高く、次いで、「仕事や教育の機会（29.4%）」、「職場環境（27.0%）」と続いている。

○前回調査と比較すると、「仕事や教育の機会」、「職場環境」がやや増加し、「地域の行事や集まり」、「公共施設等の建物を利用した時」が減少している。



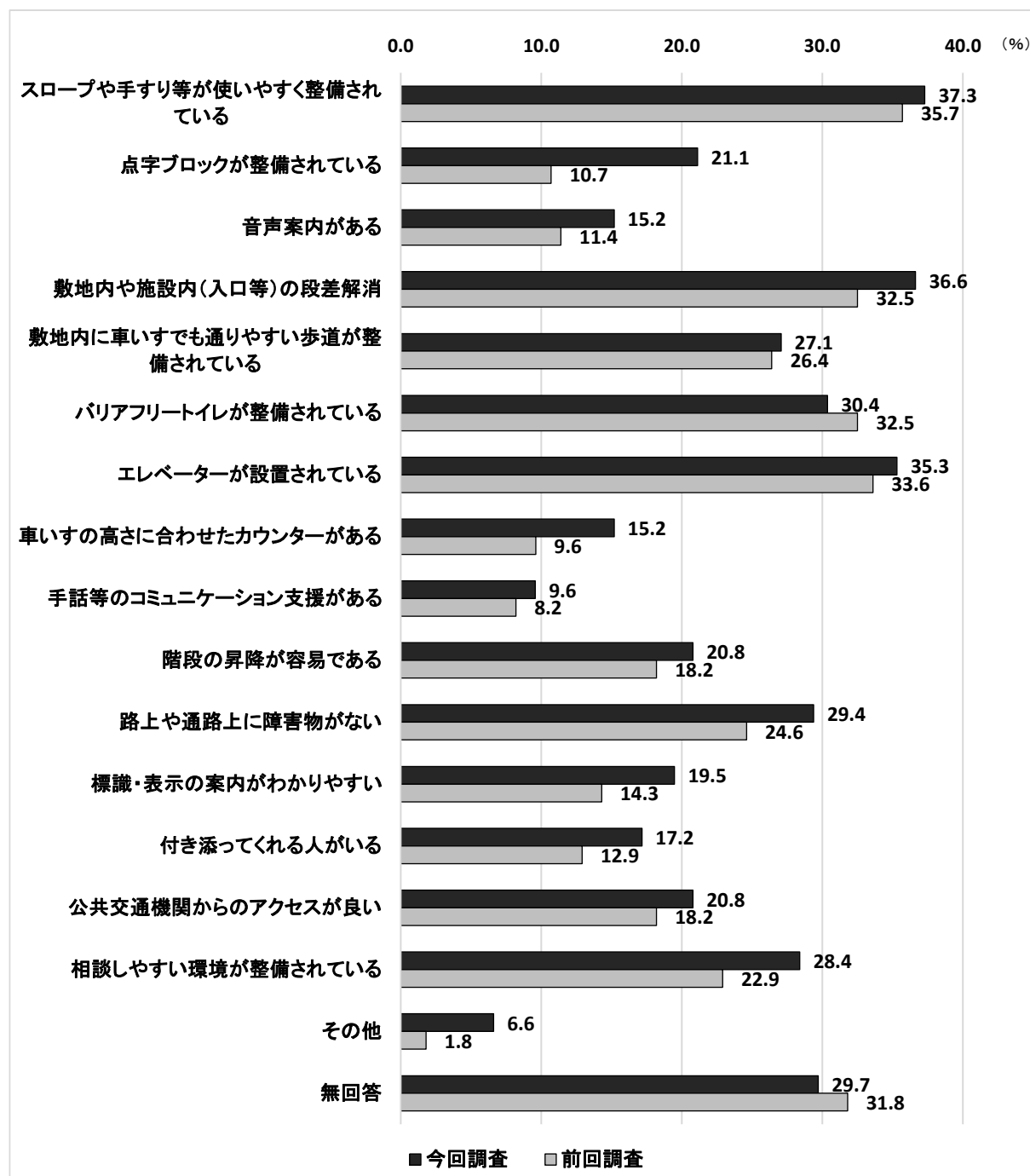
問 47 差支えなければ、感じた差別や偏見の具体的な事例をご記入願います。

※別紙参照

問 48 町内の公的機関や施設等におけるバリアフリーの状況や障がいへの配慮等どのような対策が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○「スロープや手すり等が使いやすく整備されている」が 37.3%で最も高く、次いで、「敷地内や施設内（入口等）の段差解消（36.6%）」、「エレベーターが設置されている（35.3%）」と続いている。

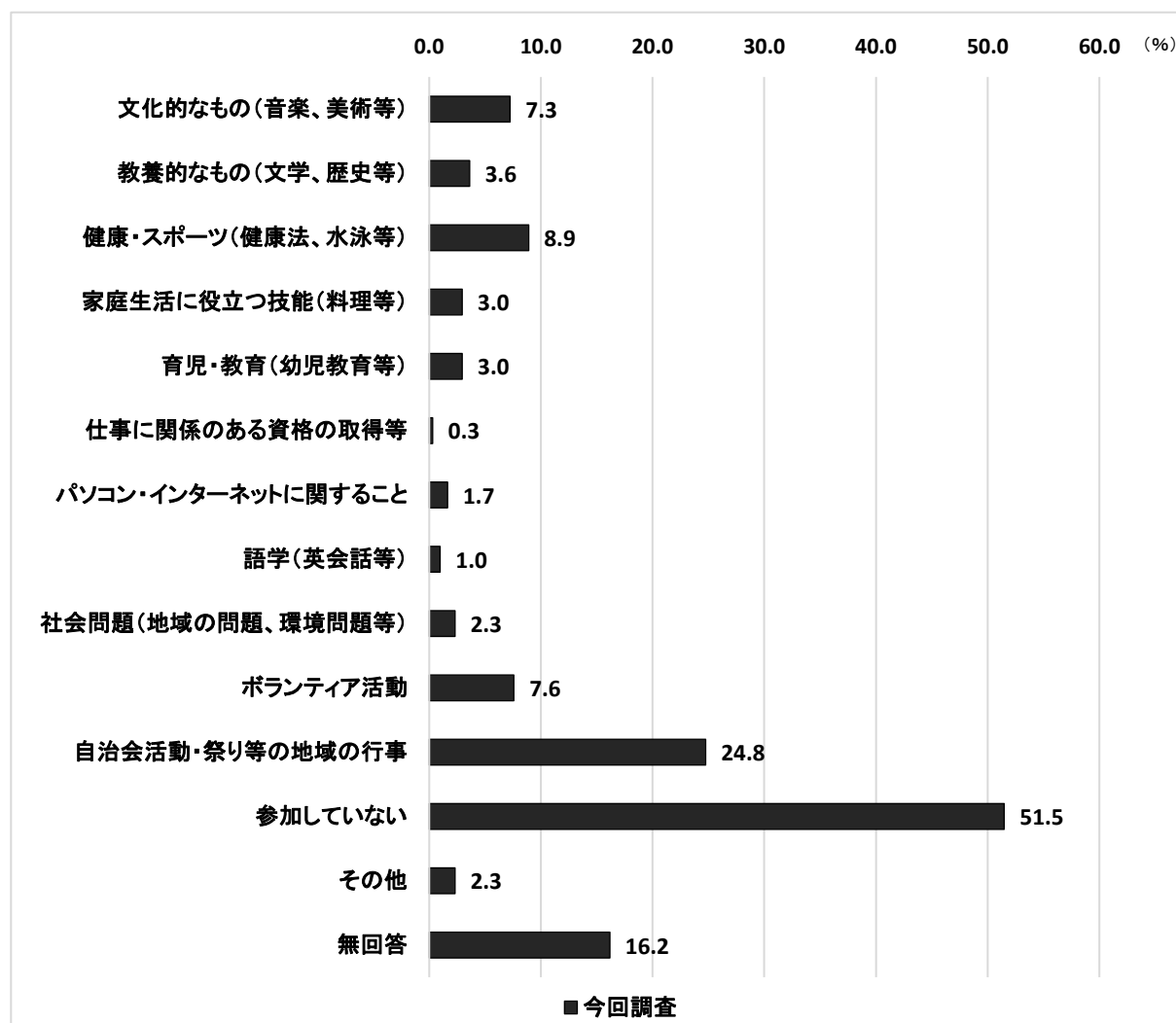
○前回調査と比較すると、「点字ブロックが整備されている」が増加している。



問 49 あなたは、生涯学習や地域で行われている活動・行事に参加したことがありますか。

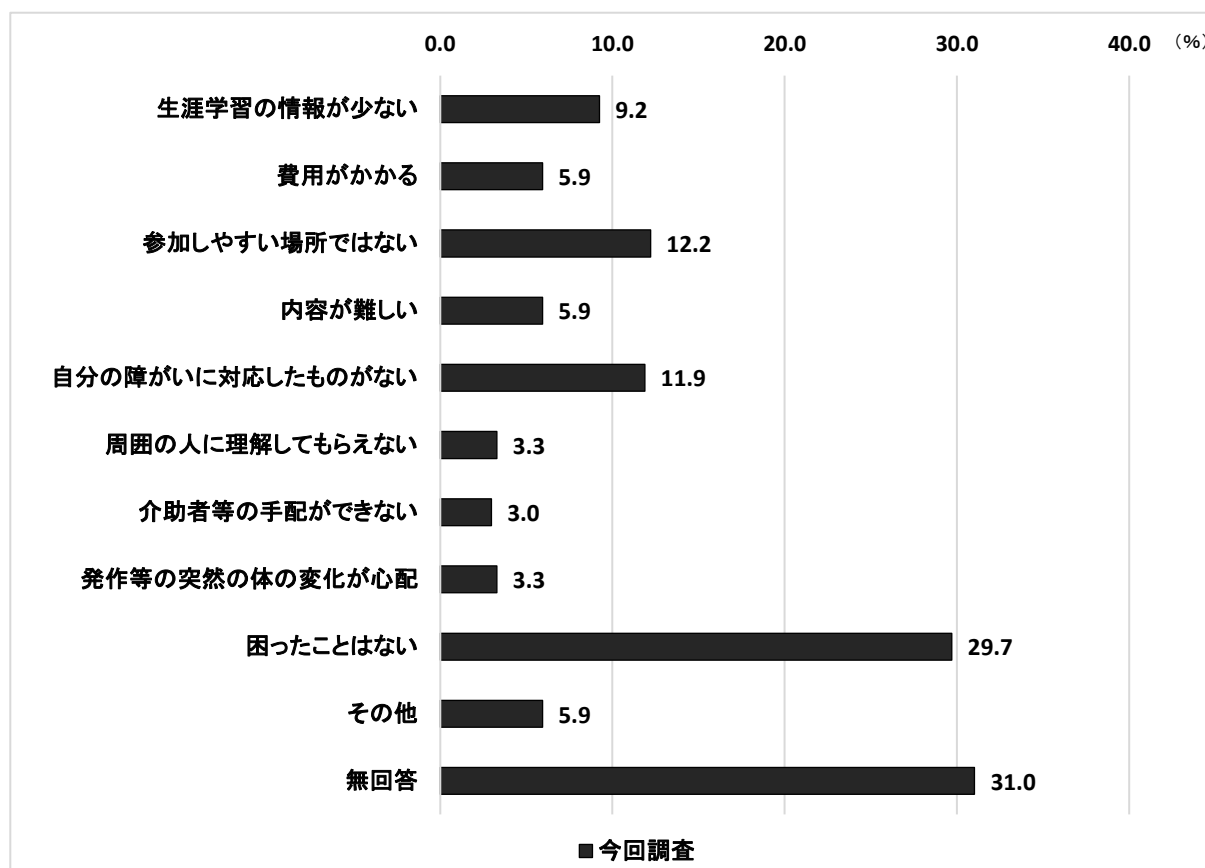
(あてはまるものすべてに○)

○「参加していない」が 51.5%で最も高く、次いで、「自治会活動・祭り等の地域の行事(24.8%)」、「健康・スポーツ(健康法、水泳等)(8.9%)」と続いている。



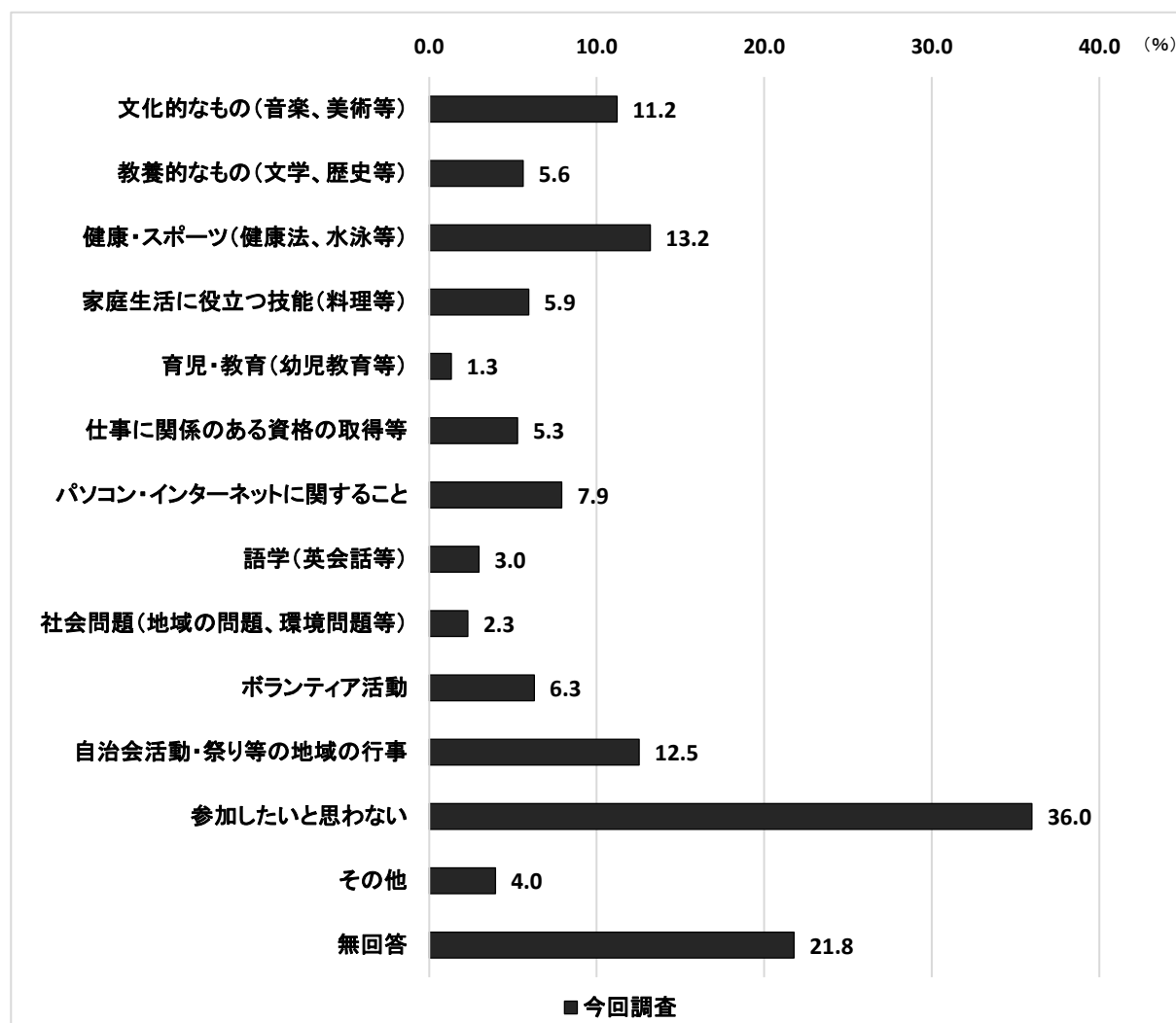
問 50 あなたが、生涯学習活動をする、またはしようとするときに、困ったことや活動の妨げになったことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

○「困ったことはない」が 29.7%で最も高く、次いで、「参加しやすい場所ではない（12.2%）」、「自分の障がいに対応したものがない（11.9%）」と続いている。



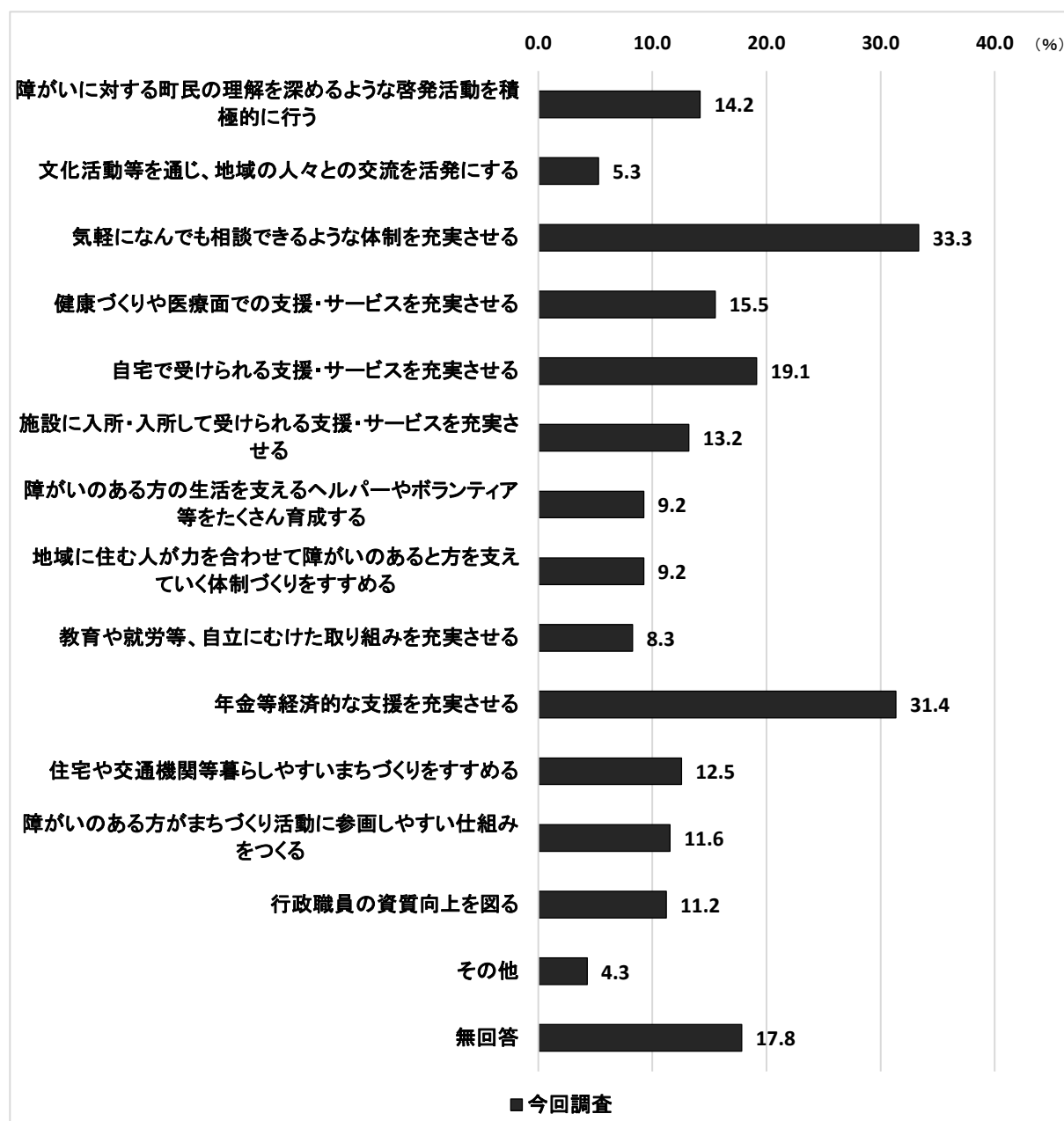
問 51 あなたは、次のなかでどのような生涯学習や地域で行われている活動・行事に参加したいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○「参加したいと思わない」が 36.0%で最も高く、次いで、「健康・スポーツ（健康法、水泳等）（13.2%）」、「自治会活動・祭り等の地域の行事（12.5%）」と続いている。



問 52 障がい者施策をすすめるうえで、今後、町が特に力を入れるべきことはなんでしょうか。（主なもの3つまで○）

○「気軽になんでも相談できるような体制を充実させる」が 33.3%で最も高く、次いで、「年金等経済的な支援を充実させる（31.4%）」、「自宅で受けられる支援・サービスを充実させる（19.1%）」と続いている。

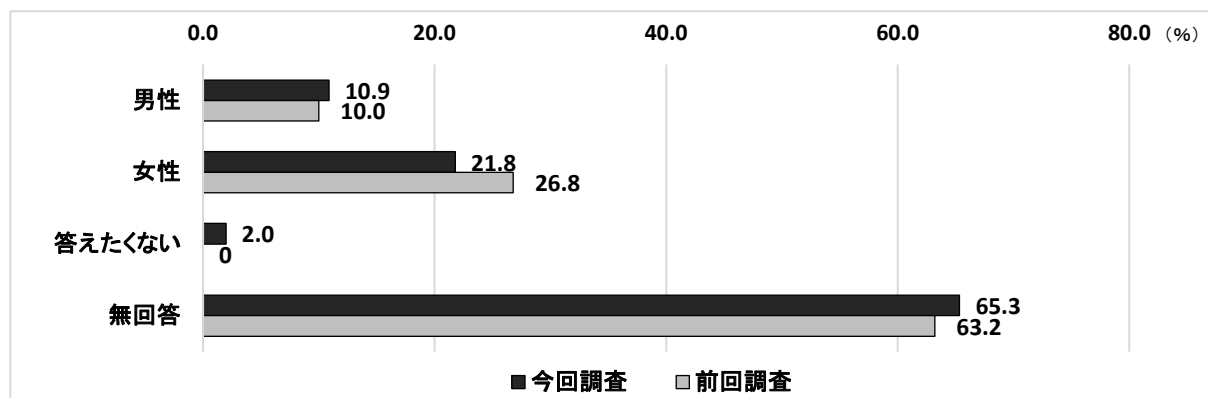


13 本人の介護をしている方について

問 53 介護している方の性別は。(1つに○)

○「男性」が 10.9%、「女性」が 21.8%となっている。

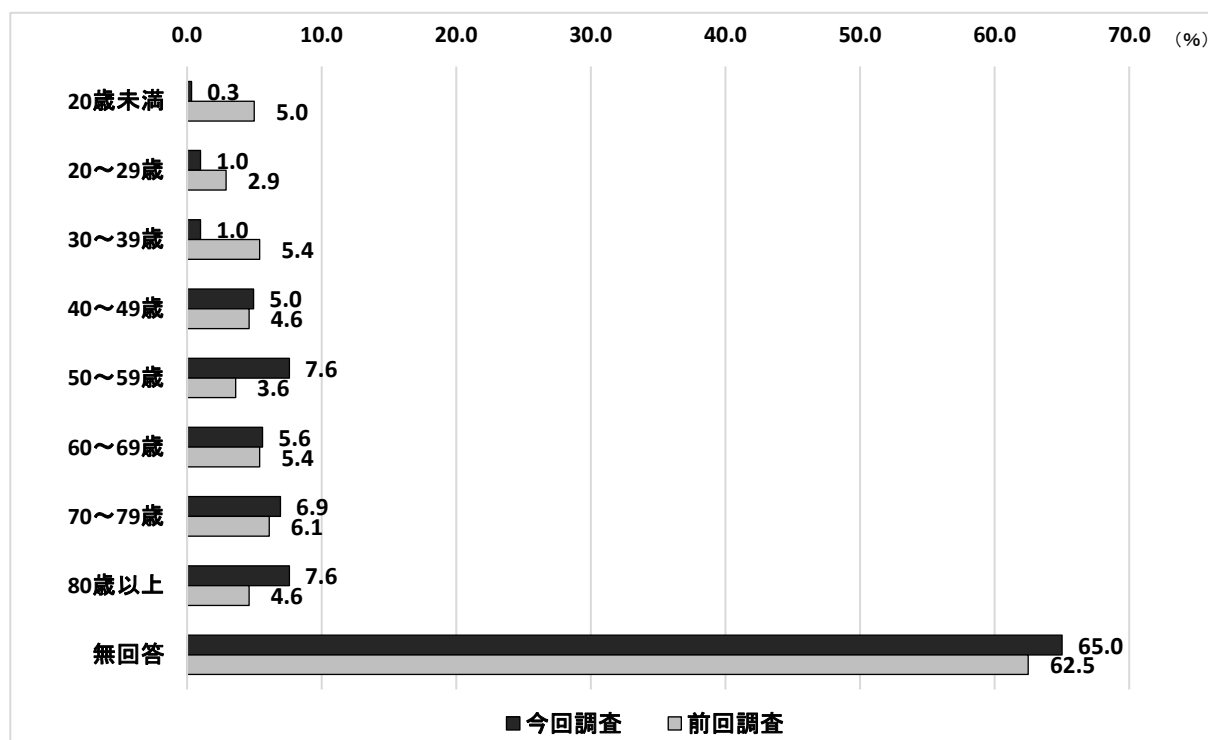
○前回調査と比較すると、「女性」がやや減少している。



問 54 介護をしている方の年齢はおいくつですか。(1つに○)

○「50～59 歳／80 歳以上」が 7.6%で最も高く、次いで、「70～79 歳 (6.9%)」、「60～69 歳 (5.6%)」と続いている。

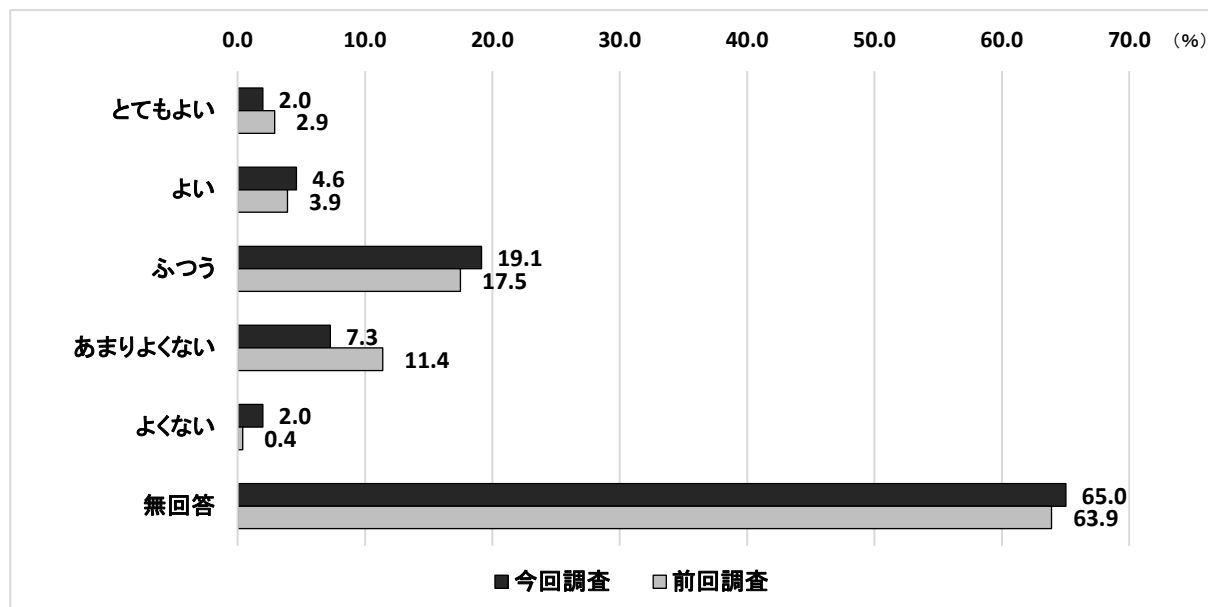
○前回調査と比較すると、「50～59 歳」がやや増加し、「20 歳未満」、「30～39 歳」がやや減少している。



問 55 介護をしている方の健康状態はいかがですか。（1つに○）

○「ふつう」が 19.1%で最も高く、次いで、「あまりよくない（7.3%）」、「よい（4.6%）」と続いている。

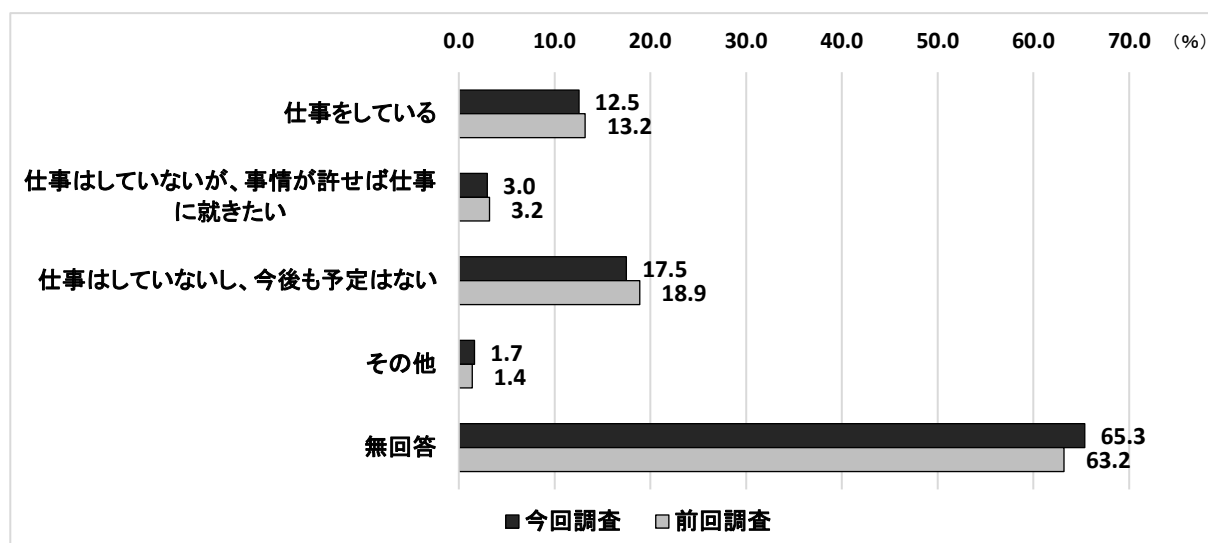
○前回調査と比較すると、「あまりよくない」がやや減少している。



問 56 介護をしている方は、仕事（家事を除く）をしていますか。（1つに○）

○「仕事はしていないし、今後も予定はない」が 17.5%で最も高く、次いで、「仕事をしている（12.5%）」、「仕事はしていないが、事情が許せば仕事に就きたい（3.0%）」と続いている。

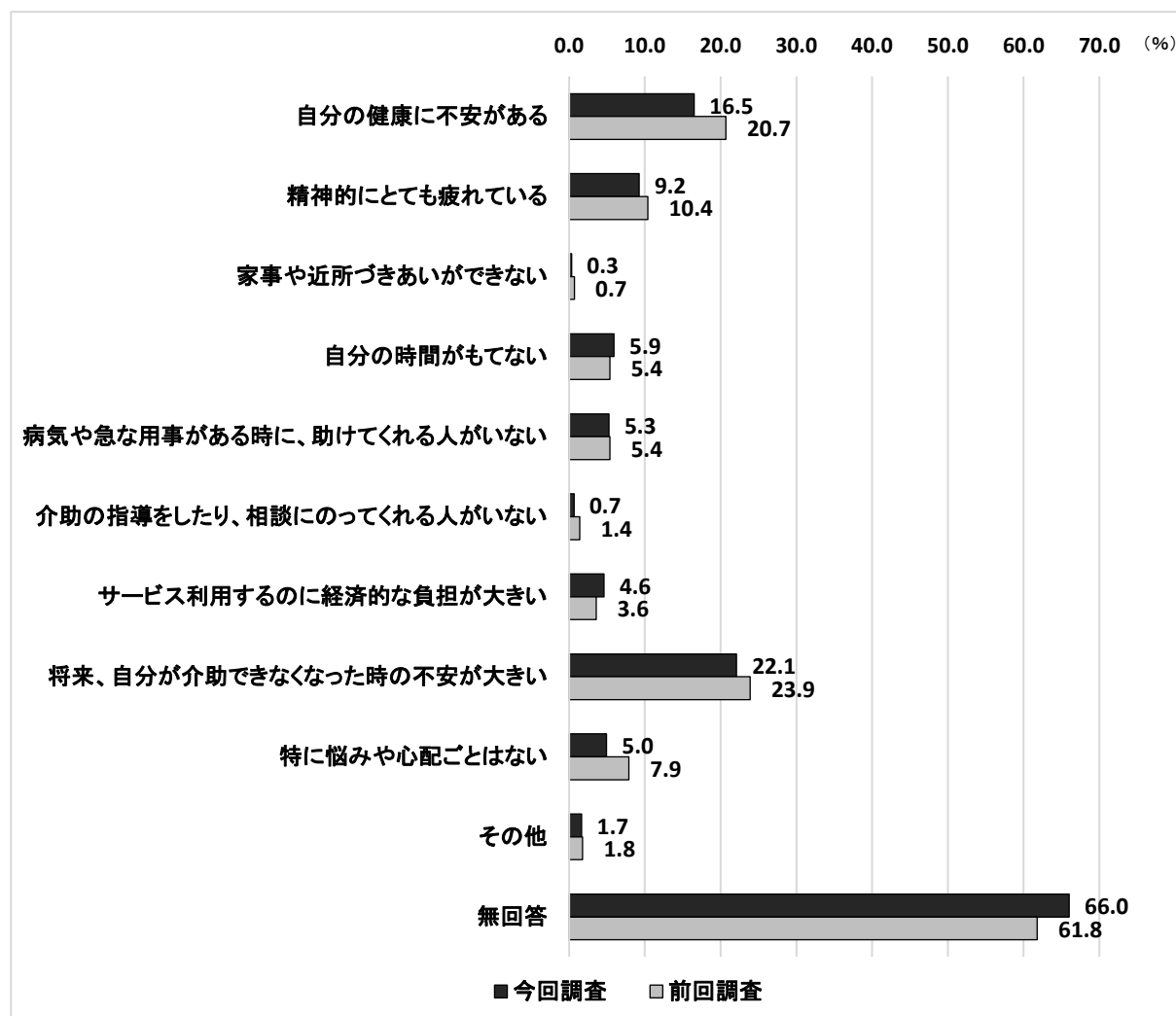
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。



問 57 介護をしている方は、悩みや心配ごとがありますか。(主なもの3つまで○)

○「将来、自分が介助できなくなった時の不安が大きい」が 22.1%で最も高く、次いで、「自分の健康に不安がある（16.5%）」、「精神的にとっても疲れている（9.2%）」と続いている。

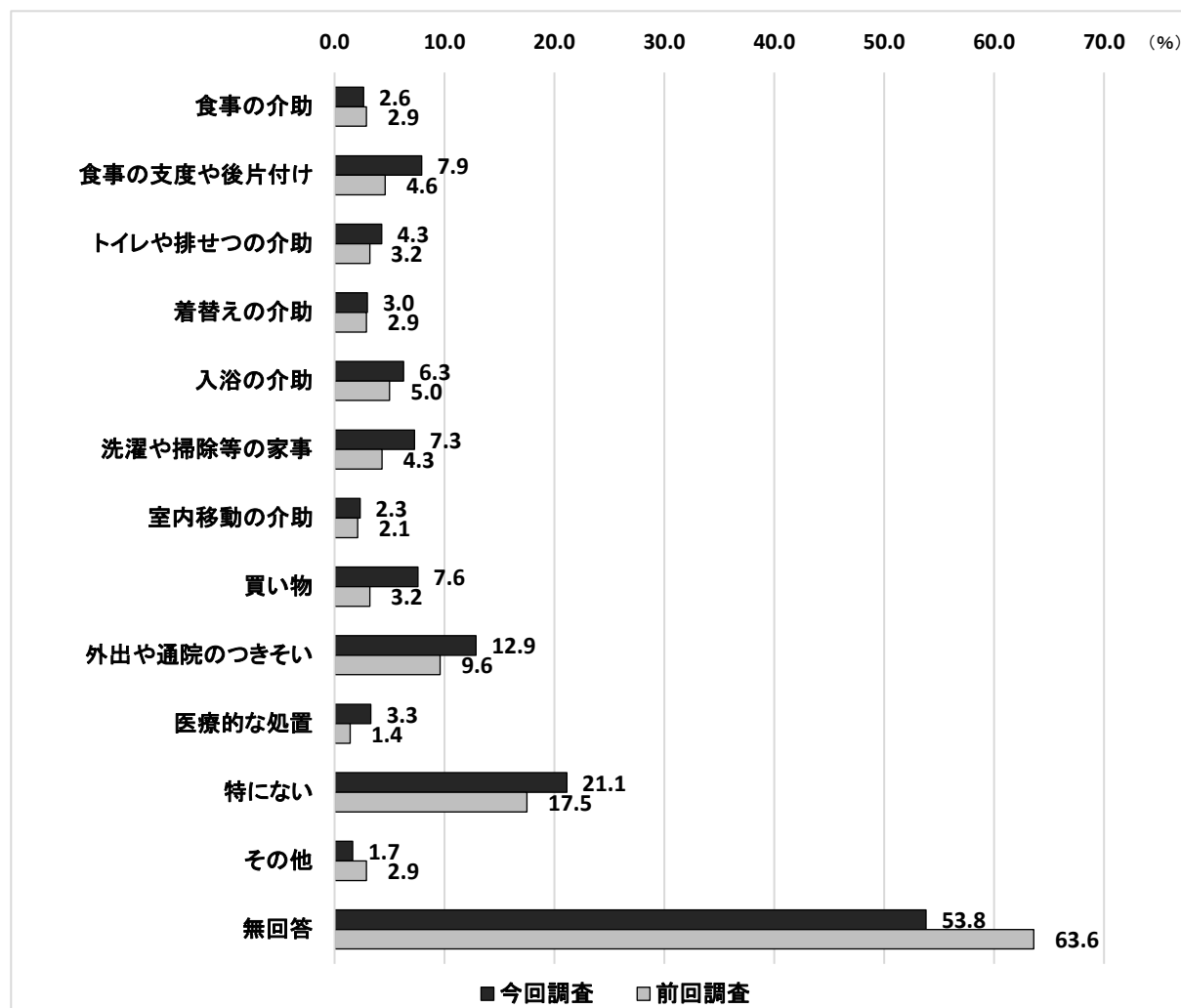
○前回調査と比較し、大きな変化は見られない。



問 58 日常の介護の中で、他の人に代わってもらえると助かることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

○「特にない」が%で最も高く、次いで、「外出や通院のつきそい(%)」、「食事の支度や後片付け(%)」と続いている。

○前回調査と比較すると、「食事の支度や後片付け」、「買い物」がやや増加している。



問 59 障害福祉サービス等を利用したいと思いますか。(1つに○)

○「利用したことがあり、今後も利用したい」が 20.5%で最も高く、次いで、「わからない(14.5%)」、「利用したことはないが、今後は利用したい (9.9%)」と続いている。

○前回調査と比較すると、「わからない」がやや増加している。

